

ギリシア史追加問題

【1】

学習院大学 文

次の主題について、与えられたキーワードをすべて用い、200 字以内で歴史的に論述しなさい。なおキーワードには下線を付しなさい。句読点は1マスに1つずつ、数字は1マスに2字まで入れなさい。

アテネの民主政の変容

キーワード：ペロポネソス戦争・デマゴーゴス・ペリクレス

【2】

津田塾大学

学芸

次の文を読み、設問に答えなさい。

国際オリンピック大会は、スポーツの交流を通じて平和な世界の構築を目指す祭典であるが、世界中の国や地域が参加するがゆえに、それぞれの利害が衝突する場でもあった。オリンピックの起源は古代ギリシアに遡る。[A]半島の北西部、ゼウス神殿で知られる[B]で4年ごとに行われていた祭典がそれである。伝説によれば[C]の地でアポロンが下した神託に由来するため、祭典の一定期間は武器を持って主催国に入ることが禁じられた。^(a)古代ギリシアは小国分立状態におかれていたが、ギリシア人は自分たちを

[D]、異民族を[E]と呼んで区別し、共通の言語や神話、競技祭を通じて、同一民族としての意識をもち続けた。若者たちは身体を鍛え上げ、競技祭でその技量を披露した。競技者の技と肉体は芸術の格好の題材となり、『競技祝勝歌』を残した抒情詩人[F]をはじめとして、多くの芸術家にインスピレーションを与えた。しかし、このようにギリシア文化の発展に寄与した競技祭も、ローマ帝政末期に異教の祭典として中止を余儀なくされる。近代オリンピックは、フランス人[G]の提唱によって始まり、1896年にアテネで第1回大会が開催された。古代ギリシアの競技祭が、当時の理想主義や国際主義を具現する平和の祭典として復興したのである。ただし、女性競技者の参加は限られ、⁽ⁱ⁾ペルシア戦争中の[H]の戦いにおける故事にちなむとされる競技も、近代オリンピックの開催にあたって考案されたものだという。そもそも競技祭が復興された背景には、第二帝政の崩壊を招いた[I]戦争後のフランスにおける愛国心の高揚や、青少年を鍛錬するためにスポーツを奨励する機運があった。その後も、オリンピックは政治に翻弄され利用されてきた。例えば、1936年のベルリン大会ではナチスすなわち[J]労働者党が、[B]で点火された聖火がギリシアを出てドイツに至るという聖火リレーを考案し、自分たちこそ古代ギリシアの後継者であるというイメージを演出して、アーリア人の優越性を宣伝した。第二次世界大戦後も、⁽⁵⁾1972年のミュンヘン大会では、パレスチナの武装組織によるイスラエル選手団の襲撃事件が起き、1980年のモスクワ大会では、前年のソ連による[K]への侵攻を理由にアメリカ合衆国や日本など西側諸国がボイコットをし、その報復としてソ連など東側諸国は1984年のロサンゼルス大会をボイコットした。

問1 空欄 A ～ K に最も適当と思われる語を入れなさい。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	

問2 下線部(あ)について、

- (1) 政治的には完全に自立し、1000 以上あったとされる古代ギリシアの都市国家を何とといいますか。〔 〕
- (2) (1)の宗教的・軍事的な中心として、守護神がまつられるとともに、非常時には城塞の機能を果たした丘を何とといいますか。〔 〕
- (3) (1)の政治的・経済的な中心として、交易・集会・裁判などが行われた公共広場を何とといいますか。〔 〕

問3 下線部(い)について、

- (1) この戦争を主題に『歴史』を著し、その体系的な歴史叙述によって歴史の父と呼ばれる歴史家は誰ですか。〔 〕
- (2) サラムスの海戦でギリシア艦隊を指揮してペルシア艦隊を破った、アテネの政治家は誰ですか。〔 〕
- (3) この戦争を機に結成されたデロス同盟について、簡潔に説明しなさい。〔 〕

問4 下線部(う)について、

- (1) このようなテロ行為の背景にある 1967 年の第 3 次中東戦争において、イスラエルが占領した半島と高原の名をそれぞれ答えなさい。〔 〕
- (2) 翌 1973 年の第 4 次中東戦争に際してアラブ産油国が実施した石油戦略について、その内容を簡潔に説明しなさい。〔 〕
- (3) 外交路線を親アメリカ政策に転換し、アメリカの仲介でイスラエルと平和条約を結ぶも、これを不満とするイスラーム原理主義者らによって暗殺された、エジプトの大統領は誰ですか。〔 〕

【3】

青山学院大学 経済

地中海沿岸の古代都市に関する以下の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

- [A] クレタ島のクノッソスは(ア)によって発掘され、迷宮のような構造と生き生きとした壁画の数々によって有名である。ミノア文明と名付けられたその文明の謎を解き明かすべき線文字 A は未だ解読されていない。それに対してミケーネ期の線文字 B は(イ)によって解読されている。
- [B] (ウ)にあるシラクサは前五世紀から四世紀にかけてディオニュシオス父子の下に繁栄し、哲学者プラトンなども度々訪れている。その後、^(a)ポエニ戦争の際にローマに攻められるが、浮体の原理の発見者としても有名な物理学者(エ)は様々な武器を考案してローマ軍を悩ました。
- [C] ^(b)小アジアの西部沿岸に位置するこの都市は、古くは^(c)哲学者ヘラクレイトスの出身地としても有名であるが、(オ)年には皇帝(カ)の命により開かれた公会議においてネストリウス派が異端とされた。
- [D] このエジプトの海港都市アレクサンドリアには、大規模な研究機関であるムセイオンが設けられ、当時エジプトを支配していた(キ)の庇護の下、ホメロスを初めとする古典テキストの編纂や自然科学の研究が行われた。このムセイオンと関係の深い学者の中でも、地球の周囲の長さを算出した(ク)や地球の自転と公転を見出した(ケ)や幾何学の(コ)などが有名である。
- [E] ^(d)ペロポネソス半島の付け根に位置するこの都市は、その名が柱頭の様式の一つにも冠されている。前(サ)年には、カイロネイアの戦いに勝利したばかりのマケドニアが、覇権の確立を目指して同地でヘラス同盟とも呼ばれる全ギリシア的な同盟を結成した。

問1 空欄(ア)に入れるのにもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① シュリーマン ② ヴェントリス ③ エヴァンズ ④ シャンポリオン []

問2 空欄(イ)に入れるのにもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① シュリーマン ② ヴェントリス ③ エヴァンズ ④ シャンポリオン []

問3 空欄(ウ)に入れるのにもっとも適切な地名を一つ選べ。

- ① コルシカ島 ② キプロス島 ③ デロス島 ④ シチリア島 []

問4 空欄(オ)に入れるのにもっとも適切な数字を一つ選べ。

- ① 380 ② 392 ③ 431 ④ 451 []

問5 空欄(カ)に入れるのにもっとも適切な皇帝名を一つ選べ。

- ① テオドシウス2世 ② ユリアヌス ③ ディオクレティアヌス ④ コンスタンティヌス []

問6 空欄(キ)に入れるのにもっとも適切な王朝名を一つ選べ。

- ① アンティゴノス朝 ② セレウコス朝 ③ プトレマイオス朝 ④ アケメネス朝 []

問7 空欄(サ)に入れるのにもっとも適切な数字を一つ選べ。

- ① 378 ② 338 ③ 333 ④ 323 []

問8 空欄(エ)に入れるのにもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラトステネス ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリストアルコス []

問9 空欄(ク)に入れるのにもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラトステネス ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリストアルコス []

問10 空欄(ケ)に入れるのにもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラトステネス ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリストアルコス []

問11 空欄(コ)に入れるのにもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラトステネス ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリストアルコス []

問12 下線部(a)の戦争は何回行われたか、もっとも適切な数字を一つ選べ。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 []

問13 下線部(b)に入れるのにもっとも適切な都市名を一つ選べ。

- ① エフェソス ② ニケーア ③ ミレトス ④ カルケドン []

問14 下線部(c)ヘラクレイトスの思想としてもっとも適切な文章を一つ選べ。

- ① 万物の根源は水である。 ② 万物の根源は数である。
③ 万物は流転している。 ④ 万物は原子(アトム)からできている。 []

問15 下線部(d)の都市名としてもっとも適切なものを一つ選べ。

- ① アテネ ② スパルタ ③ テーベ ④ コリント(ス) []

次の文章を読み、下の問い(問1～15)に答えなさい。

古代ギリシアにおいては、文学作品の多くが戦争をテーマとしている。作家自身が市民として従軍している例も多い。ホメロス作の最古の叙事詩(a)は、b トロイア戦争での英雄たちの活躍を描き、(c)はその英雄の一人が戦後イタカに帰国するまでの冒険を描いたものだった。詩の中ではゼウスやアポロンをはじめ多くの神々が人間と共に活躍している。そのような神話とは区別される歴史を書き、「歴史の父」と呼ばれるのが、ハリカルナソス出身の(d)である。そのテーマはe ペルシア戦争であった。(f)が送ったペルシア軍をアテネ重装歩兵が破った前490年の(g)、レオニダス以下300名のスパルタの戦士が全滅した(h)、そして前480年のサラミスの海戦などが描かれている。ギリシア艦隊を率いたのは(i)だが、この英雄は後にオストラシズムにより追放されてしまう。また、この海戦は、『ペルシアの人々』という悲劇の題材にもなっている。その作者、三大悲劇詩人の一人(j)自身もペルシア戦争に従軍し、特に(g)に参加したことを、詩人であることよりも誇りにしていた。アテネの歴史家(k)はペロポネソス戦争をテーマとしている。彼自身、将軍に選出されたが作戦に失敗し、アテネから追放された人物であった。その『歴史』の第二巻には、戦没者の国葬にさいして、アテネ全盛期の指導者(l)が行なった演説が記されている。これは民主政の理想を語ったものとして名高い。『オイディプス』などで有名な三大悲劇詩人の一人(m)も、この(l)と親交があり将軍に選出されている。やはり、何よりもアテネ市民なのである。しかし、疫病が流行して(l)というn すぐれた指導者を失なうと、アテネは敗北への道を歩み始める。劇作品にも反戦的なものが出てくる。特に有名なのは、アテネ最大の喜劇作家(o)の『女の平和』であろう。前404年、アテネが降伏してペロポネソス戦争は終わった。

問1 (a)に入る作品名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マハーバーラタ ② オデュッセイア ③ イリアス ④ 神統記 []

問2 下線bのトロイア戦争の存在を信じて発掘した、19世紀のドイツの考古学者の名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① シュリーマン ② エヴァンズ ③ グローテフェント ④ ヴェントリス []

問3 (c)に入る作品名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マハーバーラタ ② オデュッセイア ③ イリアス ④ 神統記 []

問4 (d)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① トウキディデス ② リウィウス ③ ポリビオス ④ ヘロドトス []

問5 下線eのペルシア戦争は、イオニア植民市の反乱が原因で始まった。この反乱の中心となった都市はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① クノッソス ② ミレトス ③ マッサリア ④ シラクサ []

問6 (f)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① キュロス2世 ② カンビュセス2世 ③ ダレイオス1世 ④ シャープール1世 []

問7 (g)に入る戦いはどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マラトンの戦い ② テルモピュレーの戦い ③ プラタイアの戦い ④ レウクトラの戦い []

問8 (h)に入る戦いはどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マラトンの戦い ② テルモピュレーの戦い ③ プラタイアの戦い ④ レウクトラの戦い []

問9 (i)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① ペリクレス ② クレイステネス ③ ペイストラトス ④ テミストクレス []

問10 (j)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① アイスキュロス ② ソフォクレス ③ エウリピデス ④ アリストファネス []

問11 (k)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① トウキディデス ② リウィウス ③ ポリビオス ④ ヘロドトス []

問12 (l)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① ペリクレス ② クレイステネス ③ ペイストラトス ④ テミストクレス []

問 13 (m)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

① アイスキュロス ② ソフォクレス ③ エウリピデス ④ アリストファネス []

問 14 下線 n に関連して、(1)病死後のアテネの政治形態は、一般に何と呼ばれているか。①～④から一つ選べ。 ① 財産政治 ② 僭主政治 ③ 神権政治 ④ 衆愚政治 []

問 15 (o)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

① アイスキュロス ② ソフォクレス ③ エウリピデス ④ アリストファネス []

【5】

明治大学 法

次の文章を読み、下記の問に答えなさい。

エーゲ海沿岸地域では、前2000年頃から前1200年頃にかけてオリエントの先進文明の影響を受けた^[7]青銅器文明が栄えた。その後、暗黒時代と呼ばれる混乱期を経て、ギリシアでは、前8世紀頃から各地で人々が特定の村落地域に定住し、村落は政治面、軍事面で統合され、ポリスと呼ばれる独立した都市国家が成立した。ポリス成立期は、貴族による騎兵が戦争の主役であり、政治形態も貴族だけが参加する貴族政であった。その後、重装歩兵部隊が軍隊の主力となるにつれ、^[4]商工業の発達により富裕となった平民も参戦できるようになり、彼らは参政権を主張して貴族と対立し、貴族政が動揺した。

ポリスの中で政治的、文化的に最も重要な役割を果たしたのは、アテネであった。前7世紀には、立法者^①によって慣習法が成文化された。前6世紀初頭、ソロンは、貴族と平民との間の調停者として改革を断行した。すなわち、これまでの負債を帳消しにして、身体を抵当とする金銭の貸借を禁止することで、市民が^②になることを防いだ。また財産額に応じて市民を4等級に分け、等級に応じて参政権や兵役義務を定めた。また政治制度の面では400名からなる評議会を設置した。

その後、ペイシストラトスが、民衆の支持を背景にして前561年に非合法的に独裁権を握り^③となった。彼は、貧しい農民たちに土地を分配して中小農民を保護し、自立的市民への成長を助け、またアテネの美化や文化事業も積極的に行い、市民の愛国心と誇りを高めようとした。しかし、彼の死後、彼の2人の息子は暴君となった。

その後も貴族と民衆の争いは絶えず、民衆派の指導者クレステネスが前508年に改革を断行し、民主政の基礎を確立した。そこでは、貴族がよりどころとしていた血縁に基づく4部族制から、居住地区(デーモス)を基盤とする10部族制とし、この新しい部族から各50名ずつを選出した五百人評議会を設け、また各部族から1名ずつの将軍を選出させるなど、この10部族制を行政や軍事の単位とした。また、^③となる危険のある人物の名を市民が投票し、その数が一定数を超えた場合、10年間国外へ退去させられる制度、いわゆる^④を創設した。

その頃、小アジア沿岸のギリシア人植民市は、アケメネス朝ペルシアの領土となり、兵役や貢税の義務を課されていた。前500年のイオニアの反乱の際に、アテネが援軍を送ったことから、ペルシアはその報復としてギリシア本土を討とうとし、ギリシア諸ポリスとの間に^[9]ペルシア戦争が始まった。戦争は、重装歩兵や海軍の軍艦の漕ぎ手を構成する市民の活躍で、ギリシアが勝利した。

戦後もペルシアの襲来に備える必要から、アテネは^⑤同盟を作って加盟ポリスから艦船、兵員または軍資金を提供させ、指導的な役割を果たした。そして将軍ペリクレスの時代には、アテネは海軍国として発展し、内部では^[x]民主政が完成された。ほとんどすべての官職が市民に開放され、大多数の役人は抽選で選出された。裁判の陪審員も市民から抽選で選ばれた。

しかし、アテネが前431年からのペロポネソス戦争においてスパルタに敗北したことから、^⑤同盟も解体して、アテネの繁栄は終わった。この戦争は、多数のポリスを巻き込んだため、ギリシア全般に及ぶ農地の荒廃、中小農民の没落が著しく、しかも戦後も慢性的にポリス間で戦争状態が続き、ギリシアのポリスは衰退していった。そして、前338年、北方の新興国マケドニアの前にギリシア連合軍は敗れ、マケドニアを中心とする全ギリシアの同盟の下、^[x]マケドニアに支配されることとなった。

問 1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を記入しなさい。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

問 2 文中の下線部^[7]～^[x]に関して、下記の問(ア)～(オ)に答えなさい。

(ア) 下線部^[7]に関して、トロイアの遺跡を発掘するなど、ミケーネ文明の存在を証明したドイツの考古学者は誰か。

[]

- (イ) 下線部[イ]に関して、商工業や貿易が発展し貧富の差が生じた原因には貨幣経済の発達がある。初めて鑄造貨幣が造られた小アジアの王国は何か。 []
- (ウ) 下線部[ウ]に関して、広くオリエント諸国を旅行して、地理や諸民族の風俗や歴史を調査し、広大な視野に立ってペルシア戦争の歴史を書き、「歴史の父」と呼ばれている人物は誰か。 []
- (エ) 下線部[エ]に関して、現代民主政が代議制であるのに対して、ギリシアの民主政の特徴は直接民主政にある。自由民中の全成年男性で構成される政治の最高機関は何と呼ばれるか。 []
- (オ) 下線部[オ]に関して、アレクサンドロス大王の東方遠征以降の約 300 年間は、ヘレニズム時代と呼ばれる。この時代に、ポリス中心の考え方に代わって、ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とする思想が知識人の間に普及したが、その考え方とは何か。 []

早慶の過去問からの追加問題（ギリシア史）

【1】

早稲田大学 教育

次の古代ギリシアに関する文章を読み、下線部に関する問い(1)～(10)について、a～dの選択肢の中から解答を選び、その記号をマークしなさい。また、波線部に関する設問A、B、Cの解答を記入しなさい。

ギリシアの代表的ポリスのアテネでは、前6世紀初めに改革が行われた⁽¹⁾。しかし、市民のなかに不満を持つ者も多く、これらを抱き込んで非合法的に独裁権を握る僭主が現れた⁽²⁾。前6世紀末には、僭主の出現を防ぐための制度Aが設けられるなど、民主政治の基礎が確立した。この頃アケメネス朝ペルシアの支配に対する、小アジアの植民市の反乱⁽³⁾を契機にペルシア戦争Bがはじまった。前490年アテネは独力でペルシアの侵入を撃退し、さらに前480年海戦で勝利し⁽⁴⁾、前479年にはスパルタと連合した戦いでペルシアを破り⁽⁵⁾、ギリシアに勝利をもたらした。戦後、軍艦のこぎ手として働いた無産市民の発言力が高まり、これを背景にアテネ民主政が完成された⁽⁶⁾。ギリシア人たちは、独自の文化を花開かせ、その文学は神々と人間との関わりをうたったホメロスやヘシオドス⁽⁷⁾の叙事詩からはじまり、数多くの文学作品を生み出した⁽⁸⁾。他方で、自然現象を神話ではなく合理的根拠で説明しようとする自然哲学者たちが現れた⁽⁹⁾。また、民会や裁判所での弁論が重要になると、ことの真理にかかわらず相手をいかに説得するかを教える職業教師Cが登場した。これに対し真理の絶対性を説くソクラテスや、理想国家論を説くプラトン、さらにアリストテレス⁽¹⁰⁾など、後世に大きな影響を与える哲学者が活躍した。

(1) この改革に関して説明した次の各文で、正しいのはどれか。

- a 平民の負債を帳消しにして、債務奴隷を解放し、以後禁止した。
- b 500人評議会を創設した。
- c 血縁による4部族制を廃止し、地域的な10部族制に移行させた。
- d ポリスが武器や武具を整え、市民を重装歩兵として徴兵した。

[]

(2) 次のうち、僭主はどれか。

- a ドラコン b ペイシストラトス c ペリクレス d リュクルゴス

[]

(3) この植民市の所在地は次のなかのどれか。

- a アルカディア b イオニア c テッサリア d リディア

[]

(4) この海戦を勝利に導いたのはどれか。

- a エパミノンドス b テミストクレス c ミルティアデス d レオニダス

[]

(5) この戦いが行われた地名はどれか。

- a カイロネイア b テルモピレー c プラタイア d マラトン

[]

(6) アテネ民主政に関する説明で、誤っているのはどれか。

- a 市民が民会を構成し、議決する直接民主政であった。 b 参政権は成年の男性市民に限られた。
- c 役人や政治家の責任は弾劾裁判で追及された。 d 将軍や財務官は抽選で任命された。

[]

(7) 彼の作品はどれか。

- a 『アガ멤ノン』 b 『イリアス』 c 『オデュッセイア』 d 『労働と日々』

[]

(8) ペロポネソス戦争中に反戦劇『女の平和』を書いた作家はどれか。

- a アISKYLOS b アリストファネス c エウリピデス d ソフォクレス

[]

(9) 次の自然哲学者の主張として、正しいのはどれか。

- a タレスは、万物の根源は火であると主張した。 b ヘラクレイトスは、「万物は流転する」という言葉を残した。
- c ピタゴラスは、原子に万物の根源を求めた。 d デモクリトスは、万物が水からできていると主張した。

[]

(10) 彼に関する説明で、誤っているのはどれか。

- a アカデミアでプラトンに学んだ。 b 『政治学』や『形而上学』を著した。
- c 知徳合一を主張し、「無知の知」を説いた。

d マケドニアのフィリッポス2世に招かれ、王子アレクサンドロスの教育係を務めた。

[]

設問A この制度は何と呼ばれたか。 []

設問B この戦争を東西文明の衝突として物語風に叙述したのはだれか。 []

設問C この職業教師は何と呼ばれたか。 []

【2】

早稲田大学 政治経済学部

A 次の文のなかで、誤りのないものを二つ選び、マークせよ。

イ 前 594 年にアルコンに就いたソロンは、土地財産の大小によってアテナイ市民を 4 つの等級に分け、その等級に応じて政治参加の資格を付与した。

ロ ソロンの改革後も貴族と平民の抗争が続いたアテナイでは、ペイシストラトスが民衆の支持を背景に権力を握り、小農民の育成や海外発展をはかった。

ハ ペイシストラトスを追放したクレイステネスは、部族制の改革、五百人評議会の設置、陶片追放の制度によって、アテナイの民主化を進めた。

ニ 小アジアのミレトスに生まれたヘロドトスは、エジプトやメソポタミアなどオリエント諸国を旅行し、その見聞を交えてペルシア戦争の歴史を書いた。

ホ アテナイの名門に生まれたペリクレスは、デロス同盟諸国をアテナイに従属化させる政策を推進し、ペロポネソス戦争を勝利に導いた。 [.]

【3】

慶應義塾大学 文

ギリシアは早くから古代オリエント世界と接触をもち、紀元前 2000 年紀前半にはすでにミケーネ文明を形成していた。前 1200 年頃ミケーネ文明が滅亡すると、しばらく暗黒時代を迎えるが、前 8 世紀頃には各地にポリスが作られ、古典文化を生み出すこととなった。当時ギリシア人はオリンポスの 12 神を中心とする多神教を信じていた。しかし、この文化は人間中心主義で合理性を重んじることに特徴があり、そのような哲学、歴史、文学、彫刻、建築などが発達した。前 330 年ギリシア北方にあったマケドニアの王アレクサンドロスがアケメネス朝ペルシアを滅ぼすと、このギリシア文化はオリエント世界にも浸透していき、ヘレニズム文化が形成されるようになった。

(1) ミケーネ文明崩壊後移動したギリシア人の中でトロイア周辺に定住した人々を何と呼ぶか。 []

(2) ポリスで商工業が発達すると、豊かになった平民たちは自費で武具を調達し、ポリス防衛に加わるようになった。そのような兵士を何と呼ぶか。 []

(3) ペルシア戦争などで用いられたギリシアの軍船で、その高速性で知られたものは何か。 []

(4) アレクサンドロスが東方遠征からの帰還中に急死したユーフラテス川流域の都市はどこか。 []

【4】

早稲田大学 政治経済

次の問い 1～7 について、最も適切な答えをそれぞれイ～ニの中から一つ選び、その記号をマークせよ。

1 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ ミルティアデスの率いるアテネの重装歩兵軍は、マラトンに上陸したペルシア軍を破った。

ロ レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーに侵入してきたペルシア軍を撃退した。

ハ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で大艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。

ニ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイ(プラテーエ)の陸戦で破った。 []

2 いわゆるヘレニズム時代に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ マケドニアのアレクサンドロスは、イッソスの戦いでペルシアのダレイオス 3 世の軍を破った。

ロ アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイを自称する部将たちの間で抗争が起こった。

ハ アレクサンドロス大王の部将の一人であるプトレマイオスは、エジプトに新たな王朝を開いた。

ニ この時代に彫刻家のフェイディアスが、「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン像」などの傑作を生み出した。 []

設問 テルモピュレーの陸戦やサラミスの海戦の時に、アケメネス朝ペルシアの王だったのは a である。

[a]

【5】

早稲田大学 人間科学

ヨーロッパの政治制度に関する次の文章 1・2 を読み、以下の設問 X・Y に答えなさい。

紀元前 8 世紀頃、ギリシア世界では、ポリスとよばれる独立した都市国家が成立しはじめていた。多くのポリスには、①守護神を祀る神殿がおかれたアクロポリスとよばれる小高い丘があって、ここを中心に人々は集住(シノイキスモス)して、都市を形成した。また、ポリスの中心には A という広場があり、政治上の集会や市場がひらかれ、市民の社交や議論の場となった。②ギリシア人は、共通の言語・文化をもち、民族としては一体であったが、独自性をもつポリスを多数つくりながら、③民主政を特徴とするギリシア特有の政治制度を発達させていった。

設問 X 文中の空欄 A に入る最も適切な語を、a～d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

A a アポロン b アゴラ c キヴィタス d コロッセウム []

設問 Y 文中の下線部①～③に関する次の問いについて、最も適切な解答を a～d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- ① ギリシアの宗教・神話・神殿について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ヘシオドスは『神統記』で、天地や神々の誕生の神話を説いた。
- b ホメロスは叙事詩『イリアス』で、トロイア戦争や英雄アキレウスの武勲を伝えた。
- c ギリシア人の宗教は多神教で、ゼウスを主神としたオリンポス 12 神が万物を司るものとされた。 []
- d アテネのアクロポリスの丘には、ペルシア戦争前にその戦勝を祈願して、パルテノン神殿が建てられた。
- ② ギリシアの民族や文化について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ギリシア人は自分たちをヘレネス、その国土をヘラスと呼び、異民族をバルバロイと呼んで区別した。
- b ソクラテスは理想国家論を説き、その弟子プラトンは『政治学』・『ニコマコス倫理学』を著した。
- c ギリシア文化は東方にも波及し、土着文化からも影響を受けて、独特なヘレニズム文化が生まれた。
- d ギリシア文化の中心となったエジプトのアレクサンドリアには、ムセイオンという王立研究所が建てられた []
- ③ ギリシアにおける民主政について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a 紀元前 7 世紀に、ドラコンは従来の慣習法を成文化して、貴族による法の独占を破った。
- b 紀元前 6 世紀に、ソロンは貴族と平民の調停者として国政改革を断行した。
- c スパルタの僭主ペイシストラトスは、平民層の支持を得て、中・小農民を保護・育成した。
- d アテネのクレイステネスは、陶片追放(オストラシズム)の制度をつくって、僭主の出現を防止した。 []

【6】

早稲田大学 文

次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。設問 2・3 は、解答を一つ選び、その記号をマークしなさい。

ペリクレスは、A 戦争の初年の戦没者に対する葬送演説の中で、東方の専制社会とは異質である市民的自由を享受するギリシアの中でも、アテナイは民主政のもと自由と平等が最も浸透したポリスであることを、兵営国家で鎖国的な^(a) スパルタを揶揄しながら強調した。市民的娯楽として、アテナイでは国家的行事として行われた^(b) 悲劇・喜劇があった。悲劇は、民主政ポリスにふさわしく運命や宿命に耐えながら行動する人間としての個人の高貴さを表現した。喜劇は、好戦的扇動政治家やソフィストを批判しており、自由な批判精神が発揮された。

設問 1 文中の空欄 A に最も適合する語句を入れなさい。

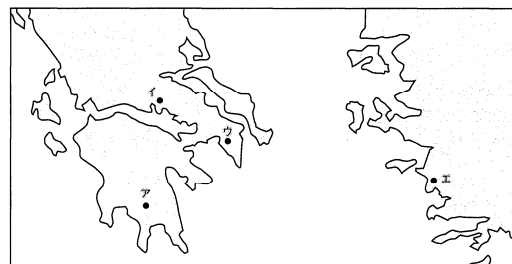
[A]

設問 2 下線部(a)にある地名は、次の地図のア～エのどれに該当するか。

a ア b イ c ウ d エ []

設問 3 下線部(b)に関連して、これらの作者でないものは誰か。

a アリストファネス b エウリピデス
c ソフォクレス d フェイディアス []



【7】

早稲田大学 商学部

次の文章を読み、下線部についての問に答えよ。解答は一つだけマークせよ。

ヨーロッパの都市は長い伝統をもっている。すでに^A紀元前8世紀にはギリシア、小アジア地域に^Bポリス(polis)と称する都市国家が成立しており、村落に住んでいた地主が「集住」(シノイクスモス)し次第に人口が増していった。ポリスの全盛期は、その数が1,000以上にも上ったといわれるがその一つ一つが政治的、経済的単位を形成していた。なかでも^Cアテネは次第に他のポリスに対し指導的な地位を獲得し、また^Dアテネ市民の活発な政治参加はかれらの文化にも大きく影響するとともに^E後年のイスラムやヨーロッパの思想も古代ギリシアの学問から多くのものを学んでいるのである。

問A 下線部Aに関して、紀元前8世紀におこったことはどれか。

1. ソロンの改革が実施された。
2. マガダ国がガンジス川流域を統一した。
3. ペイシストラトスが僭主となって政権を握った。
4. 中国で春秋時代が始まった。
5. キュロス2世がアケメネス朝ペルシアを建国した。

[]

問B 下線部Bに関して、ポリスについて誤っているものはどれか。

1. デルフォイはポリスの一つで神殿があった。
2. コリントは東地中海と西地中海を結ぶ要地にあり商業が栄えたポリスである。
3. 多くのポリスは信仰の中心としてのアクロポリスなどの神殿をもっていた。
4. アゴラは市民の集会場として多くのポリスで重要視されていた。
5. オリンピアの祭典はテーベによって廃止された。

[]

問C 下線部C、アテネに関して誤っているものはどれか。

1. ソロンは、市民が身体を抵当に入れ奴隷化するのを防ごうとした。
2. ラウレイオン銀山は多くの富をアテネにもたらした。
3. クレイステネスは陶片追放の制度を始めたことで知られる。
4. ペリクレスは下層市民にも政治参加の道を開いた。
5. デロス同盟はアテネのよびかけで結成されたが、各ポリスの対等の地位は保証された。

[]

問D 下線部Dに関して誤っているものはどれか。

1. クセノファネスはアテネの国制についての多くの著述で知られる。
2. ソフィストはしばしば詭弁家と評されるが実際には政治的な弁論を指導する役割をもっていたと考えられる。
3. プラトンは「国家」などで望ましいポリスのありかたについて論じた。
4. アリストテレスは「政治学」を著した。
5. アリストファネスは政治風刺で一時代を画した。

[]

【8】

早稲田大学 文化構想

次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

ギリシア人とローマ人の国家は、現在のイランを中心とする地域に成立した大帝国と抗争を繰り返した。東西の国家の最初の大規模な衝突は、^Aペルシア戦争であった。この戦争はアテネを中心とするギリシア人の都市国家とアケメネス朝ペルシアとの間で起こった。最終的にギリシア側の勝利で終わったこの戦争については、^Bヘロドトス^Bがその詳細を書き残している。マケドニアのアレクサンドロス大王は、東方大遠征を行い、アケメネス朝を滅ぼした。大王の死後、セレウコス朝が旧アケメネス朝の領土の大半を継承したが、やがて^Cパルティアによってユーフラテス川以東の領土を奪われた。パルティアは、ローマとアルメニアやメソポタミア地方を巡って争った。ローマ皇帝の中には、アレクサンドロス大王に憧れる者もあり、このことがローマのパルティア侵攻の原因ともなった。3世紀にパルティアを倒した^Dササン朝もローマ帝国との戦争をたびたび行い、両者の争いは、ササン朝が642年に^Eの戦いでイスラーム勢力に事実上倒されるまで続いた。

設問1 下線部Aの戦争について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア マラトンの戦いでは、ギリシア側が勝利した。

イ サラムスの海戦では、ギリシア側が勝利した。

ウ マラトンの戦いでは、ミルティアデスがギリシア側を指揮した。

エ サラムスの海戦では、ペイシストラトスがギリシア側を指揮した。 []

設問2 下線部Bの人物について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア 前5世紀の人である。 イ ミレトスの出身である。

ウ 物語風の歴史叙述を行った。 エ 『歴史』を著した。 []

設問3 下線部Cの国家の中国史料での呼び名を漢字で記しなさい。 []

設問4 下線部Dに関連して、260年にシャープール1世の捕虜となったローマ皇帝の名を記しなさい。

[]

設問5 空欄Eにあてはまる地名として正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア アンカラ イ ザマ ウ ニハーヴァンド エ アルベラ []

【9】

早稲田大学 文化構想

次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

古代においてギリシア人は、その居住地を著しく拡大させた。前2000年頃にAインド＝ヨーロッパ語族の一派ギリシア人は、北方からギリシアに侵入し、やがてBミケーネ文明を興した。この文明は前1200年頃に突然崩壊し、ギリシアは暗黒時代に入るが、この暗黒時代においてギリシア人は、イオニア地方などに移住した。後にこのイオニア地方のギリシア人は、アケメネス朝ペルシアの第3代の王Cに対して反乱を起こし、ペルシア戦争のきっかけをつくった。前8世紀に入ると、ポリスが生まれ、ポリスは同世紀半ば頃から地中海や黒海の沿岸に植民市を建設することで、ギリシア人の居住地をさらに拡大させた。植民市は、西方ではDイタリア半島南部やシチリア島を中心に数多く建設された。前4世紀にEアレクサンドロス大王が東方大遠征を行ったことから、ギリシア人の居住地は、シリア、メソポタミアを越えてアフガニスタンにまで広がった。

設問1 下線部Aの語族に属さない言語を一つ選べ。

ア アッカド語 イ ヒッタイト語 ウ サンスクリット語 エ ラテン語 []

設問2 下線部Bの文明の中心地の一つミケーネを1876年から発掘した人物の名を記しなさい。

[]

設問3 空欄Cにあてはまる人名を記しなさい。

[]

設問4 下線部Dの地域に建設されたギリシア人の植民市の名として正しいものを一つ選べ。

ア クノッソス イ シラクサ ウ ネアポリス エ マッサリア []

設問5 下線部Eの人物について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア アテネに生まれた。 イ 父親はフィリッポス2世であった。

ウ エジプトにアレクサンドリアを建設した。 エ バビロンで没した。 []

【10】

早稲田大学 政治経済

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

数えあげると、アテナイではこれまで11回の体制の変化があった。最初の変化は、太古の時代にイオンとその仲間たちが、アテナイに集まり住むようになった時に起った。この時初めて、ひとびとは4つの部族に分けてまとめられ、それぞれに部族王が任命された。第二は、テセウスの時代の変化であり、かなり大きな国制の改革が行われ、本来の王制から少し外れていくことになった。その後、aの時代に、初めて法が成文化された。第三は、市民同士の騒乱の後に現れたソロンの体制であり、そこから初めてb政治の端緒が開かれた。第四は、ペイシストラトスのc政治の時代である。第五は、ペイシストラト

スとその息子たちの c 政治が倒れた後の d による体制であり、ソロンの体制よりも b 的になった。第六は、e ペルシア戦争後の体制であり、この時の改革はまだ f の監督のもとで行われた。第七の体制は、(中略)エフィアルテスがこの f から政治的実権を奪った政変の後の体制である。この体制のもとでアテナイは、g たちの活動によって、きわめて多くの政治的失策をおかすことになった。これには当時のアテナイが、h 海の支配を行っていたという原因もある。第八は、四百人の体制であり、これに次ぐ第九の体制として、ふたたび b 政治が行われた。(中略)第十一は、フュレーおよびペイライエウスからひとびとが帰還した後の体制である。それ以来、今日まで現在の体制が続いており、大衆がますます多くの職務や権限を手にするようになっていく。というのも、民衆はすべてに対する最終決定者となり、自らが実権を握る i の決議と民衆裁判所の判決によって、万事を取り仕切っているからである。

(出典：アリストテレス『アテナイ人の国制』第 41 章より、一部改変)

A 下記の問い 1～5 について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 空欄 a に当てはまる人名は何か。

イ リュクルゴス ロ レオニダス ハ ドラコン ニ ミノス []

2 空欄 d に当てはまる人物が行ったことは何か。

イ 部族制の再編 ロ アルコン制の廃止 ハ 陶片追放制の廃止 ニ ファランクス戦法の開始 []

3 下線部 e 中に起った①～④の戦闘を時系列に並べるとすれば、適切なものはどれか。

- ① スパルタの将軍パウサニアスが指揮するギリシア連合軍が、プラタイアでペルシア軍を撃破した。
 ② アテナイを中心とするギリシア連合軍の艦隊が、アテナイ西方の海峡(水道)でペルシア艦隊を撃破した。
 ③ ミルティアデスが指揮するアテナイの重装歩兵軍が、アテナイ北東の地に上陸したペルシア軍を破った。
 ④ テッサリアを南下し中部ギリシアへ向け進軍するペルシア軍が、ギリシア軍を破り、スパルタ王が戦死した。

イ ①→③→②→④ ロ ①→③→④→② ハ ②→③→④→① ニ ③→④→②→① []

4 空欄 f に当てはまる語句は何か。

イ 五百人評議会 ロ アレオパゴス評議会 ハ ヘラス同盟 ニ 隣保同盟 []

5 下線部 h を成立させていた軍事同盟の金庫を前 454 年にアテナイへ移した政治家は誰か。

イ アナクレオン ロ キュロン ハ テミストクレス ニ ペリクレス []

B 下記の問い 1～4 について、最も適切な答えを記せ。

- 1 空欄 b に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。 []
 2 空欄 c に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。 []
 3 空欄 g に当てはまる語句をカタカナで記せ。 []
 4 空欄 i に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。 []

【11】

早稲田大学 文

次の文章を読んで、設問 1～5 に答えなさい。

A が率いるアテネは、B 戦争に勝利したのち、名実ともにギリシアのポリスの盟主となり、紀元前 447 年、アクロポリスの丘に、アテナ女神をまつるパルテノン神殿(図 1)再建に着手した。建築と彫刻の総指揮をとったのは、彫刻家 C である。紀元後 6 世紀以降、パルテノン神殿は D 帝国の下で、キリスト教の教会となり、大理石に聖母マリアなどの壁画が描かれた。15 世紀以降オスマン帝国によって、パルテノン神殿は一時モスクとして使用され、ミナレットも増築された。17 世紀後半にアテネがヴェネツィア共和国から攻撃を受けた際、火薬庫として用いられていたパルテノンには砲撃を受け、屋根などが大破して、多くの彫刻も失われた。19 世紀初頭、イギリスの外交官であった E 卿はスルタンの許可を得て、パルテノンに付属

する彫刻を大量に本国に持ち帰った。それらは今日「E・マーブル」と呼ばれて、大英博物館の至宝となっている(図 2)。

しかし、オスマン帝国から独立を果たしたギリシアは、今日パルテノン彫刻の返還を強く訴えている。「E・マーブル」問題は、ヨーロッパの博物館・美術館のありようを、私たちに考えさせるのである。



図1 アテネ,
パルテノン神殿

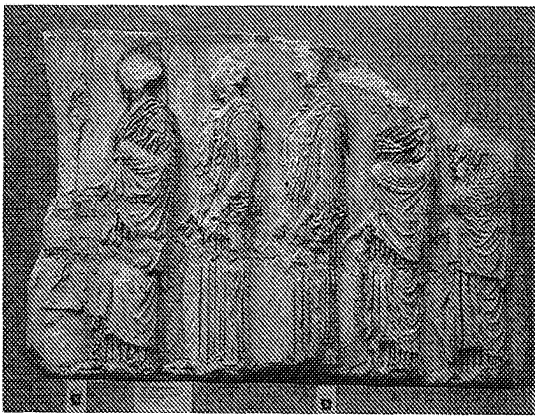


図2 ロンドン,
大英博物館,
パルテノン彫刻

設問1 Aに当てはまる人名を選びなさい。

イ テミストクレス ロ ペリクレス ハ クレイステネス ニ ペイシストラトス []

設問2 Bに当てはまる語を選びなさい。

イ ペロポネソス ロ スパルタ ハ テルモピレー ニ ペルシア []

設問3 Cに当てはまる人名を選びなさい。

イ プラクシテレス ロ エウリピデス ハ フェイディアス ニ ミュロン []

設問4 Dに当てはまる語を選びなさい。

イ ラテン ロ 両シチリア ハ ビザンツ ニ 神聖ローマ []

設問5 Eに当てはまる人名を選びなさい。

イ バイロン ロ ディケンズ ハ ワーズワース ニ エルギン []

演習追加問題(ローマ共和政)

【1】

中央大学 経済

以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

建国伝説によれば、⁽⁷⁾ローマは前 753 年にラテン人によってティベル河畔に建設された。当初は王政であり、初代のロムルス以降、7 人の王によって統治されたという。だが、前 509 年に最後の王が追放され、ローマは共和政に移行した。初期の共和政ローマでは、貴族(パトリキ)と平民(プレブス)という身分の違いが存在していた。一般に、政治上の要職は貴族によって独占される傾向が強く、それに対する平民の不満が両者間の身分闘争の主要な原因となった。まず、前 5 世紀初頭に平民が組織的な市外退去を行ない、貴族側から譲歩を引き出すことに成功する。この結果、平民のみで構成される平民会の設置と、元老院やコンスルの決定に対して拒否権を発動できる護民官を平民から選ぶことが認められた。次に、前 450 年頃、従来の慣習法を初めて成文法の形で示した十二表法が制定・公開された。これは、それまで曖昧であった市民権の明確化と貴族による法の恣意的な運用の抑制をつうじて、平民の地位向上に役立った。さらに、前 367 年の(A)法によって、公職の頂点をなすコンスルのうち 1 人は平民から選出されることになる。その後、前 287 年には(B)法が成立し、元老院の承認がなくても平民会の決議が国法となることが認められた。このような一連の成果によって政治的安定をひとまず実現すると、ローマは対外的な勢力拡大に乗り出す。前 4 世紀後半以降、ローマはラテン同盟戦争、サムニウム戦争を勝ち抜き、前 272 年にはギリシャ人の植民都市⁽⁸⁾タレントウムを陥落させ、イタリア半島を統一した。半島の支配権を確立したローマは、次に地中海へ進出していく。前 264 年、ローマは地中海交易の拠点で穀物生産地としても重要であったシチリア島の支配をめぐって⁽⁹⁾カルタゴと衝突し、ポエニ戦争が勃発した。第 2 回ポエニ戦争では、冬のアルプスをこえて北イタリアに侵入したハンニバルに大敗を喫するなど、ローマは苦戦を強いられることもあった。だが、ローマは前 202 年の(C)の戦いで第 2 回ポエニ戦争に勝利し、第 3 回ポエニ戦争で最終的な勝利も収める。その結果、カルタゴは完全に破壊され、歴史上から姿を消すことになった。

ポエニ戦争と並行して、ローマはヘレニズム世界への侵攻も企てた。まず、第 2 回ポエニ戦争で一時カルタゴに味方した(D)王国と戦い、前 168 年に滅亡に追い込む。続いて、カルタゴを葬り去った同じ前 146 年、ローマはアカイア戦争にも勝利し、他のギリシャ都市への見せしめの意味も込めて、反抗したコリントスを徹底的に破壊した。さらに前 133 年には、王の遺言によって(E)王国がローマの領土に加えられることになった。ところが、度重なる征服戦争は、ローマ社会内部に深刻な問題を生じさせることになる。一連の軍事的成功の結果、ローマはイタリア半島以外の征服地(属州)を次々に獲得した。これらの属州は、統治の責任者である総督や、属州民への徴税を請け負う騎士階層の搾取の対象とされ、彼らに莫大な富をもたらした。他方、長期間の従軍(しかも費用は自己負担)、戦争による農地の荒廃、属州からの安価な穀物の流入などによって、重装歩兵の担い手でローマ軍の要であった中小農民層が没落傾向を強めていく。困窮した彼らは土地を手放し、都市(特にローマ)に流入していった。彼らはそこで、一般に「パンと見せ物」を要求する無産市民となり、略奪機会が得られる征服戦争を望み、野心家の私兵と化したという。そして、売却された土地は富裕な市民たちが買い集め、彼らは征服に伴って生じた公有地を私有地化したうえで、多数の奴隷を酷使して果樹栽培を営む(F)を発達させた。

このような中小農民の没落に伴う軍事力低下に危機意識を強め、改革に着手したのがグラックス兄弟である。彼らは大土地所有を制限し、大土地所有者に返還させた土地を無産市民に分配しようとしたが、兄は反対派に殺害され、弟は自殺に追い込まれてしまう。以後、共和制ローマは⁽¹⁰⁾内乱の 1 世紀に突入していく。そして、この未曾有の混乱期をへて、ローマは帝政へと移行するのである。

問 1 (ア)～(ウ)の都市は、地図中のどこに該当するか。もつとも適当な記号を地図中の(あ)～(こ)の中からそれぞれ選びなさい。

ア	イ	ウ
---	---	---



問2 空欄(A)～(F)に当てはまるもっとも適切な語句を記入しなさい。

A	B	C
D	E	F

問3 下線部(1)について、以下の(a)～(d)の出来事を歴史の古い順に並べなさい。

- (a) カエサル暗殺 (b) 同盟市戦争
(c) アクティウムの海戦 (d) スパルタクスの反乱 [→ → →]

【2】

明治大学 農

次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

ラテン人の一派によってティベル河畔に建設された都市国家ローマは、イタリア半島を統一したのち、西方と東方に勢力を拡大し、地中海を内海とする世界帝国を建設するにいたった。古代ローマ人は、この帝国支配をとおして⁽⁷⁾ギリシア・ローマの古典文化を地中海世界のすみずみにひろめた。⁽⁴⁾共和政初期のローマでは、貴族(パトリキ)が中小農民を中核とする平民(プレブス)に対して政権を独占する政治状況にあった。しかし、彼ら中小農民は、重装歩兵として国防に重要な役割をはたすようになり、⁽⁹⁾貴族との同等な政治的権利をもとめて身分闘争を展開した。共和政ローマは、初期の征服戦争で⁽³⁾全イタリア半島を制覇するとともに、⁽⁴⁾三回にわたるポエニ戦争に勝利をおさめ、ついにはエジプトを併合し東方のヘレニズム世界をも支配するようになった。だが、こうした征服戦争の拡大とともに、おおくの中小農民の没落と無産市民化が進行した。市民のあいだで貧富の格差がますますひろがった結果、市民の平等を原則とするローマの都市国家としての性格は変質し、共和政の土台は大きくゆらぎだしたのである。⁽⁸⁾大土地所有者の土地の没収とその無産市民への分配を企図したグラックス兄弟の改革があったものの、大地主の反対で失敗におわり、⁽³⁾ローマは「内乱の1世紀」に突入した。この混乱を武力によっておさめ、のちに独裁官(ディクタトル)として社会の安定化につとめたのは(1)であった。前44年(1)の暗殺後に政治はふたたび混乱したが、オクタウィアヌスによって全地中海域は平定され内乱は終わりを遂げた。前27年彼は元老院から(2)の称号を与えられ、自らは「市民のなかの第一人者」と称したが、事実上の皇帝として独裁政治をおこなった。これが帝政時代のはじまりとなり、⁽⁹⁾「ローマの平和」とよばれる空前の繁栄と平和の時代が約200年間つづいた。

問1 下線部(ア)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A ギリシアにはじまった弁論術はローマに継承され、キケロはローマ最大の弁論家といわれた。
B 十二表法を起源とするローマ法は、「ローマ法大全」に集大成された。
C 哲学者のセネカは、ギリシアのストア派の影響を強くうけた。
D エピクテトスが百科全書的な知識の集大成である「博物誌」を書いた。 []

問2 下線部(イ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A 当時の民会の議決は元老院の承認を得てはじめて国法として通用した。
B 元老院は任期10年の貴族300人で構成されたが定員はのちに増加した。
C 任期1年の最高官職であるコンスル(執政官)は貴族から選出された。
D 元老院によってコンスルのなかから任命されたディクタトル(独裁官)に非常時の全権が委任された。 []

問3 下線部(ウ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A 平民だけの民会である平民会が設けられた。
B 慣習法をはじめて成文化した十二表法が制定された。
C ホルテンシウス法によりコンスルのうち1名は平民から選ばれるようになった。
D 平民保護のための官職として護民官が設置された。 []

問4 下線部(エ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A ローマは前4世紀前半にイタリア半島全体を支配した。
B イタリア半島南部にはギリシア人の都市国家があった。
C イタリア半島北部にはエトルリア人の都市国家があった。

D 征服された諸都市は、分割統治の方法で支配された。 []

問 5 下線部(オ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A ローマはフェニキア人植民市のカルタゴと西地中海の覇権をめぐって戦った。
- B シチリア島がローマの最初の属州となった。
- C カルタゴの名将ハンニバルは、カンネーの戦いでローマ軍に大打撃を与えた。
- D ローマの将軍ハドリアヌスが、ザマの戦いに大勝して第 2 回ポエニ戦争での勝利を決定づけた。 []

問 6 下線部(カ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A 貴族や上層市民による公有地の私有化や農民からの土地買占めなどで大土地所有(ラティフンディア)が形成された。
- B ラティフンディアは戦争捕虜を農業奴隷として使用した。
- C ラティフンディアでは主に穀物が生産された。
- D ラティフンディアは第 2 回ポエニ戦争以降急速に発達し、中小農民の没落を加速した。 []

問 7 下線部(キ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A 平民派のマリウスは無産市民の志願者に武器を与えて軍団に取り込む軍政改革を行った。
- B 閥族派のスラは、平民派を弾圧し、元老院と結んで無期限のディクタトルとなった。
- C イタリア半島内の同盟市がローマ市民権をもとめて反乱を起こした。
- D ポンペイウスは、スパルタクスの反乱、ミトリダテスの反乱などを鎮圧したのち、パルティア遠征で戦死した。 []

問 8 空欄(1)に最も適した人名を記入しなさい。 []

問 9 空欄(2)に最も適した称号を下から一つ選べ。

- A インペラトル B プリンケプス C アウグストゥス D ノビレス []

問 10 下線部(ク)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

- A トラヤヌス帝のときにローマ帝国の領土は最大となった。
- B アントニヌス=ピウス帝はローマ帝国領内の全自由民にローマ市民権を与えた。
- C ローマ帝国はアジアから絹・香辛料などを輸入し、ガラス器・ブドウ酒・金貨などを輸出した。
- D 帝国内でローマ風の都市が多数建設され、都市文化が浸透した。 []

【3】

東京大学

歴史上、帝国と呼ばれた国家は、多民族、多人種、多宗教を包摂する大きな領域をその版図におさめている場合が多かった。それらの国家の繁栄と衰退、差異や共通性、内外の諸関係について、次の設問に答えなさい。

問(1) ローマはテヴェレ川のほとりに建設された都市国家にすぎなかったが、紀元前 6 世紀に、エトルリア人の王を追放して共和政となった。その後、周辺の都市国家を征服してイタリア半島全体を支配し、やがて地中海世界を手中におさめる大帝
国となった。ローマが帝政に移行する紀元前後からおよそ 200 年にわたる時期はパクス=ローマーナとたたえられ、平和が
維持された。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) ローマの平和と繁栄を示す都市生活を支えていた公共施設について、2 行以内で説明しなさい。

(b) ローマの市民権の拡大について、2 行以内で説明しなさい。

演習追加問題(ローマ帝政)

【4】

学習院大学 経済

次の文章を読み、それぞれ(1)～(10)の設問について〔 〕内の語句から最も適切と思われるものを選び。

アウグストゥスに始まるローマ帝政は、紀元後 3 世紀を境に大きく 2 つに分けられる。帝政前期の政治体制は、皇帝が(1)〔① 市民の第一人者 ② 市民の救済者 ③ 世界の救済者 ④ 世界の支配者〕を意味するプリンケプスと称したことからプリンキパトゥスと呼ばれ、この語は「元首政」と訳される。帝政後期の政治体制は臣下に対する皇帝の地位が奴隷に対する主人の如くなったため、主人を意味する(2)〔① エクィテス ② オプティマテス ③ ドミヌス ④ プブリカニ〕にちなんで名付けられ、日本語では「専制君主政」と訳されている。アウグストゥス帝から 2 世紀後半の五賢帝最後の皇帝

(3)〔① アントニヌス＝ピウス ② ウェスパシアヌス ③ ネルウァ ④ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス〕までを「パックス＝ロマーナ(ローマの平和)」の時代と呼び、ローマ帝国は平和を享受していた。この時代のローマ帝国は、街道を整備し、各地に都市を建設してギリシアやローマ風の都市文明を帝国の隅々までひろめた。またローマ帝国の東方属州の商人たちは、季節風(モンスーン)を利用して(4)〔① インド ② オーストラリア ③ スカンディナヴィア ④ 中央アジア〕への貿易路を開拓した。ローマ帝国は、3 世紀に危機を迎えた。対外的には、北方からゴート人などのゲルマン諸族が侵入し、東方からは(5)〔① アルサケス ② アケメネス ③ クシャーナ ④ ササン〕朝が帝国の東方属州を脅かしたのである。対内的にも、外敵の侵入に動揺した帝国の辺境地方に駐屯していた軍隊が、それぞれの司令官を皇帝に擁立して争う内乱が起こった。これらの皇帝を軍人皇帝と呼ぶ。これらの危機の結果、帝国財政も悪化し、帝国政府は粗悪な貨幣への改鑄で対処したため、貨幣価値は急落してインフレーションが帝国を襲った。この危機を収拾して、ローマ帝国を再生させたのが、自らも軍人皇帝であった(6)〔① カラカラ ② ウァレリアヌス ③ シャープール ④ ディオクレティアヌス〕であった。

(6)帝は、(7)〔① テトラルキア ② デモクラティア ③ ポブラレス ④ モナルキア〕と呼ばれる体制を樹立し、2 人の正帝(アウグストゥス)と 2 人の副帝(カエサル)が協力して帝国を統治し、外敵の侵入を防ぐようにした。また、(6)は最高価格令を發布して、インフレーションの沈静化を試みるなど帝国の安定化をはかった。(6)の引退後に再び皇帝たちの間に内乱が勃発したが、コンスタンティヌス 1 世が帝国を再統一した。彼は、ソリドゥス金貨を発行して貨幣価値を安定させ、ヨーロッパとアジアの境に位置するギリシア人都市(8)〔① カルケドン ② ニコメディア ③ ビザンティオン ④ ミレトス〕をコンスタンティノポリスと改名し、ローマ帝国の新しい首都とするなど、後期帝政の体制を確立した。(6)帝は、帝国の混乱沈静化に際してローマの伝統的な宗教を利用したため、(9)〔①アウグストゥス ②トラヤヌス ③ネロ ④ ハドリアヌス〕帝の最初の迫害以降、繰り返し迫害されていたキリスト教への圧迫を強め、303 年に最後の大迫害を開始した。これに対して、313 年に西の正帝であったコンスタンティヌス 1 世は、東の正帝と(10)〔① エフェソス ② ニケーア ③ ミラノ ④ ローマ〕において会見して勅令を發布し、キリスト教を公認した。これ以降、キリスト教は皇帝たちの庇護の下で信者の数を増やし、テオドシウス帝時代にはローマ帝国の国教となった。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

【5】

津田塾大学 学芸

次の文を読み、設問に答えなさい。

古代ローマの帝政時代は、〔 1 〕が元老院からアウグストゥス(尊厳者)の称号を与えられた前 27 年に始まる。彼は共和政の伝統と元老院の威光を尊重しながらも、万人にまさる権威をもつ〔 2 〕の称号を用いてほとんどすべての要職を兼任し、全政治権力を手中に収めていた。続く約 200 年間の時代は〔 3 〕と呼ばれ、特に(4) 五賢帝の時代には最盛期をむかえる。ローマ風の都市が道路や水道とともに国境近辺にまで建設され、〔 4 〕権の対象範囲も徐々に拡大されて〔 5 〕帝のときには帝国の全自由人に与えられた。商業活動も繁栄し、インド洋の〔 6 〕を利用した〔 6 〕貿易によって中国・東南アジア・インドから絹や香辛料がもたらされた。その様子は、1 世紀頃から 2 世紀頃に成立したとされる航海案内書『〔 7 〕』に詳しく述べられている。ところが、帝国は次第に「3 世紀の危機」と呼ばれる状況に陥っていく。特に〔 8 〕皇帝の時代とされる約 50 年間には、各属

州の軍事力を背景に皇帝が乱立し、帝位が頻繁に入れ替わった。内乱と異民族の侵入に対するために軍事力が増強され、都市は重税を課されて経済的に弱っていった。上層民のなかには都市を去り、田園で下層民などを [9] として働かせ、大所領を経営するものも現れた。このような帝国の危機に対応するため [10] 帝は (B) テトラルキアという統治体制を導入することにより政治的秩序を回復した。なお [10] 帝以降の皇帝主導による強権的な政治体制は [11] と呼ばれる。[10] 帝が退位すると帝位継承をめぐる争いが起こり、帝国は再び内乱状態に陥った。この内乱を収めて帝国を再統一したのが [12] 帝である。[12] 帝は帝国の統一を維持するため、官僚制を整備するとともに、(C) それまで迫害されてきたキリスト教を公認し、ソリドゥス金貨を発行して通貨を安定させ、[9] の移動を禁止して身分を固定化することで税収を確保した。また、新たな首都をビザンティウムに建設してこれを [13] と改称した。[12] 帝の諸改革にもかかわらず、巨大な軍隊と官僚組織をささえるための重税は属州の反乱を招き、さらにゲルマン人の大移動により社会は混乱をきわめた。帝国の分裂は避けがたく、[14] 帝は帝国を東西に分割して 2 子に分け与えた。その後 [13] を首都とする東ローマ帝国(ビザンツ帝国)は 1000 年以上存続することになるが、西ローマ帝国では混乱が続き、ついにゲルマン人傭兵隊長 [15] によって皇帝が退位させられた。

問 1 空欄 [1] ～ [15] に最も適当と思われる語を入れなさい。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

問 2 下線部(A)について、

- (1) 属州出身者として初めて皇帝となり、帝国の最大版図を実現したのは誰ですか。 []
- (2) 先帝の対外積極策から内政整備と辺境防衛に転じ、ブリタニアに長城を築いた皇帝は誰ですか。 []
- (3) 『自省録』を著したストア派の哲人皇帝は誰ですか。 []
- (4) 北方の素朴で勇敢なゲルマン人の社会と、爛熟し退廃に向かいつつあるローマを対比した民族誌を著し、ローマ社会に警告を与えようとしたとされる歴史家は誰ですか。 []

問 3 下線部(B)について、どのような統治体制か、簡潔に説明しなさい。

[]

問 4 下線部(C)について、

- (1) 64 年のローマ大火の責任をキリスト教徒に負わせ、信者を弾圧した皇帝は誰ですか。 []
- (2) 3 世紀半ば以降、皇帝が国家の方針としてキリスト教徒を弾圧した理由を、簡潔に述べなさい。 []
- (3) 増大するキリスト教徒を懐柔するために信教の自由を保障し、313 年に発布したとされる勅令は、何という勅令ですか。 []

【6】

青山学院大学 経済学部

次の文章を読んで下記の設問に答えなさい。答えは、各問末尾の選択肢 a ～ c から一つを選び、その記号をマークしなさい。ただし、a ～ c に正しいものが無い場合、あるいは二つ以上選択可能な場合は、d をマークすること。すべてマークすべき記号は一つである。二つ以上マークした場合は誤りとする。

第 2 回 (①) 頭政治崩壊後の内乱は、前 31 年の (②) の海戦で終わった。その勝者オクタウィアヌスが帝政を開始する。前 27 年にアウグストゥスの称号を与えられたオクタウィアヌスは、共和政の伝統を尊重しながら独自の体制を作り上げる。こ

早慶の過去問からの発展・応用(ローマ史)

【1】 早稲田大学 法

西洋の各時代における政治制度や議会の歴史に関するAの文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

A

紀元前 1000 年頃、ティベル河畔に建設された都市国家ローマは、先住民であるエトルリア人の支配を受け、最初王政をとっていたが、①前 6 世紀末に王を追放して共和政を築いた。しかし、貴族と平民さらに非自由民としての奴隷との身分差があるため、最高の官職である執政官は貴族から選ばれ、実質的な支配を握っていたのは、貴族の会議である元老院であった。したがって、共和政といっても実質上は貴族政であり、②この貴族支配に対して、前 5 世紀から平民を中心にした身分闘争が起こり、政治における平民と貴族との権利の平等が図られた。その後、ローマの地中海征服や属州支配によって中小農民が没落する一方で、新たな富裕層として騎士階層が台頭し、市民の間の経済格差は広がった。この結果、政治家は、元老院の伝統を守ろうとする閥族派と、騎士や無産市民が支持する平民派に分裂して政治闘争を繰り返すようになった。グラックス兄弟の改革が失敗し、各地で反乱が起こるなど、ローマは内乱の時代に入るが、③前 1 世紀の 2 回にわたる三頭政治を経て、ようやく混乱に終止符がうたれた。権力の座についたオクタヴィアヌスは前 27 年、元老院からアウグストゥス(尊厳者)の称号を与えられ、市民の中の第一人者を自称したが、④事実上の皇帝独裁が開始された。

設問 1 下線部①に関連して、同じ前 6 世紀頃、ギリシアでも民主政の改革が行われたが、これについて述べた次の 1～4 の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 ソロンが国制改革を実施し、財産額によって市民の参政権を定め、貴族と平民の調停を図ろうとした。
- 2 アテネの僭主ペイシストラトスは、中小農民の保護・育成に努め、平民層の力を向上させた。
- 3 アテネのクレステネスは、血縁による 4 部族制を、地域的な 10 部族制に改める改革を行い、民主政の基礎を固めた。
- 4 ペリクレスの指導の下で、アテネの民主政は完成に向かい、ペロポネソス同盟を結成して、ペルシア戦争を戦った。[]

設問 2 下線部②に関連して、平民の地位向上に役立ったと考えられるローマの法律や議会について、古いものから時代順に正しく並んでいるのはどれか。次の 1～4 から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 リキニウス・セクスティウス法の制定→十二表法の制定→平民会の設置→ホルテンシウス法の制定
- 2 ホルテンシウス法の制定→平民会の設置→十二表法の制定→リキニウス・セクスティウス法の制定
- 3 平民会の設置→十二表法の制定→リキニウス・セクスティウス法の制定→ホルテンシウス法の制定
- 4 十二表法の制定→ホルテンシウス法の制定→リキニウス・セクスティウス法の制定→平民会の設置 []

設問 3 下線部③について、三頭政治に関連して述べた次の 1～4 の説明の中から正しいものを一つ選びなさい。 1 閥族派のスラ、平民派のカエサル、騎士階層出身のクラッススによって、第 1 回三頭政治が前 60 年に始められた。

- 2 カエサルはインペラトルの称号をうけてガリアに遠征し、『ガリア戦記』を残した。
- 3 アントニウス、ポンペイウス、レピドゥスによって、第 2 回三頭政治が前 43 年に始められた。
- 4 オクタヴィアヌスはアクティウムの海戦で、アントニウス・クレオパトラ連合軍を破った。[]

設問 4 下線部④に関連して、ローマの皇帝政治について述べた次の 1～4 の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 皇帝ネロは、キリスト教徒を迫害するなど残虐な政治を行い、追放されて自殺した。
- 2 五賢帝の最初の皇帝であるトラヤヌスのときに、ローマ帝国は最大の版図を実現した。
- 3 五賢帝の最後の皇帝マルクス＝アウレリウス＝アントニヌスは、『自省録』を著すなど、哲人皇帝と呼ばれる。
- 4 ディオクレティアヌス帝は、ローマ帝国を 4 分し、正帝と副帝を 2 人ずつたてる四分統治制をとった。[]

【2】 早稲田大学 政治経済

下記のAに答えよ。

A 次の問い 1～7 について、最も適切な答えをそれぞれイ～ニの中から一つ選び、その記号をマークせよ。

1 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ ミルティアデスの率いるアテネの重装歩兵軍は、マラトンに上陸したペルシア軍を破った。

- ロ レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーに侵入してきたペルシア軍を撃退した。
- ハ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で大艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。
- ニ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイ(プラテーエ)の陸戦で破った。 []
- 2 いわゆるヘレニズム時代に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ マケドニアのアレクサンドロスは、イッソスの戦いでペルシアのダレイオス3世の軍を破った。
- ロ アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイを自称する部将たちの間で抗争が起こった。
- ハ アレクサンドロス大王の部将の一人であるプトレマイオスは、エジプトに新たな王朝を開いた。
- ニ この時代に彫刻家のフェイディアスが、「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン像」などの傑作を生み出した。 []
- 3 共和政時代のローマに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ 元老院は三つの民会の一つであり、コンスルを任命するなど、ローマでもっとも権威ある機関だった。
- ロ ローマは西地中海の支配をめぐりカルタゴとたびたび戦い、(大)スキピオはザマの戦いでハンニバルを破った。
- ハ 共和政末の内乱のなかで平民派のカエサルが頭角を現し、ポンペイウスを倒して、インペラトルの称号を手にした。
- ニ カエサルの暗殺後、アクティウムの海戦で勝利したオクタヴィアヌスがアウグストゥスという称号を手にした。 []
- 4 ローマ帝国時代のキリスト教に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ パリサイ派のユダヤ教徒だったパウロは、回心してキリスト教徒になり、帝国各地に伝道を行った。
- ロ ディオクレティアヌス帝は、帝国の統一のため皇帝に対する崇拝を強制し、キリスト教徒に対する迫害を行った。
- ハ コンスタンティヌス帝は、キリスト教の信仰の自由を認めるとともにニケーア公会議で教義統一を図った。
- ニ テオドシウス帝は、エフェソスで公会議を開催し、三位一体説に反対するアリウス派を異端とする決定を行った。 []

【3】

早稲田大学 第一文学部

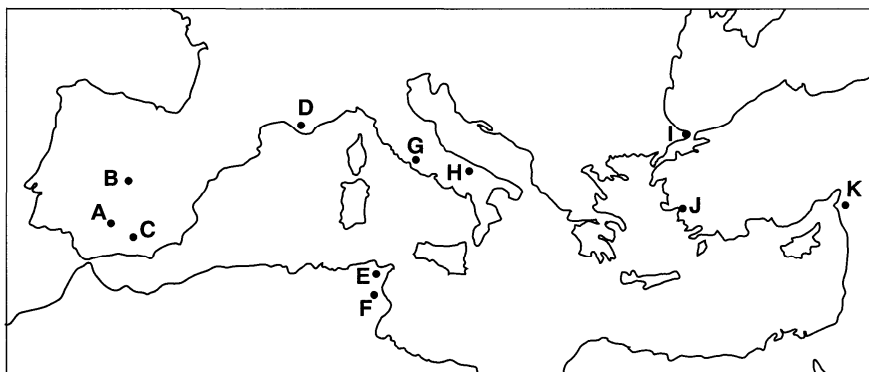
ローマは、図にあるように地中海沿岸を中心に広大な地域を支配した。図には幾つかの場所を示した。この図を見ながら、設問1～4に答えなさい。

設問1 地図上のDはギリシア植民地を起源とする都市であり、ローマ時代以降も地中海交易の拠点として栄えた。この都市の名をローマ時代の名称で答えなさい。 []

設問2 ローマとカルタゴとの長い戦いの過程で、前216年に地図上のHにおいて史上まれに見る凄惨な会戦があった。勝者となった軍を率いたのは誰か。名前を答えなさい。 []

設問3 キリスト教会の歴史は異端排除の一面を持つ。431年に地図上Jで開催された宗教会議では、ある有力な人物の説を異端として彼を追放した。彼の教えは後にシリア・ペルシアを中心に東方に広まった。この人物の名を答えなさい。 []

設問4 起源がローマ時代にさかのぼるこの都市は、西ゴート王国の中心となり、中世を通じてイスラム文化とキリスト教文化の接点として重要な位置を占め、カスティリヤ王国の首都にもなった。この都市に該当する記号を地図から選び、答えなさい。さらに、この都市の名を現在名で答えなさい。 [・]



【4】

早稲田大学 教育学部

次のイベリア半島の歴史に関する文章を読み、下線部に関する問い(1)～(3)に答えなさい。

第1次ポエニ戦争後、カルタゴはイベリア半島の植民を強化した。ハンニバルが、イベリアの首都というべき植民市からイタリア遠征に出立した⁽¹⁾のは、その豊かな人的・経済的資源を用いたからである。ハンニバル軍はローマ直前まで迫った⁽²⁾が、カルタゴはイベリア半島と本国を攻められ、結局イベリア半島は勝利したローマの支配下に入った。その後、ローマ帝国の崩壊とともに、半島にゲルマン諸部族が侵入し、一部族は8世紀にイスラム教徒が侵入してくるまで王国を維持した⁽³⁾。

(1) この植民市は現在のどこか。

- a アリカンテ b カディス c カルタヘナ d バルセロナ []

(2) ハンニバルがイタリア南東部でローマ軍を撃破した戦いはどれか。

- a カタラウヌム b カンネー(カンナエ) c ザマ d ピュドナ []

(3) このゲルマン部族はどれか。

- a ヴァンダル b ブルグンド c ランゴバルド d 西ゴート []

【5】

早稲田大学 政治経済学部

次の1～4のそれぞれの文のなかで、誤りのないものを二つ選び、マークせよ。

イ エトルリア人の王を追放して共和政が樹立されたローマでは、統領や護民官など政務官が平民会の選挙によって選ばれた。

ロ 貴族と平民の身分闘争の過程でディクタトルとなったホルテンシウスは、平民からもひとりのコンスルを登用する改革をおこなった。

ハ ポエニ戦争後のローマでは、元老院を中心とする門閥派と、平民会を中心とする平民派の対立が続き、平民派のマリウスと門閥派のスラが相次いで実権を握った。

ニ マリウスの後継者のポンペイウスは、元老院を抑えるために平民派のカエサルたちと第一回三頭政治を樹立したが、カエサルによって打倒された。

ホ オクタヴィアヌスはブトレマイオス朝の女王と手を組んだアントニウスを打倒し、元老院からアウグストゥスの称号を与えられた。 []

【6】

早稲田大学 商学部

次の文章を読み、下線部A～Lについての問に答えよ。解答は解答用紙に一つだけマークせよ。

ヨーロッパの都市は長い伝統をもっている。すでにA紀元前8世紀にはギリシア、小アジア地域にBポリス(polis)と称する都市国家が成立しており、村落に住んでいた地主が「集住」(シノイキスモス)し次第に人口が増していった。ポリスの全盛期は、その数が1,000以上にも上ったといわれるがその一つ一つが政治的、経済的単位を形成していた。なかでもCアテネは次第に他のポリスに対し指導的な地位を獲得し、またDアテネ市民の活発な政治参加はかれらの文化にも大きく影響するとともにE後年のイスラームやヨーロッパの思想も古代ギリシアの学問から多くのものを学んでいるのである。一方イタリアを中心に住んでいたFエトルリア人は紀元前9世紀ごろからいくつかの都市を作り、紀元前7世紀末にはローマをも支配しそこに都市国家を設けていた。ところがラテン人は次第にエトルリア人を圧倒し、紀元前509年、ラテン人はエトルリア王を追放して、都市国家を建設し貴族共和政といわれる政治体制をとった。この体制の中で平民は次第に貴族に対抗するようになるが、元老院の存在を始めとしてG共和政ローマはギリシア・アテネ市民による民主政とは当初から明らかに異質のものであった。そして紀元前27年Hオクタヴィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を受け、これを境にローマは共和政の伝統と決別しI皇帝による支配への道を歩むことになる。

問A 下線部Aに関して、紀元前8世紀におこったことはどれか。

1. ソロンの改革が実施された。 2. マガダ国がガンジス川流域を統一した。

3. ペイシストラトスが僭主となって政権を握った。

4. 中国で春秋時代が始まった。 5. キュロス2世がアケメネス朝ペルシアを建国した。 []

問B 下線部Bに関して、ボリスについて誤っているものはどれか。

1. デルフォイはボリスの一つで神殿があった。

2. コリントは東地中海と西地中海を結ぶ要地にあり商業が栄えたボリスである。

3. 多くのボリスは信仰の中心としてのアクロポリスなどの神殿をもっていた。

4. アゴラは市民の集会場として多くのボリスで重要視されていた。

5. オリンピアの祭典はテーベによって廃止された。 []

問C 下線部C, アテネに関して誤っているものはどれか。

1. ソロンは、市民が身体を抵当に入れ奴隷化するのを防ごうとした。

2. ラウレイオン銀山は多くの富をアテネにもたらした。

3. クレイステネスは陶片追放の制度を始めたことで知られる。

4. ペリクレスは下層市民にも政治参加の道を開いた。

5. デロス同盟はアテネのよびかけで結成されたが、各ボリスの対等の地位は保証された。 []

問D 下線部Dに関して誤っているものはどれか。

1. クセノファネスはアテネの国制についての多くの著述で知られる。

2. ソフィストはしばしば詭弁家と評されるが実際には政治的な弁論を指導する役割をもっていたと考えられる。

3. プラトンは「国家」などで望ましいボリスのありかたについて論じた。

4. アリストテレスは「政治学」を著した。 5. アリストファネスは政治風刺で一時代を画した。 []

問E 下線部Eに関して正しいものはどれか。

1. イブン＝シーナーは主に政治学の分野で古代ギリシアの文化の継承、発展に努めた。

2. イブン＝シーナーは主にプラトン哲学の紹介で知られる。

3. メディチ家は「プラトン＝アカデミー」を設け古典古代文化の吸収、発展に努めた。

4. マキアヴェリは主に古代ギリシア史の叙述でルネサンスを代表する史家となった。

5. ダンテの「神曲」は古代オリエントから題材をとったものである。 []

問F 下線部Fエトルリア人について誤ったものはどれか。

1. エトルリア人はギリシア、カルタゴなどと貿易を行った。

2. エトルリア人は主にイタリアのトスカナ地方に居住していた。

3. エトルリアの起源についてはなお不明のことが多い。

4. エトルリア人はとくに詩文などについて後世に大きな影響を与えた。

5. エトルリアのト占、官制などはローマに引き継がれた。 []

問G 下線部G共和政ローマについて正しいものはどれか。

1. 十二表法は主に貴族の特権擁護を目的としていた。

2. ホルテンシウス法により平民会の地位は向上した。

3. 執政官(コンスル)は全市民の選挙により選出された。

4. ラティフンディアにより大土地所有者の地位は揺らいだ。 []

5. ギリシアと異なり重装歩兵の軍事的役割は小さかった。

問H 下線部Hオクタヴィアヌスについて誤っているものはどれか。

1. かれは執政官や護民官職には就いたが、ついに正式な皇帝の地位には就かなかった。

2. かれ自身は「第一人者」(プリンケプス)という呼称を好んだ。

3. オクタヴィアヌスの後継者は元老院と平民会による選挙で決定された。

4. かれは娯楽や金品などを市民に与え人気の維持に努めた。

5. 属州の税収をわがものとするなど経済的な地位の強化を図った。 []

問 I 下線部 I について誤っているものはどれか。

1. 帝国政府はラテン語の普及に努めた。 2. ネロ帝時代に帝国の版図は最大となった。
3. パリ、ロンドンなどは帝国の軍団駐屯地から発展したものである。
4. 帝政の下で執政官は皇帝指名になり民主的性格は失われた。
5. 帝政時代、隊商貿易などで東方の文物が盛んに取り入れられた。 []

【7】

早稲田大学 社会科学部

次の文章を読み、問1～4については、該当するもっとも適切な語を記入し、問5～12については、該当するもっとも適切な解答をそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。

(イ) トロヤの英雄アエネアスの末裔により建国されたといわれるローマは、イタリア中部ティベル河畔の小都市国家として出発し、建国以来王政の統治形態をとっていたが、前6世紀末に共和政へと移行したとされる。(A) 共和政の初期に、国政を独占していた貴族に対して平民は身分闘争を展開したが、前3世紀前半までに平民の参政権が認められるようになった。この頃までに、ローマは北のエトルリア人、山岳地帯のサムニウム人、中部のラテン人、(B) 南部のギリシア系の都市との抗争を勝ち抜いて、降伏した都市や征服の過程で建設した植民市を合わせた広大な同盟の盟主となり、イタリア半島内の支配権を確立した。さらに地中海への勢力拡大をはかるローマは、地中海の商業交易権をにぎっていたカルタゴと衝突して(C) 3度にわたるポエニ戦争を戦い、これに勝利してカルタゴを壊滅させた。一方、東地中海にも進出したローマは、ギリシアの都市国家や小アジアの王国を勢力下におさめ、前2世紀なかばには地中海全域を制覇するまでになった。

だが、急速に発展したローマ社会では、市民の間の階層差が拡大し、ローマは内乱の時代に入ることになった。その幕開けとなったのはグラックス兄弟の改革であった。大土地所有を制限して中小農民を救済しローマ市民軍を再建しようとした彼らの改革は、大土地所有者の反撃にあい挫折した。その後(D) 元老院の権威を重んじる閥族派と民会を基盤とする平民派の対立が激しくなり、また同盟市戦争や大規模な奴隷反乱などの混乱が続いたが、第1回三頭政治をへてカエサルによる独裁が実現し、ローマの共和政は事実上崩壊した。しかしカエサル暗殺後ローマの政治は再び混乱し、第2回三頭政治をへて、オクタヴィアヌスが(E) アクティウムの海戦でエジプトのクレオパトラと結んだアントニウスを破り、100年にわたる内乱に終止符がうたれた。オクタヴィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を与えられ、共和政の伝統を尊重したプリンキパトゥスとよばれる政治をおこなったが、実際には帝政時代の始まりであった。(F) その後五賢帝時代が終わるまでの約200年間、広大な領土と属州支配に支えられ、「パックス＝ローマナ」とよばれる安定期が続いた。この時期に帝国内の道路網が整備され、経済活動も活発化し、(G) 貿易活動も地中海・紅海・ペルシア湾から南インドまで拡大した。

3世紀になると、(H) カラカラ帝は帝国内の全自由民にローマ市民権を与える勅令を發布し、これによりローマ人と属州人の区別がなくなり、ローマ世界が広がった。しかし、東方のササン朝ペルシアや北方のゲルマン人の侵入が激化し、力をもった各地の軍団が次々に皇帝を擁立しては廃位させる(I) 軍人皇帝時代となり、ローマの政治は混乱した。しかし、3世紀末になると、ディオクレティアヌス帝がオリент風の専制支配を開始し、帝国の4分割統治など帝国の再編を行い、ローマ世界には再び安定と繁栄の時代が訪れた。またコンスタンティヌス帝は、330年に帝国の首都を東部のビザンティウムの地に移し、官僚制度の確立、職業・身分の固定化、(J) キリスト教の公認などの改革により帝国の維持を図った。しかし帝国の解体は進み、395年にローマ帝国は東西に分裂した。その後、西方では(K) ゲルマン人の侵入を防ぐことはできなくなり、5世紀になると西ローマ帝国はますます衰退し、476年最後の皇帝が退位して西ローマ帝国は滅亡した。一方、東ローマ帝国は1453年にオスマン帝国によって滅ぼされるまで約1000年間存続した。

問1 下線部(I)に関し、ローマ建国事情をえがいた叙事詩『アエネイス』の作者は誰か。 []

問2 下線部(J)に関し、前216年に行われた会戦でローマ軍はハンニバルがひきいるカルタゴ軍に包囲され大敗したが、この会戦が行われたイタリア半島南東の地はどこか。 []

問3 下線部(K)に関し、この貿易を何というか。 []

問4 下線部(L)に関し、この勅令を何というか。 []

問5 下線部(A)に関し、ローマ共和政に関する記述のうち、誤っている記述を一つ選べ。

- a. 護民官の定員は、設置当初は2名であったが、次第に増加して前5世紀なかばに10名となった。
- b. 独裁官ホルテンシウスにより、平民会の議決が元老院の承認なしでも有効とする法律が制定された。
- c. 前367年のリキニウス・セクスティウス法により公有地の占有は原則として禁止されることになった。
- d. 最高官職である定員2名の執政官にはそれぞれ同僚の執政官の決定を拒否する権利が与えられていた。
- e. 前445年に制定されたカヌレイウス法により、貴族と平民の結婚が認められるようになった。 []

問6 下線部(B)に関し、前272年にローマとの戦いに敗れ占領されたイタリア半島南部のギリシア系都市はどれか。

- a. レギウム b. ネアポリス c. ベネヴェントゥム d. タレントゥム e. プルンディシウム []

問7 下線部(C)に関する記述のうち、誤っている記述を一つ選べ。

- a. 平民派のマリウスは、執政官になってから兵制改革をおこない無産化した市民を志願兵として採用した。
- b. 第1回三頭政治のもとで、カエサルは帝国の西方全域を、ポンペイウスは東方を、クラッススはアフリカ北岸をそれぞれの勢力範囲とした。
- c. 前91年から前88年まで続いた同盟市戦争の結果、イタリア半島全体の自由民にローマ市民権が与えられることになった。
- d. トラキア出身の剣奴スパルタクスのひきいる奴隷反乱は、前71年にクラッススとポンペイウスによって鎮圧された。
- e. カエサルは、元老院と結んだポンペイウスを破ったのち独裁官となり、さらに前44年に終身独裁官となった。 []

問8 下線部(D)に関し、この海戦が行われたのは何年のことか。

- a. 前33年 b. 前31年 c. 前38年 d. 前27年 e. 前35年 []

問9 下線部(E)に関し、この時代の皇帝に関連する記述のうち、もっとも適切な記述を一つ選べ。

- a. スペイン出身のハドリアヌスは、最初の属州出身の皇帝となった。
- b. 五賢帝時代の5人の皇帝はいずれも実子をもたなかったため、有能な貴族を養子にして後継者とした。
- c. ドミティアヌス帝は、ローマ大火の責任をキリスト教徒に負わせ、キリスト教を弾圧した。
- d. ティベリウス帝はブリタニアを侵略し、この島の南部をローマの属州とした。
- e. ローマ市のコロッセウムの建設に着手したのはヴェスパシアヌス帝である。 []

問10 下線部(F)に関し、軍人皇帝のひとりで、260年にササン朝ペルシアとの戦いに敗れて捕虜となったローマ皇帝は誰か。

- a. ガリエヌス b. ユリアヌス c. ヴァレリアヌス
- d. マクシミヌス e. アウレリアヌス []

問11 下線部(G)に関し、ローマがキリスト教を公認してから、キリスト教の教義について審議する公会議がしばしば開かれ、さまざまな教説が異端とされるようになったが、431年のエフェソス公会議で異端とされたキリスト教の一派はどれか。

- a. アリウス派 b. グノーシス派 c. アタナシウス派
- d. ベネディクト派 e. ネストリウス派 []

問12 下線部(H)に関し、410年にローマ市を一時占領して略奪をおこなった西ゴート族の王は誰か。

- a. アラリック b. テオドリック c. オドアケル
- d. スティリコ e. ガイセリック []

演習追加問題(ユダヤ教とキリスト教)

【1】 東京大学

地中海東岸からアラビア半島にかけての地域で、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教という3つの一神教が誕生した。これらの宗教と西アジア・地中海沿岸地域の国家や社会は、密接な関わりを持った。このことに関連する以下の問いに答えよ。

- (1) 新王国時代のエジプトから、ヘブライの民とよばれる人々は、モーセに率いられて脱出し、やがてパレスティナに定住の地を見出したという。前10世紀頃、ソロモン王の時代には栄華をきわめた。その後の数百年の間に、ヘブライ人は独自のユダヤ教を築きあげた。その成立過程について、彼らの王国の盛衰との関わりを考慮しながら、4行以内で説明せよ。

- (2) キリスト教世界は8世紀から11世紀にかけて東西の教会に二分された。その2つの教会のいずれか一方と関わりの深いビザンツ帝国と神聖ローマ帝国とでは、皇帝と教会指導者との関係が大きく異なっている。11世紀後半を念頭において、その違いを4行以内で説明せよ。

【2】 立教大学 経済学部(経済学科)

次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。

ヘブライ人(イスラエル人)たちが¹⁾伝説的預言者モーセに率いられてエジプトを脱出した後、地中海東岸の南部地域カナン(のちのパレスチナ)の地に定住したのは、紀元前13世紀頃であったとされる。王国は前10世紀のダヴィデ王、ソロモン王の時代には全盛期を迎えたが、ソロモンの死後、北部のイスラエル王国と南部の(イ)王国とに分裂した。イスラエル王国は前8世紀に滅亡した一方、(イ)王国は、前586年、²⁾新バビロニアによって滅ぼされた。よく知られるバビロン捕囚は、この時に起きたものである。その後、³⁾アケメネス朝が新バビロニアを征服したことで捕囚を解かれ、彼らの中には故国へ帰還する者も出た。帰国した者たちは、エルサレムに神殿を再建した。こうして、律法を中心とする神殿体制が形成され、ユダヤ教が成立した。他方、彼らは周辺国の圧迫のために、常に政治的・宗教的存亡の危機にさらされた。前2世紀にシリアの(ロ)朝との間で20年以上続いたマカベア戦争は、その一例である。この戦争によって、ユダヤ教徒たちは独立をいったん回復したものの、⁴⁾前63年にパレスチナはローマに征服された。彼らはローマからの独立を要求して⁵⁾2度にわたる戦争を起こしたが、いずれも敗北に終わった。祖国を失ったユダヤ教徒たちは、世界各地に離散していった。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

イ	ロ	ハ
ニ	ホ	

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. シナイ山で彼に十戒を授けたとされる唯一神は何と呼ばれるか、その名をしるせ。 []

早慶の過去問からの発展・応用(ユダヤ教とキリスト教)

【1】 慶應義塾大学 文学部

次の文章を読み、文中の空欄(A)～(J)に最も適切な語句あるいは数字を記入しなさい。

イスラエル人は、キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教の基礎となった聖書を生み出し、その後の世界の思想、文化、社会制度に大きな影響を与えた民族として知られている。この民族の起源はいまだに議論の対象となっているが、聖書によるとメソポタミア地方からパレスチナに移り住んできた遊牧民の族長アブラハムが父祖だとされている。時代的には、一般に紀元前2000 年期の前半と考えられている。当時北メソポタミアでは

(A)人の活動が活発であり、ハンムラビ法典で有名なバビロン第一王朝も彼らが建てた。アブラハムの移住もこの民族の活動の一環と考えられることが多い。アブラハムの孫ヤコブは別名をイスラエルと言い、その12 人の息子たちがイスラエル12 部族の先祖となった。彼らは飢饉を避けエジプトに下るが、聖書はそこで下から2 番目の息子ヨセフが宰相に上りつめたと言っている。この時代はエジプトの第二中間期にあたり、ヤコブと同じセム系の人々(ヒクソス)の支配下にあったので、ヨセフの出世もこれと関係していたと思われる。その後エジプトの状況が変わり、イスラエル人が奴隷におとしめられると、彼らはモーセに率いられてエジプトを脱出し、途上で十戒を受け取り、ヤハウェ信仰を中心とする民族へと発展した。

パレスチナに戻ってきたイスラエル人たちは、しばらく地元のカナン人やちょうど同じ頃地中海世界から移住してきた「(B)」の1 つペリシテ人などと抗争を続け、不安定な時期を経験した。しかし、前1000 年頃、ベツレヘム出身の戦士ダヴィデがペリシテ人に決定的な勝利を収め、イスラエル12 部族を統一した王国を確立する。ダヴィデはエルサレムを攻め取り、この国の首都とした。ダヴィデの息子ソロモンは、「ソロモンの栄華」と呼ばれるようにその富と知恵によって知られ、エルサレムに神殿を建てた。ソロモンはシドンを中心とする(C)人と協力して紅海などで海洋貿易を行い、国は経済的に繁栄した。シバの女王の訪問もこれと関係していると思われる。また、(C)人は、エルサレム神殿の工芸技術者としても活躍した。2 人の偉大な王の下で絶頂期を誇ったイスラエル王国も、ソロモンが死ぬと内乱が起こり、南北に分裂した。北王国イスラエルには10 の部族が付き、面積も大きく、港や耕地にも恵まれていたが、近隣のアラム人やメソポタミアで再び力をつけつつあったアッシリア帝国からの圧力に疲弊し、結局前722 年にアッシリアによって滅ぼされることとなった。一方、地理的、経済的条件に恵まれていなかった南王国ユダには、ダヴィデ王朝が継続し、エルサレム神殿が残ったので政治的に安定した。しかし、こちらも前586 年新バビロニアの王(D)によって滅ぼされ、人々は連れ去られて捕囚の身とされた。この時期メソポタミアでは巨大国家が次々と交代し、アッシリア、新バビロニアについてアケメネス朝ペルシアが覇権を握った。前(E)年には、ペルシアの王キュロスが勅令を出し、帝国内の捕囚民たちに母国に帰る道を開いた。イスラエル人の中には自分たちが国を失ったのは、ヤハウェ信仰に忠実でなかったからだと反省する動きがあり、特に信仰的な人々が帰還をし、エルサレム神殿を再建することをめざした。また、エズラ、ネヘミヤといった指導者によって聖書を軸とした信仰共同体が形成された。この帰還民の中心はユダ族だったので、彼らは後にユダヤ人と呼ばれるようになった。しかし、この帰還の共同体もほどなくペルシア帝国を滅ぼしたアレクサンドロスの東征の影響を受けるようになり、ヘレニズム思想が導入された。特に(F)朝時代には多神教が強要され、ユダヤ人の伝統的習慣の多くが禁止されるようになった。ユダヤ人は自分たちの信仰を守るためにマカベヤ家を中心に独立戦争を行い、一時成功するが、これもすぐ利権で腐敗してしまう。理想と現実の狭間でユダヤ人たちはさまざまなグループに分かれた。

現実追認型の祭司たちは(G)派、聖書の律法に厳格な一般市民はパリサイ派、さらに自分たちの清さを求めて死海のほとりに隠遁し死海文書を残した人々はエッセネ派として知られている。マカベヤ家によるユダヤ人の独立も長くは続かず、前63 年には将軍(H)によってパレスチナはローマの支配下に入ることとなった。この頃ローマは共和制から帝政への移行期であり、カエサルが暗殺された後、オクタヴィアヌスとアントニウスが指導権を争うこととなった。パレスチナでは、はじめはアントニウスに、ついでオクタヴィアヌスに取り入ったヘロデが王となり、抗しがたい異教徒の支配の下で人々の間には失望感が満ち、メシア(救世主)待望の機運がふくらんできた。この頃ナザレのイエスが現れ、「(I)」の福音を説くようになった。イエスはユダヤ人の独善的な選民意識や形式化していた律法主義を批判し、「(I)」は暴力や政治的革命によって得られるものでなく、人間の弱さを超えて働く神の愛によって実現されることを教えた。そして、自ら十字架による罪の赦し

と復活による新しい命を約束し、十字架についた。弟子たちはこのイエスこそメシアであると信じ、福音をユダヤはもちろんローマ帝国の各地で語るようになった。その中心は、十二弟子の一人であったペテロとパリサイ派から後に回心した（ J ）である。ローマ帝国は、多神教的価値観と皇帝崇拜を受け入れないキリスト教徒を激しく迫害したが、キリスト教は「殉教者の血は教会の種」と言われるほどの勢いで帝国中に広まった。ついに紀元 313 年コンスタンティヌス大帝がキリスト教を公認し、392 年テオドシウス帝が国教化するに至ってキリスト教は政治的にも大きな影響力を持つようになった。しかし、このことはイエスの語った「（ I ）」の福音との整合性において新しい課題を抱える結果ともなった。一方、イエスをメシアと信じなかったユダヤ人たちは、旧約聖書のメシア預言を別の形で理解する必要性が生じた。また、エルサレム神殿が破壊され、離散の民になるとともに、新しいユダヤ教を形成する必要性が生まれ、ラビのユダヤ教が成立した。彼らもまた独自の文化を生み出し、後の社会に影響力を持ち続けた。

A	B	C
D	E	F
G	H	I
J		

【2】 早稲田大学 教育学部

次のユダヤ人に関連する問い(1)～(10)について、a～dの選択肢の中から最も適切な解答を一つ選べ。

また、設問①～③の解答を記入しなさい。

- (1) 古代ユダヤについて述べた次の各文のうち、正しい説明はどれか。
 - a 紀元前 13 世紀ヘブライ人は、モーセに率いられてエジプトから脱出した。
 - b 紀元前 8 世紀イスラエル王国は、ヒッタイトに滅ぼされた。
 - c 紀元前 6 世紀ユダ王国は、アッシリアに滅ぼされた。
 - d 紀元前 4 世紀アルサケス朝ペルシアがバビロンを占領して、ユダヤ人は帰国を許された。 []
- (2) ユダヤ教について述べた次の各文のうち、誤った説明はどれか。
 - a ヤハウェを唯一神とする一神教である。
 - b 最後の審判や天使・悪魔の思想には、ゾロアスター教の影響がみられる。
 - c 『旧約聖書』と『新約聖書』とが、ユダヤ教の二大經典である。
 - d 選民思想や救世主(メシア)の出現を待望する信仰がある。 []
- (3) ローマの属州時代に統治したユダヤ人の王は誰か。
 - a ソロモン b ダヴィデ c ポンティウス＝ピラトゥス d ヘロデ []
- (4) 2 世紀にユダヤ人はローマ領に分散させられ、流浪の歴史がはじまったが、この状況を示す「離散」を意味する言葉は何か。
 - a ゲットー b ディアスポラ c ポグロム d ホロコースト []
- (5) 中世ヨーロッパのユダヤ人について述べた次の各文のうち、正しい説明はどれか。
 - a 各都市で商人ギルド・同職ギルドへの加入を認められたが、大多数が高利貸を職業とした。
 - b 封建的土地所有を認められ、騎士や農民として農村に入り込んだ。
 - c クレルモン宗教会議で、キリスト教徒との混住が禁止された。
 - d 14 世紀半ばのペスト流行時に迫害された。 []
- (6) 19 世紀末に対独スパイ容疑で逮捕されたユダヤ系フランス人大尉と、彼の無実を訴えた作家の組合せのうち、正しいものはどれか。
 - a ブーランジェ — ゾラ b ドレフュス — ゾラ
 - c ブーランジェ — モーパッサン d ドレフュス — モーパッサン []

たりした。^(B)ユダヤ人は、土地所有が禁じられ、ギルドからも閉め出されたので、行商や金融業に就くはかなくなっていた。啓蒙思想の広がりと自由主義運動の高まりの中で、19世紀以降、ユダヤ教徒にもキリスト教徒と同様の公民権がしだいに認められるようになる。しかしながら、その一方で、例えば^(C)ドレフュス事件に見られるように、反ユダヤ主義も根強く残り、^(D)20世紀はじめのロシアではしばしばユダヤ人に対する無差別襲撃が行われた。かつての故郷であるパレスチナにユダヤ人国家をつくらうとする^(E)運動は、こうした反ユダヤ主義に対抗して19世紀末に始まった。ユダヤ人のパレスチナへの植民が本格化するのには、第一次世界大戦後のことである。第一次世界大戦において、イギリスは、ユダヤ人資本家の協力を得るためにこの運動とユダヤ人国家の設立を支持し、第一次世界大戦後にはパレスチナを^(F)条約によって委任統治領とした。

第二次世界大戦後、国連は、パレスチナをユダヤ人とアラブ人の二つの国家に分ける案を採択した。これにしたがって、1948年にユダヤ人は、イスラエル建国を宣言する。これを認めない^(G)周辺のアラブ諸国は、イスラエルに対して進撃したが、大敗したため、「パレスチナ分割案」を越える地域がイスラエルに占領され、旧住民のアラブ人たちは周辺諸国で難民生活を余儀なくされた。^(H)イスラエル占領地において、アラブ人による暫定自治を認める協定が結ばれたのは、1993年のことである。

- 問1 空欄(イ)に入るべき国名として最も適切な語を記入せよ。 []
- 問2 空欄(ロ)に入るべき最も適切な語を記入せよ。 []
- 問3 空欄(ハ)に入るべき最も適切な語を記入せよ。 []
- 問4 空欄(1)(2)(3)に入るべき最も適切な語の組み合わせを一つ選べ。
- | | | | | |
|----|----------|------------|-----------|-----|
| a. | (1) ヤハウェ | (2) ユダヤ戦争 | (3) ゲットー | [] |
| b. | (1) モーセ | (2) バビロン捕囚 | (3) ゲットー | [] |
| c. | (1) モーセ | (2) ユダヤ戦争 | (3) シナゴーク | [] |
| d. | (1) ヤハウェ | (2) バビロン捕囚 | (3) ゲットー | [] |
| e. | (1) ヤハウェ | (2) ユダヤ戦争 | (3) シナゴーク | [] |
- 問5 下線部(A)に関連して、キリスト教の伝道活動に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。
- | | | |
|----|---|-----|
| a. | パウロは、はじめパリサイ派に属し、キリスト教徒を迫害した。 | |
| b. | 『新約聖書』のうち、ペテロとパウロの伝道を記述した部分を「福音書」と呼ぶ。 | |
| c. | ペテロは、ユダヤ人以外の民族への伝道を積極的に行い「異邦人の使徒」と呼ばれる。 | |
| d. | 『新約聖書』は『旧約聖書』と同様、ヘブライ語で書かれた。 | |
| e. | パウロは、ヤコブやヨハネなどイエスの12人の直弟子の一人であった。 | [] |
- 問6 下線部(B)に関連して、キリスト教徒のユダヤ人に対する典型的なイメージが描かれた文学作品として最も適切なものを一つ選べ。
- | | | | | | | | | | | |
|----|------|----|--------|----|-----|----|-----|----|------------|-----|
| a. | 虚栄の市 | b. | ヴェニス商人 | c. | 居酒屋 | d. | 罪と罰 | e. | オリヴァ＝トゥイスト | [] |
|----|------|----|--------|----|-----|----|-----|----|------------|-----|
- 問7 下線部(C)に関して、この事件が起こった1890年代当時のフランスに関連する出来事として、次の記述のうちから適切ではないものを一つ選べ。
- | | | |
|----|--|-----|
| a. | フランス最大の労働組合連合となる労働総同盟が結成され、社会革命を目指すサンディカリズムが推進された。 | |
| b. | フランス国内では、共和制擁護派と、軍部・右翼等の保守勢力とに国論が2分された。 | |
| c. | ドイツ、ロシア、オーストリアが三帝同盟を締結し、フランスの国際的な孤立化が図られた。 | |
| d. | アフリカ進出政策においてフランスとイギリスは対立し、ファショダ事件が起こった。 | |
| e. | 遼東半島を領有した日本に対して、フランスは返還を要求した。 | [] |
- 問8 下線部(D)に関し、これを表す語として最も適切なものを一つ選べ。
- | | | | |
|----|----------|-----|--------|
| a. | ディアスポラ | b. | ホロコースト |
| c. | アシュケナジム | d. | ボグロム |
| e. | インティファード | [] | |

【4】 早稲田大学 人間科学部

次の問題文を読んで、設問X、Yの答えを所定欄にマークしなさい。正答はそれぞれ1つである。

前1500年ごろパレスチナに定住したヘブライ(イスラエル)人は、①アラム文字から派生したとされる文字を用いて独特の文化を築き、紀元前11世紀末にはエルサレムを都とする王国を建設した。この王国は、ダヴィデと(A)両王のもとで繁栄を享受したが、やがてその国は北のイスラエルと南のユダとに分裂し、前者は(B)に滅ぼされ、後者は新バビロニアに蹂躪されて、その民はバビロンに連れ去られた。②いわゆる「バビロン捕囚」である。のちに彼らは、③ゾロアスター教を奉じるアケメネス朝の王により解放されるが、こうした苦難に耐えながら唯一絶対の神ヤハウェへの信仰を強め、この神との契約のもとで、ユダヤ人、すなわち旧ユダ王国の人々のみが救われるという(C)やメシア(救世主)待望を特色とするユダヤ教を成立させた。預言者モーセがシナイ山で神から授かったとされる(D)は、ユダヤ教の倫理的基盤をなす。だが、エルサレム神殿を中心的かつ象徴的な聖地とし、サドカイ派やパリサイ派を指導層とするユダヤ教の信仰は、やがて形式化していく。それを打破して新しい教えを広めたのが、神の絶対愛や隣人愛などを唱えたイエスだった。そのためイエスは、ローマへの反逆者として告発され、総督ピラトの命により、十字架にかけられてしまう。紀元(E)のことである。しかし、ユダヤ教の聖典である旧約聖書は、キリスト教の聖典である新約聖書ともども、ユダヤ＝キリスト教文化の宗教的・思想的・芸術的源泉となり、この文化が、④アレクサンドロス後のヘレニズム文化やより後発のイスラーム文化などとともに、のちのヨーロッパ文化に決定的に重要な影響を及ぼすようになる。

設問X 問題文中の(A)～(E)に入る語を選びなさい。

- | | | | | | |
|-----|----------|---------|-----------|-----------|----------|
| (A) | a マヌ | b ソロモン | c アメンホテプ | d ラメス | [] |
| (B) | a アッシリア | b ミタンニ | c リディア | d メディア | [] |
| (C) | a ディアスポラ | b 選民思想 | c グノーシス思想 | d シオニズム運動 | [] |
| (D) | a 十二表法 | b 十戒 | c アヴェスタ | d リグ＝ヴェーダ | [] |
| (E) | a 10年ごろ | b 20年ごろ | c 30年ごろ | d 40年ごろ | [] |

設問Y 問題文中、下線部の①～④に関する問いの答えを選びなさい。

① アラム文字から派生したとされる文字として正しい組み合わせはどれか。

- a アラビア文字——ソグド文字——突厥文字
b ウイグル文字——満州文字——フェニキア文字
c モンゴル文字——ケルト文字——ギリシア文字
d ラテン文字——シリア文字——スラヴ文字 []

② 「バビロン捕囚」の期間はいつか。

- a 前960年～前922年 b 前605年～前562年 c 前586年～前538年 d 前522年～前486年 []

設問X 問題文中の(A)～(E)に入る語を選びなさい。

- | | | | | | |
|-----|----------|---------|-----------|-----------|----------|
| (A) | a マヌ | b ソロモン | c アメンホテプ | d ラメス | [] |
| (B) | a アッシリア | b ミタンニ | c リディア | d メディア | [] |
| (C) | a ディアスポラ | b 選民思想 | c グノーシス思想 | d シオニズム運動 | [] |
| (D) | a 十二表法 | b 十戒 | c アヴェスタ | d リグ＝ヴェーダ | [] |
| (E) | a 10年ごろ | b 20年ごろ | c 30年ごろ | d 40年ごろ | [] |

設問Y 問題文中、下線部の①～④に関する問いの答えを選びなさい。

① アラム文字から派生したとされる文字として正しい組み合わせはどれか。

- a アラビア文字——ソグド文字——突厥文字
b ウイグル文字——満州文字——フェニキア文字
c モンゴル文字——ケルト文字——ギリシア文字
d ラテン文字——シリア文字——スラヴ文字 []

② 「バビロン捕囚」の期間はいつか。

a 前960年～前922年 b 前605年～前562年 c 前586年～前538年 d 前522年～前486年 []

③ ゴロアスター教に関する説明として、正しい記述はどれか。

a この世界は、メソポタミア起源の善(光明)神アフラマズダとインド起源の悪(暗黒)神アグニとの長い闘争の場であり、前者が勝利し、善行を積んだ人間が救われると説いた。

b パルティアに代わってイラン高原南部に覇を唱えたササン朝は、ゴロアスター教を国教と定めた。この王朝は、東西貿易路をおさえて6世紀に全盛期を迎えたが、7世紀にアラビア半島から進出したイスラーム勢力に滅ぼされた。

c ボゴミル派やカタリ派など、中世キリスト教の異端信仰にも影響を与えたゴロアスター教は、宋代に中国に入り、祆教と呼ばれた。

d ミケランジェロの祭壇画で有名な「最後の審判」は、キリスト教の教義のひとつとして広く知られているが、もともとは聖職者階級のバラモンを頂点とするゴロアスター教の教義に組み込まれていたものである。 []

④ ヘレニズム文化の説明として、誤りを含む記述はどれか。

a 東地中海から西アジアにかけて、ギリシア文化とオリエント文化が混淆して生まれた文化で、その中心的都市のひとつに、大図書館やムセイオンを擁していたアレクサンドリアがある。

b 国際的な交易網が発展したのに伴って、ポリス主義をこえた世界市民主義(コスモポリタニズム)の傾向が強まり、コイナーと呼ばれるギリシア語が域内の共通語となった。

c 自然科学や人文科学が発展し、平面幾何学を大成したエウクレイデス(ユークリッド)や、浮体の原理を発見したアルキメデス、禁欲を説いたストア派のゼノン、快楽説を唱えたエピクロスなどが活躍した。

d 「ミロのヴィーナス」像などで知られるヘレニズム文化は、バクトリアを経て遠くパキスタン北部からインド西北部にまで伝わって仏教文化と融合し、マウリヤ朝において仏彫刻を代表とするいわゆるガンダーラ美術を発展させた。 []

【5】 早稲田大学 教育

次の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から適切なものを選び、その記号を所定欄にマークしなさい。また、波線部に関する設問A、Bの解答を所定欄に記入しなさい。

コンスタンティヌス帝は、313年にキリスト教を公認した⁽¹⁾。その後、テオドシウス帝は、381年に二回目の公会議を開催し⁽²⁾、改めてアリウス派を異端とした。さらに、392年にはすべての異教を禁止して、アタナシウス派キリスト教をローマ帝国の国教とした。これらはローマ＝カトリック教会^Aにとって大いに歓迎すべきことであったが、しかしその後の道のりは決して平たんなものではなかった。5世紀にはいると⁽³⁾、ゲルマン人⁽⁴⁾の大移動が本格化し、西ゴート人やヴァンダル人⁽⁵⁾が都市ローマを略奪した。

(1) この勅令は西の正帝コンスタンティヌスと東の正帝の二人の連名で発せられたが、東の正帝は誰か。

a マクシミヌス b ユリアヌス c ネルウァ d リキニウス []

(2) この公会議が開催された都市はどこか。

a ニケーア b カルケドン c エフェソス d コンスタンティノーブル []

(3) このころ活躍したキリスト教の教父アウグスティヌスの著作はどれか。

a 『三位一体』 b 『教会史』 c 『神学大全』 d 『自省録』 []

(4) ゲルマン人の存在はかなり以前からローマ人に知られていたが、『ゲルマニア』を著してゲルマン人の習俗を記述した人物は誰か。 a リウィウス b タキトゥス c ストラボン d カエサル []

(5) ヴァンダル人についての説明で正しいものはどれか。

a ヴァンダル人がローマを略奪したとき、ローマ教皇はレオ1世であった。

b アドリアノーブルの戦いで、ローマ皇帝ワレンスを破った。

c 西ローマ帝国やフランク人と同盟して、フン人と戦った。

d フランク人の王クローヴィスに敗れた後、イベリア半島に移動した。 []

【6】 早稲田大学 文

次のAとBの文章を読み、設問に答えなさい。1～3, 7, 9, 10は所定欄に一つだけマークし、4～6, 8は所定欄に記しなさい。

A 古代から現代にいたるまで、聖なる土地を訪れる巡礼という行為は、多くの人々の心をとらえてきた。キリスト教下の中世ヨーロッパでもっとも人気のあった巡礼地、スペインのサンチャゴ＝デ＝コンポステラは、イエスの弟子 **a** の遺骸(聖遺物)が安置される場所と信じられた。イスラーム教徒にとっては、始祖ムハンマドの生誕地である **b** と、墓のある **c** が二大巡礼地とされた。ユダヤ教の預言者 **d** が神の声を聞き、十戒を授かったとされる **e** は、ユダヤ教徒に限らず、キリスト教徒、イスラーム教徒の巡礼も集めた。

設問1 **a** に入る人名を次の中から選びなさい。

ア ペテロ イ パウロ ウ ヤコブ エ ヨハネ []

設問2 **b** に入る地名を次の中から選びなさい。

ア メッカ イ ダマスクス ウ メディナ エ バグダード []

設問3 **c** に入る地名を次の中から選びなさい。

ア メッカ イ ダマスクス ウ メディナ エ バグダード []

設問4 **d** に入る人名を記しなさい。 []

設問5 **e** に入る地名を記しなさい。 []

B ドーム(半球形の天井、円蓋)は、その形状から天を象徴するとされ、多くの宗教建造物に用いられた。図1はキリスト教のギリシア正教を信じるビザンツ帝国の首都に、6世紀に建てられた **f** 大聖堂で、これを建立した皇帝 **g** の治世に、ビザンツ帝国は最大の版図を誇った。図2はキリスト教カトリックの総本山、ヴァチカンの **h** 大聖堂で、そのドームは、ルネサンスを代表する彫刻家でもあった **i** の設計による。図3はイスラーム教の始祖ムハンマドが「夜の旅」に旅立ったとされる場所に建てられた「岩のドーム」で、ここにはかつてソロモンの神殿があったと伝えられる。

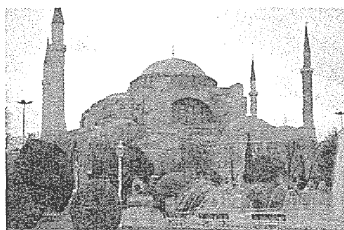


図1



図2

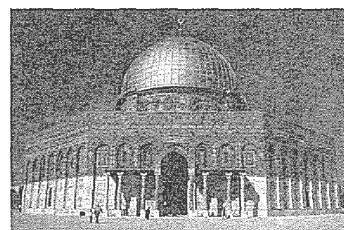


図3

設問6 **f** に入る固有名詞を記しなさい。 []

設問7 **g** に入る人名を次の中から選びなさい。

ア コンスタンティヌス イ テオドシウス ウ ユスティニアヌス エ ヘラクレイオス []

設問8 **h** に入る固有名詞を記しなさい。 []

設問9 **i** に入る人名を次の中から選びなさい。

ア レオナルド＝ダ＝ヴィンチ イ ミケランジェロ ウ ラファエロ エ ベルニーニ []

設問10 下線部 j がある都市名を次の中から選びなさい。

ア グラナダ イ イエルサレム ウ コルドバ エ カイロ []

演習追加問題(ビザンツ帝国)

【1】 中央大学 文

次の文章を読み、下線部(1)～(8)について下記の〔設問〕に答えなさい。

西ローマ帝国は5世紀に滅びたが、東ローマ帝国はコンスタンティノープルを中心とする領域支配を続け、商業や貨幣経済は栄え、独自の社会のしくみや文化があらわれ、やがてビザンツ帝国とも呼ばれるようになった。(1)イスラームの台頭などをきっかけに、ビザンツ帝国では複数の軍管区を設け、これを司令官が統治し、世襲の屯田兵を入植させる軍管区制度がしかれた。また(2)東ヨーロッパに移住してきたスラヴ系の人々に対するキリスト教の布教活動も進められ、彼らは改宗するとともにビザンツ帝国の影響を受けることになった。

(3)ビザンツ帝国の影響は西ローマ帝国が滅亡前に支配していた領域にも及んでいたが、8世紀にローマ教皇とフランク王が連携するなかで、西ヨーロッパのビザンツ帝国からの自立が進められた。(4)800年にローマ教皇から皇帝の帝冠を受けたカール大帝は、皇帝戴冠以前からイタリア半島やイベリア半島などに遠征を行って領土を広げた。こうして東西ヨーロッパにはそれぞれに皇帝が並び立つことになった。

11世紀にセルジューク朝が拡大してエルサレムを支配下におき、さらにビザンツ帝国の領域を脅かすようになると、ビザンツ皇帝はローマ教皇に援助を要請した。第1回十字軍はエルサレムを占領した。やがて(5)教皇インノケンティウス3世のときに出発した第4回十字軍はコンスタンティノープルを占領した。ビザンツ帝国はその後コンスタンティノープルを奪回し、いっぽう(6)十字軍は中東最後の重要な拠点を失った。

やがて(7)オスマン帝国がアナトリア半島からバルカン半島に進出して、ビザンツ帝国を圧迫していった。1453年にオスマン帝国の攻撃によってコンスタンティノープルは陥落し、ビザンツ帝国は滅んだ。オスマン帝国はさらに領土を広げ、アジア、アフリカ、ヨーロッパにまたがる広域を支配した。いっぽうモスクワ大公国のイヴァン3世はロシアをほぼ統一するとともに、皇帝と自称してビザンツの後継者たらしめた。そのうち(8)イヴァン4世は皇帝の称号を公式に用い、中央集権化を進め、領土を広げた。またビザンツ帝国の崩壊とともにイタリアに移った知識人たちがギリシア語や古典を教え、フィレンツェなどでギリシアやローマの文化を重んじる動きがますますさかんになっていった。ビザンツ帝国が滅びた後も、その遺産はこのように各地で受け継がれていったのである。

- (1) やがて軍管区制度にかわって、11世紀ころから皇帝が貴族に軍役奉仕とひきかえに土地の管理をゆだねる制度が設けられた。この制度は何と呼ばれるか。〔 〕
- (2) a. スラヴ人布教のためにギリシア文字をもとに作られ、やがて広く用いられるようになり、現代のスラヴ系諸語の文字のもとになった文字は何と呼ばれるか。〔 〕
b. 10世紀末から11世紀初頭にキエフ公国の君主として在位し、キリスト教化を進め、ビザンツ帝国との交流を深めた人物の名を答えよ。〔 〕
- (3) イタリア半島におけるビザンツ帝国の拠点で、ユスティニアヌス帝のモザイク像が描かれたサン・ヴィターレ聖堂があり、やがてフランク王ピピンによって教皇に寄進された場所の名を答えよ。〔 〕
- (4) カール大帝はのちに西ヨーロッパで理想の君主とされ、その遠征をテーマとした多くの伝説が生まれた。カール大帝と騎士たちのイベリア半島遠征を題材とし、中世の騎士道文学の代表ともいわれる物語の名を答えよ。〔 〕
- (5) イタリア北東部に位置し、第4回十字軍を資金や輸送面などで支援し、コンスタンティノープル占領に関与したことで知られる都市の名を答えよ。〔 〕
- (6) 1291年に陥落したこの拠点の名を答えよ。〔 〕
- (7) 14世紀後半にオスマン帝国のバルカン半島進出によってその首都とされ、コンスタンティノープルに遷都した後も拠点の一つとして栄えた都市の名を答えよ。〔 〕
- (8) イヴァン4世のときにシベリアに遠征し、領土拡大に貢献したコサック首長の名を答えよ。〔 〕

【2】 関西学院大学 法

次の文中の下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

ビザンツ帝国は「ヘレニズム的な東方に位置する①キリスト教化したローマ帝国」と呼ばれる。この定義に従うならば、②ディオクレティアヌス帝以後の混乱を収めて、ローマ帝国を再統一し、ミラノ勅令によってキリスト教を公認し、その首都をコンスタンティノープルへと移した4世紀初めのコンスタンティヌス帝の治世に、ビザンツ帝国の起源があったといえるだろう。

ビザンツ帝国の存亡に常に大きく関わったのは、その東に存在した強大な国家であった。特に3世紀にパルティアに代わって成立した③ササン朝は手強い好敵手であり、ビザンツ帝国に最盛期をもたらした④ユスティニアヌス帝も大いに苦戦させられている。ササン朝の滅亡後には、これに代わって登場したイスラーム勢力が、一段と大きな脅威となった。実際、⑤7世紀から8世紀にかけてビザンツ帝国は、シリアや⑥エジプトなどを含むその領土の半分以上を奪われた。正統カリフ時代から⑦ウマイヤ朝、さらに⑧アッバース朝へと移行行くイスラーム勢力に対して、ビザンツ帝国はほとんど常に守勢にあった。

10世紀から11世紀にかけては、ビザンツ帝国が勢力を盛り返して東地中海世界に覇をとなえるまでになり、ローマ＝カトリック教会と⑨ギリシア正教会との分裂も固定化されたが、ビザンツ帝国の復興は一時的な現象に終わった。東方からのセルジューク朝の進撃と西方からの十字軍の到来により、徐々に帝国は衰退期に入った。その後も、ギリシア本土と小アジア沿岸を中心に存続したが、15世紀半ばに⑩オスマン帝国によってコンスタンティノープルが占領され、ビザンツ帝国は最終的に滅亡した。

[問 い]

① ローマ帝国におけるキリスト教の発展に関する出来事を、年代順に並べたものはどれか。

- a. エフェソス公会議→カルケドン公会議→キリスト教の国教化→ニケーア公会議
- b. ニケーア公会議→キリスト教の国教化→エフェソス公会議→カルケドン公会議
- c. キリスト教の国教化→カルケドン公会議→エフェソス公会議→ニケーア公会議
- d. ニケーア公会議→エフェソス公会議→カルケドン公会議→キリスト教の国教化
- e. エフェソス公会議→キリスト教の国教化→ニケーア公会議→カルケドン公会議

[]

② ディオクレティアヌス帝に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 四分統治を実施した。
- b. ドミナトゥスを開始した。
- c. すべての自由人にローマ市民権を付与した。
- d. キリスト教徒に大迫害を行った。
- e. 東方の宮廷儀礼や皇帝崇拝の方法を取り入れた。

[]

③ ササン朝に関する記述として、正しいものはどれか。

- a. シャープール1世がパルティアを滅ぼして建国した。
- b. 首都はスサに置かれた。
- c. ホスロー1世は突厥と結んでウイグルを滅ぼした。
- d. ローマ軍を破り、皇帝ヴァレリアヌスを捕虜とした。
- e. マニ教を国教とした。

[]

④ ユスティニアヌス帝に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. トリボニアヌスに命じて『ローマ法大全』を編纂させた。
- b. イタリアの東ゴート王国を滅ぼした。
- c. イベリア半島の西ゴート王国を滅ぼした。
- d. 北アフリカでヴァンダル王国を滅ぼした。
- e. 東方から蚕卵を得て、絹織物業の振興に務めた。

[]

- ⑤ 7世紀から8世紀にかけてのビザンツ帝国に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. レオン3世は聖像禁止令を發布した。
b. テマ制と呼ばれる軍管区制がしかれた。
c. ニハーヴァンドの戦いでイスラーム軍に敗退した。
d. ギリシア語が公用語とされた。
e. ブルガール人と協定を締結し、その建国を認めた。 []
- ⑥ エジプトを拠点にしなかったイスラーム王朝はどれか。
- a. サーマーン朝 b. ファーティマ朝 c. マムルーク朝 d. ムハンマド＝アリー朝 e. アイユーブ朝
- ⑦ ウマイヤ朝の首都はどこか。 []
- a. バグダード b. メディナ c. バイルート d. イェルサレム e. ダマスクス []
- ⑧ アッバース朝時代の出来事に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. トルコ人がマムルークとして採用された。
b. マドラサが建設された。
c. イベリア半島では後ウマイヤ朝が成立した。
d. 中央アジアにカラ＝ハン朝が起こった。
e. トゥール＝ボワティエ間の戦いが起こった。 []
- ⑨ ビザンツ帝国の影響下で、ギリシア正教を受容した国はどれか。
- a. ポーランド王国 b. キエフ公国 c. ハンガリー王国 d. クロアチア王国
e. ボヘミア(ベーメン)王国 []
- ⑩ オスマン帝国が、ヨーロッパ人商人に領内の居住や通商の自由を認めた制度はどれか。
- a. イクター制 b. タンジマート c. カピチュレーション d. デウシルメ e. ティマール []

【3】 関西学院大学 法

次の文中の□に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、それぞれ最も適当な記号1つをマークしなさい。

ローマ帝国は、4世紀末に①テオドシウス帝が死去した後、東西に分裂し、再び統一されることはなかった。その後、西ローマ帝国の滅亡、ゲルマン民族の移動、そしてフランク王国の成立と、歴史の舞台は地中海世界からヨーロッパの地へと移っていくように見える。しかし東方世界では、②東ローマ帝国(ビザンツ帝国)が健在であり、1453年に③オスマン帝国によって滅亡させられるまで、独自の歴史と文化を形成していく。ビザンツ帝国の歴史の中でも、イコンをめぐる論争は時代を画する出来事であった。イコンとは、主にキリスト教の教会堂の中に飾られている聖画像を指す。このイコンを敬うことを④偶像崇拜として退ける立場と、反対にこれを擁護する立場に分かれて争いが生じたのである。ことの発端は、□イの20年代に皇帝レオン3世の出した聖像禁止令であった。以後1世紀以上にわたり、聖像破壊運動(イコノクラスム)がビザンツ社会に大きな影響を与えた。レオン3世を継いだ息子コンスタンティノス5世は公会議を開催して、イコンを正式に偶像であると決議させた。転機が訪れるのは禁令から約60年後である。権力を掌握した⑤皇后イレネ(後に女帝となる)が新たに公会議を主催し、聖画像を承認する決議を行った。その後、再びイコノクラスムが行われた時期もあったが、東方正教会においてイコンは崇敬の対象として守られていく。イコンは偶像でないとする根拠のひとつに、神の子⑥イエス＝キリストが受肉によって人間となり、目に見える存在となったことがある。また、聖画像が文字を読めない人々の教化に役立ったことも忘れてはならない。つまり、人は文字が読めなくても、イコンをみることで、イコンを越えてそこに描かれているものに至り、信仰心を養うことができたのである。けれども、イコノクラスムが⑦ビザンツ帝国と西方の⑧ローマ＝カトリック教会との関係に与えた影響は重大であった。この出来事を機に深まった東西教会の溝は、やがて□ロの中頃に決定的な分裂へと至ることになる。

[語 群]

- | | | | | | |
|---|--------|---------|---------|---------|----------|
| イ | a. 6世紀 | b. 7世紀 | c. 8世紀 | d. 9世紀 | [] |
| ロ | a. 9世紀 | b. 10世紀 | c. 11世紀 | d. 12世紀 | [] |

[問 い]

- ① テオドシウス帝の事績に関する記述で、誤りを含まないものはどれか。
- a. ニケーア公会議を開いてキリスト教内の教理論争を調停した。
b. キリスト教の国教化を実現した。
c. コンスタンティノーブルに都を定め、官僚制度を整備した。
d. 帝国の東西それぞれに正副両帝を定め、四分統治を実施した。 []
- ② 東ローマ帝国のユスティニアヌス1世の事績に関する記述で、誤りを含むものはどれか。
- a. トリボニアヌスに命じて、古代ローマ法を集大成した『ローマ法大全』を編纂させた。
b. 旧ローマ帝国領の回復に努め、ガリア地方を再征服した。
c. 中国から蚕卵を入手し、絹織物業を育成した。
d. コンスタンティノーブルにおいてハギア＝ソフィア大聖堂の建設を行った。 []
- ③ オスマン帝国が関与しなかった戦闘はどれか。
- a. コソヴォの戦い b. アンカラの戦い c. パーニーパットの戦い d. プレヴェザの海戦 []
- ④ 偶像崇拜の禁止は『旧約聖書』の十戒に遡るが、この十戒を神から授かったとされるのはだれか。
- a. ダヴィデ b. ソロモン c. アブラハム d. モーセ []
- ⑤ 皇后イレーネと同時代の人物であるカール大帝に関する記述で、誤りを含むものはどれか。
- a. カロリング朝を創始したカール＝マルテルの息子である。
b. ランゴバルド王国を攻め、これを滅ぼした。
c. アヴァール人を撃退した。
d. イギリスの神学者アルクインを招き、学問・文芸の復興に努めた。 []
- ⑥ イエス＝キリストについて、その神性と人性の両方を認め、単性論派を異端とした公会議はどれか。
- a. ニケーア公会議 b. エフェソス公会議 c. カルケドン公会議 d. コンスタンツ公会議 []
- ⑦ ビザンツ帝国に関する記述で、誤りを含むものはどれか。
- a. コンスタンティノーブルの教会はローマと首位権をめぐって争った。
b. 帝国独自の軍管区制(テマ制)は6世紀には完成していた。
c. セルジューク朝に対抗するため、西方に援軍を要請した。
d. ラテン帝国が成立した時のローマ教皇はインノケンティウス3世である。 []
- ⑧ ローマ＝カトリック教会の成立・発展に関する記述で、誤りを含むものはどれか。
- a. 教皇レオ1世はフン族のアッティラからローマを守った。
b. 修道士フランチェスコはモンテ＝カシノに修道院を開いた。
c. 教皇グレゴリウス1世はアングロ＝サクソン人への布教に尽力した。
d. アウグスティヌスが『神の国』を著した。 []

【4】中央大学 経済

以下の文章を読み、空欄A～Iに入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入し、設問に答えなさい。

284年に即位した(A)帝は、正帝2人と副帝2人において帝国を分担統治する四帝分治制をつくり、国防衛の効率化と反乱の防止をはかった。また元老院議員などの伝統的な政治支配層を帝国統治から遠ざけ、皇帝が独裁的な権限を持つ政体へと移行したが、この政体は帝政初期の元首政と比較して、(B)と呼ばれている。次の①ローマ皇帝は、再び元老院議員を重用し、330年にはビザンティウムを(C)と改称し、この地にも元老院を設置した。395年にテオドシウス帝が死去すると帝

国は東西に分裂し、西ローマは②ゲルマン民族大移動期に滅亡するが、東ローマは大移動の影響をさほど受けず、以後 1000 年にわたって存続した。

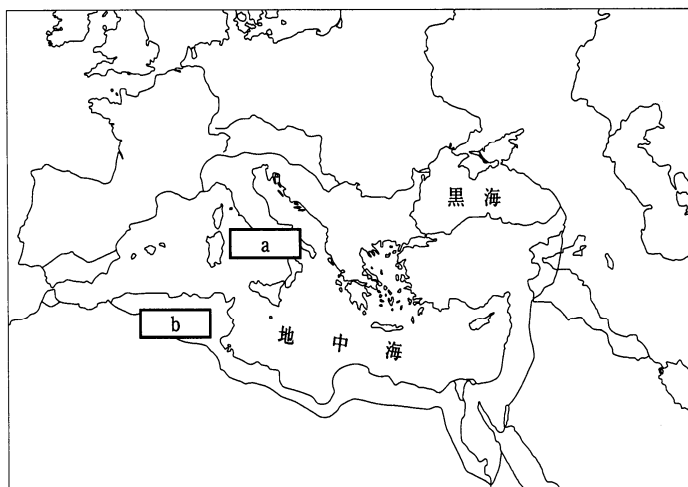
初期のビザンツ帝国(東ローマ帝国)の皇帝である③ユスティニアヌス大帝は、東方の強国(D)朝に対しては守勢をとったが、北アフリカ、イタリア半島、イベリア半島の一部などを奪い、地中海では旧西ローマ帝国領の回復に成功した。ニカの反乱で焼失した(E)聖堂を再建するが、その大聖堂はビザンツ様式の代表的建築物である。トリボニアヌスらに命じて編纂させた(F)は後世への大きな遺産となった。また④養蚕技術の導入により可能になった織物は、帝国の戦略物資となった。ユスティニアヌス大帝の下で、ローマの皇帝理念とキリスト教が融合した新しい皇帝理念が誕生し、異教文化根絶の目的で 800 年以上の伝統を持つアカデメイアを閉鎖した。

ユスティニアヌス大帝の時代には、古代ローマ帝国のシステムがまだ多く残存していたが、しだいに公用語としてギリシア語が用いられるようになるなど、ビザンツ帝国としての独自の体制も定着してきた。7 世紀に入り、(G)帝のもとで、統治機構の強化がはかられ、東方からの⑤イスラーム勢力の軍事圧力に対抗するため、軍管区制(テマ制)が導入された。726 年に(H)が発布した聖像禁止令は⑥ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会とを分裂させるきっかけとなった。9 世紀後半にバシレイオス 1 世によって創始されたマケドニア朝がビザンツ帝国の最も安定した時代にあたり、荘園中心の西ヨーロッパとは対照的に、東地中海の制海権を維持し、国際商業の中心として繁栄した。

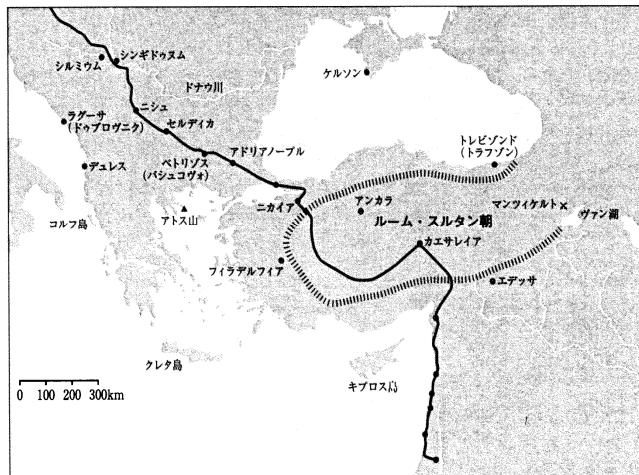
11 世紀後半、⑦セルジューク朝の小アジア侵攻により、ビザンツ帝国の弱体化が明らかとなる。皇帝アレクシオス 1 世はプロノイア制を導入してセルジューク朝に対抗すると同時に、西方世界に援助を要請したが、これが十字軍遠征という結果を招くことになった。1096 年から開始されたこの十字軍遠征により、ビザンツ帝国は確かにイスラーム勢力の脅威から脱することはできたが、帝国領が十字軍遠征の通過地となった結果、十字軍の乱暴狼藉や略奪によって逆に苦しめられ、1204 年には第 4 回十字軍によって首都が占領された。そのためビザンツ帝国宮廷は各地を転々とし、1261 年になってようやく首都を奪回するが、ビザンツ帝国の衰退を押しとどめることはできず、1453 年、⑧オスマン帝国によって滅ぼされた。

ビザンツ帝国滅亡後、ギリシアの地はオスマン帝国の支配を受けた。オスマン帝国の支配下で、ギリシア人はギリシア正教の信仰を認められたが、経済的・政治的には抑圧されていた。19 世紀初めになって独立運動が起こり、また西欧諸国内に、ギリシア文明を西欧文明の原点として敬愛する「ギリシア愛護主義」が登場し、独立運動の支援が活発になった。ただし、⑨ウィーン体制の構築に尽力したオーストリアの外相(のち宰相)(I)は自由主義・民族主義の高揚に危機を感じ、独立に好意的ではなかった。しかし、ロシア皇帝ニコライ 1 世が南下政策によるギリシア援助を始めると、⑩一部の西欧諸国も支援を強化し、1827 年、ナヴァリノの海戦となった。この海戦でオスマン帝国・エジプト艦隊は全滅し、オスマン帝国はギリシアの独立を認めざるをえなくなった。

地図 1



地図 2



問 1 下線部①に関連して、ローマ皇帝とその説明の組み合わせで誤っているものを次から 1 つ選べ。

- ア. トラヤヌス帝・・・帝国の最大版図を実現した。
- イ. ネロ帝・・・アウグストゥスと同じ皇帝家に属する皇帝である。

ウ. マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝・・・ギリシア語で『自省録』を著した。

エ. ユリアヌス帝・・・キリスト教を公認した。

オ. ウァレンス帝・・・アドリアノーブルの戦いで敗死した。 []

問 2 下線部②に関連して、ゲルマン民族の一派がイギリスで建設した 7 王国を統一した人物を次から 1 人選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. エグバート イ. アラリック ウ. ロロ エ. アルフレッド大王 オ. ジョン王 []

問 3 下線部③に関連して、ユスティニアヌス大帝の時代にビザンツ帝国の総督府がおかれた地で、ユスティニアヌス大帝のモザイク画があるサン＝ヴィターレ聖堂の所在地を次から 1 つ選べ。

ア. カルタゴ イ. セビリャ ウ. ラヴェンナ エ. モンテ＝カシーノ オ. コルドバ []

問 4 下線部④に関連して、以下の記述のうち誤っているものを 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. 中国から「オアシスの道」で西アジア、地中海世界まで絹が運ばれ、そのルートは「絹の道」とも呼ばれた。

イ. 徐光啓の著した『天工開物』には、複雑な構造を持つ絹織物の織機である「花機」について解説されている。

ウ. 絹は、澶淵の盟などの北方遊牧民との講和の際には銀とともに主要な贈答品となった。

エ. 11～12 世紀のイタリアの港市には、東方貿易によって絹織物などの奢侈品がもたらされた。

オ. 明代後期には生糸や陶磁器が日本やアメリカ大陸、ヨーロッパに輸出され、その対価として流入した銀が中国の
商工業発達を促した。 []

問 5 下線部⑤に関連して、イスラーム勢力について誤っているものを次から 1 つ選べ。

ア. ムハンマドはメッカ占領後にカーバをイスラーム教の神殿とした。

イ. ウマイヤ朝が 8 世紀初めにダマスクスに建設した現存する最古のモスクであるウマイヤ＝モスクは、キリスト教
の教会の一部を転用したものである。

ウ. ハールーン＝アッラシードがアレクサンドリアに建設したギリシア語文献を中心とした図書館はムセイオンと呼
ばれる。

エ. アッバース朝では、イスラーム法(シャリーア)に基づく統治が原則とされ、民族を問わないムスリムの平等が実
現された。

オ. グラナダに建てられたナスル朝の宮殿はアルハンブラ宮殿と呼ばれる。 []

問 6 下線部⑥に関連して、ローマ＝カトリック教会について誤っているものを次から 1 つ選べ。

ア. メロヴィング家のクローヴィスは、アタナシウス派に改宗した。

イ. ボニファティウス 8 世はローマ近郊のアナーニでフランス国王に一時とらえられた。

ウ. 教皇グレゴリウス 7 世は、神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世を破門した。

エ. イギリス国王エドワード 6 世は、国王至上法でカトリック世界から離脱した。

オ. ロヨラやザビエルらが結成したイエズス会は、カトリック教会の勢力回復に貢献した。 []

問 7 下線部⑦に関連して、セルジューク朝について誤っているものを次から 1 つ選べ。

ア. セルジューク朝の建国者であるトゥグリル＝ベクは、1055 年ブワイフ朝を倒してバグダードに入城し、アッバー
ス朝のカリフからアミールの称号を得た。

イ. 1071 年にアナトリア(小アジア)東部でビザンツ帝国を破り、後にセルジューク朝の一派がアナトリアでルーム＝
セルジューク朝の基礎を築いたため、アナトリアのトルコ化・イスラーム化が進んだ。

ウ. 軍隊をトルコ系遊牧民からマムルーク中心にきりかえた。

エ. ニザーム＝アルムルクはイクター制を整備したほか、主要都市にニザーミーヤ学院を設立した。

オ. ウマル＝ハイヤムはペルシア語で『ルバイヤート(四行詩集)』を著した。 []

問 8 下線部⑧に関連して、オスマン帝国のスレイマン 1 世について誤っているものを次から 1 つ選べ。

ア. エジプトの王朝を滅亡させ、メッカ・メディナの支配権をえてイスラーム世界における覇権的地位を確保した。

イ. ハンガリー王国を破って主要地域を支配下におき、さらにウィーンにせまった。

ウ. イスタンブルにスレイマン＝モスクを建造させた。

エ. フランス王フランソワ 1 世と同盟関係を築き、西欧諸国に対する圧力を強めた。

オ. プレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィア連合艦隊を破り、さらにアルジェリアを属領とし、地中海の制海権を確保した。 []

問9 下線部⑨に関連して、ウィーン体制について誤っているものを次から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. フランスの外相タレーランの主張する正統主義によって、フランスやスペインでブルボン王家が復活した。

イ. ロシアはイギリス・オーストリア・プロイセンと四国同盟を結んで、発言力を強めた。

ウ. イギリスは次第にウィーン体制から距離をおくようになり、カニング外相の指導のもと、ラテンアメリカ諸国の独立を支持した。

エ. スイスが永世中立国となり、ドイツにはプロイセン・オーストリアを含むドイツ連邦が組織された。

オ. ウィーン体制成立にもかかわらず、ドイツのブルシェンシャフトによる改革要求、イタリアの立憲革命などの反体制運動が起こった。

問 10 下線部⑩に関連して、ギリシア独立戦争を支援したロシア以外の国を次から **2** つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. イギリス イ. オランダ ウ. プロイセン エ. フランス オ. スペイン []

問 11 地図 1 の a・bに入るビザンツ帝国によって征服されたゲルマン人国家をそれぞれ 1 つずつ選んで、マーク解答用紙にマークしなさい。

ア. フランク王国

イ. ブルグント王国

ウ. 西ゴート王国

エ. ヴァンダル王国

オ. ランゴバルド王国

カ. 東ゴート王国

キ. アングロ=サクソン王国

ク. ヴァルダナ王国

ケ. 両シチリア王国

コ. ベーメン王国 [a b]

問 12 地図 2 の経路で行われた十字軍の時の教皇の名前とこの十字軍によって建設された国家の名前を記しなさい。

$$\left(\begin{array}{c} \bullet \\ \vdots \\ \bullet \end{array} \right)$$

問 13 軍管区制(テマ制)とプロノイア制との違いについて記述解答用紙に 100 字以内で説明しなさい。

[illegible]

【5】津田塾大学 学芸

次の文を読み、設問に答えなさい。

ローマ帝国の東西分立後、西ローマ帝国が[イ]年に滅亡したのに対して、東ローマ帝国はコンスタンティノープルを首都としてその勢力を保持し続けた。6世紀半ば、[ロ]帝は北アフリカの[ハ]王国やイタリア半島の[ニ]王国といったゲルマン系諸王国を滅ぼし、イベリア半島の[ホ]王国からも領土を奪うなど、地中海の覇権を回復した。この皇帝の治下、それまでの法をまとめた『[ヘ]』が編纂され、コンスタンティノープルに[ト]大聖堂が建立されるなど、帝国の威信が高まった。しかし、[ロ]帝以降、帝国が地中海を「我らの海」と呼べた期間は長くはなかった。イタリア半島ではゲルマン系のランゴバルド人に領土を奪われ、バルカン半島ではアヴァール人や[チ]人・ブルガール人らの侵入に悩まされた。東方ではシリア方面に進出してきた[リ]との抗争が続き、7世紀半ばになるとイスラーム勢力によってシリア・エジプト・北アフリカ

が征服された。こうして、かつてローマ帝国が支配していた地中海世界は解体し、東ローマ帝国の支配領域もバルカン半島と小アジア地域へと縮小した。ローマ人・ローマ帝国を自称しつつも、ヌ語を公用語とするようになったこの帝国は、コンスタンティノープルの旧名にちなんでビザンツ帝国と呼ばれる。

8世紀前半以降、体制を立て直したビザンツ帝国は、神の代理人たる皇帝が、各地方の^(a)テーマを統制しつつ、官僚を駆使して統治する専制的な中央集権国家だった。帝国では伝統と格式が重んじられ、荘重華麗な儀式の数々は外国使節を驚かせた。

ル壁画もきらびやかなト大聖堂での典礼が、この世のものとも思えない美しさであったという使節の報告を受け、キエフ公国の大公ヲが^(b)コンスタンティノープル教会を介してキリスト教を導入する決断をしたという逸話も残っている。

10世紀になると、高級官僚やテーマの長官が私腹を肥やしながら勢力を拡大し、特権的な世襲貴族として台頭するようになる。その経済的な背景としては、各地の貴族が^(c)地中海貿易を担うイタリアの海港都市と穀物の取引などで直接結びつくようになったことを指摘できる。11世紀以降、貴族はたびたび反乱を起こし、皇帝位をも左右する勢力となった。14世紀になると、統治の乱れがオスマン帝国のバルカン半島進出を招き、ビザンツ帝国の領土は縮小の一途をたどった。その^(d)オスマン帝国がコンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅ぼしたのは、ワ年のことであった。

問1 空欄イ～ワに最も適当と思われる語を入れなさい。

イ	ロ	ハ	ニ
ホ	ヘ	ト	チ
リ	ヌ	ル	ヲ
ワ			

問2 下線部(a)について、テーマ制とはどのような制度か、説明しなさい。

[]

問3 下線部(b)について、

(1) コンスタンティノープル教会とローマ教会との対立を深める一契機となった、726年の法令は何と呼ばれますか。

[]

(2) その法令がローマ教会の反発を招いたのはなぜですか。

[]

問4 下線部(c)について、このころよりビザンツ帝国の経済と密接に結びつくようになり、第4回十字軍でも大きな役割を果たしたこの都市の名を答えなさい。

[]

問5 下線部(d)について、このときのオスマン帝国のスルタンは誰ですか。

[]

を建立するなどその権勢を誇示した。ビザンツ皇帝は、政治と宗教の両面において絶大な権力を持っていた。自らを全世界の支配者であると自認し、また 5 世紀半ば以降、^(エ)コンスタンティノープル総主教から帝冠を授けられることで、皇帝は地上における神の代理人として自らの権力を正当化した。

ビザンツ帝国は、蓄積された高度な外交技術や優れた官僚機構、伝統ある軍隊という、十分な政治上の資産をもっていたといえる。しかし、帝国の領土が広すぎたという問題があった。その結果、絶え間ない異民族の侵攻に耐えきれなかった。このように苦闘を続けるビザンツ帝国は、628 年、ササン朝ペルシアとの戦いに勝利する。しかし、^(オ)アラブ勢力の侵攻により、ビザンツ帝国は、636 年にシリア属州の、642 年にエジプト属州の支配権を相次いで喪失した。その後も領土は縮小の一途をたどり、674 年から 718 年にかけて、ビザンツ帝国は、(1) | (2) 朝のアラブ軍にコンスタンティノープルの二度の包囲を許してしまった。二度目の包囲の際にアラブ軍を撃退し、帝国の危機を救ったのが、小アジアの軍管区長官出身の (3) | (4)

 であった。彼は、アラブ軍を撃退するとコンスタンティノープルにやってきて、みずから皇帝の座についた。9 世紀後半に始まる (5) | (6) 朝は第一次ブルガリア帝国を併合し、それ以後、ビザンツ帝国の前には繁栄と拡大の時代が開け、それは 11 世紀初頭まで続くことになる。コンスタンティノープルは、つねに経済の中心地として繁栄し続け、12 世紀にいたるまで、アジアから西方に運ばれる高額な商品の中継地としての役割を果たし続けた。帝国で用いられた (7) | (8) 金貨は、ヨーロッパから西アジアにいたる広い地域で流通した。しかし、1071 年、小アジアの (9) | (10) の戦いでビザンツ軍がセルジューク朝のトルコ軍に惨敗すると、小アジアの領土は事実上失われ、ビザンツ帝国は大きな痛手を被ることとなった。そのように増大する新たな脅威に対抗するため、1095 年、時の皇帝 (11) | (12) は、ローマ教皇を通して西方に援軍を求めた。また、ビザンツ帝国は、のちに自らを脅かす存在となるヴェネツィア共和国への譲歩を強いられた。1202 年から 1204 年にかけて、インノケンティウス 3 世のもとにおこされ、異教徒と戦うために東にむかったはずの第 4 回十字軍は、聖地ではなくコンスタンティノープルを占領した。これは、商業圏の拡大をもくろむヴェネツィアの意向によるものであった。1204 年、占領されたコンスタンティノープルにラテン帝国が建てられた。そのため、ビザンツ帝国の宮廷は、各地を転々とした。1261 年、その宮廷は、ラテン帝国からコンスタンティノープルを奪回する。また、11 世紀以来、ビザンツ帝国では、^(カ)貴族層を対象に、軍事奉仕を条件として公有地の管理権及び徴税権を当人一代にかぎり付与する制度が発展してきたが、これはのちに世襲化され、社会の独自の封建化を促すことになった。

だが、コンスタンティノープルを奪回しても、もはやかつての勢いは戻らず、ビザンツ帝国は衰退の道をたどり始める。そして、ついに 1453 年、メフメト 2 世率いるオスマン帝国軍の攻撃によって、コンスタンティノープルは陥落し、ビザンツ帝国は滅亡した。コンスタンティノープルの陥落は大事件であり、当時キリスト教世界に走った衝撃は、想像を絶するほど大きなものであったといわれる。

12	34	56	78	910	1112
----	----	----	----	-----	------

〔設問〕

- (ア) この事業を行った皇帝の伝記を執筆し、さらに、『年代記』を書いた人物は誰か。 []
- (イ) カルタゴと並んでビザンツ帝国の総督府が置かれていた地で、ユスティニアヌス 1 世のモザイク画があるサン＝ヴィターレ聖堂が所在する地はどこか。 []
- (ウ) 551 年、ビザンツ帝国はある国から領土を奪って、帝国領の大半を回復する。この領土を奪われた国が、6 世紀後半から 8 世紀初頭まで首都としていたのはどこか。 []
- (エ) 6 世紀初頭、コンスタンティノープルをはじめ、ビザンツ帝国内のいくつかの地に総主教座が置かれていたが、このうち、かつてセレウコス朝シリアの首都であったのはどこか。 []
- (オ) この間アラブ勢力を率いたカリフは誰か。 []
- (カ) この制度は後に、オスマン帝国のティマール制に影響を与えたといわれているが、ティマール制において徴税権を認められた者は誰か。 []

〔語群〕

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 01. アター | 02. アッパース | 03. アトス |
| 04. アドリアノーブル | 05. アリー | 06. アルカディウス |
| 07. アレクシオス 1 世 | 08. アンティオキア | 09. アンティゴノス |
| 10. アンブロシウス | 11. ウァレンス | 12. ウスマーン |
| 13. ウマイヤ | 14. ウマル | 15. エウセビオス |
| 16. エクバタナ | 17. エフェソス | 18. エリウゲナ |
| 19. エレクトラム | 20. カーディー | 21. カディス |
| 22. カーヌーン | 23. カラカラ帝 | 24. カルケドン |
| 25. カルタヘナ | 26. キジルバシュ | 27. クライシュ |
| 28. グラナダ | 29. クレーロス | 30. 後ウマイヤ |
| 31. コムネノス | 32. コルドバ | 33. サーマーン |
| 34. サラゴサ | 35. シパーヒー | 36. ジャーギール |
| 37. セビリャ | 38. ダマスクス | 39. テオドシウス 1 世 |
| 40. テッサロニケ | 41. ドラクマ | 42. トラヤヌス帝 |
| 43. トレド | 44. ニカイア | 45. ニハーヴァンド |
| 46. ネルウァ帝 | 47. ノミスマ | 48. バクトラ |
| 49. ハーシム | 50. パシレイオス 1 世 | 51. パシレイオス 2 世 |
| 52. パルセロナ | 53. パレンシア | 54. ヒッポレギウス |
| 55. ヘカトンピュロス | 56. ヘラクレイオス 1 世 | 57. ペルガモン |
| 58. ベルナルドゥス | 59. ボエティウス | 60. マケドニア |
| 61. マラーズギルド | 62. マラーター | 63. メテオラ |
| 64. モンテ＝カシノ | 65. ラヴェンナ | 66. ルーム＝セルジューク |
| 67. レオン(レオ)3 世 | | |

【3】早稲田大学 文

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

東地中海世界では中近世の時代、キリスト教勢力とイスラーム勢力とが互いに対抗し領土を奪い合った。ビザンツ帝国は、ユスティニアヌス帝の時代に最大の版図になったが、イスラーム勢力が伸長すると、7 世紀にエジプトや中東地域のビザンツ領はイスラーム支配下に入った。その後ビザンツ帝国はセルジューク朝の圧迫で小アジアの領土を失うが、西欧から十字軍の遠征がなされ、中東地域でのキリスト教勢力は再び拡大した。だが、オスマン帝国が勢力を伸ばすと、スルタン d は 1453 年にビザンツ帝国を滅ぼし、東地中海世界はオスマン帝国の支配下に入る。その後オスマン帝国はバルカン半島とハンガリーを占領しウィーンに迫ったが、第 2 次ウィーン包囲が失敗すると e 条約でハンガリー主要地域などをオーストリアに割譲し、オスマン帝国は衰退に向かった。

設問 1 下線部 a に関して、誤りを含むものを選びなさい。

イ ユスティニアヌス帝は、コンスタンティノーブルにハギア＝ソフィア聖堂を建造した。

ロ ユスティニアヌス帝の命を受け、トリボニアヌスらが『ローマ法大全』を編纂した。

ハ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イタリアでランゴバルド王国を滅ぼした。

ニ ユスティニアヌス帝のビザンツ軍は、イベリア半島の一部も征服した。〔 〕

設問 2 下線部 b に関して、誤りを含むものを選びなさい。

イ エジプトではイスラーム支配下に入った後も、キリスト教のコプト教会が存続した。

ロ ヘラクレイオス1世はササン朝と戦い、シリア・エジプトを一時奪回した。

ハ イスラーム勢力は、コンスタンティノープルをたびたび攻撃した。

ニ レオン3世が、イスラーム勢力との融和を図るために聖像禁止令を出した。 []

設問3 下線部cに関して、正しいものを選びなさい。

イ オスマン帝国はハンガリー王ジギスムントが率いる連合軍をニコポリスの戦いで破り、ブルガリアを併合した。

ロ オスマン帝国はコソヴォの戦いでロシアを破り、領土を拡大した。

ハ オスマン帝国はビザンツ帝国からニケーアを奪い、一時首都とした。

ニ オスマン帝国はシーア派のイスラーム教徒が政権を握る国家であった。 []

設問4 空欄dに入る人名を書きなさい。 []

設問5 空欄eに入る地名を書きなさい。 []

【4】早稲田大学 文

次の文章を読み、図を見て設問1～5に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

[A] 帝国の首都 [B] にある聖ソフィア聖堂(図1)は、ドームをいただく独特の [A] 様式で建てられている。内部には東方正教会(ギリシア正教)の教義に基づく [C] 壁画がほどこされている(図2)。これは色ガラスや大理石を小さな方形に切って、壁に埋め込むことによって図柄を描き出す技法である。[A] 帝国は1453年にオスマン帝国のスルタン、[D] 2世によって滅ぼされた。図1に見える細くとがった塔は、[D] 2世が聖ソフィア聖堂をイスラーム教のモスクとして用いるために新たに建てた [E] である。

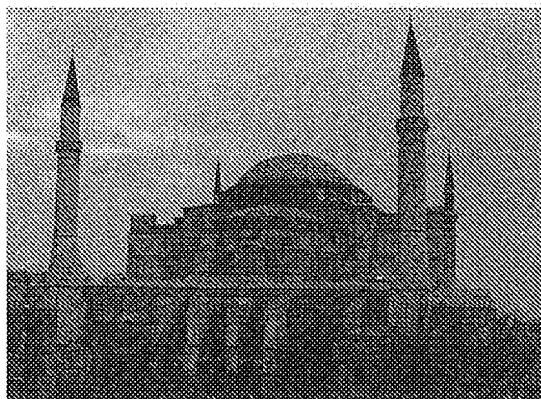


図1 聖ソフィア聖堂

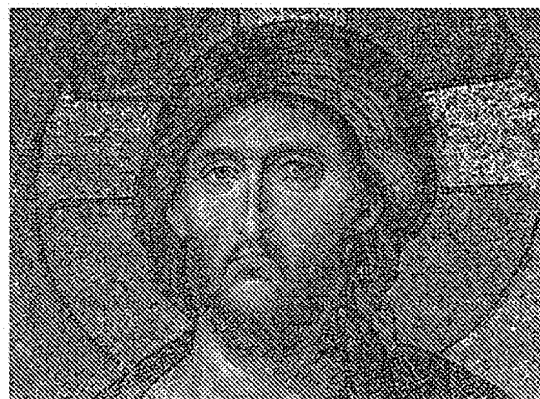


図2 聖ソフィア聖堂壁画

設問1 [A] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ ラテン ロ 神聖ローマ ハ ビザンツ ニ 西ローマ []

設問2 [B] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ ラヴェンナ ロ イェルサレム ハ コンスタンティノープル ニ ローマ []

設問3 [C] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ 肖像画 ロ モザイク ハ 細密画 ニ フレスコ []

設問4 [D] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ バヤジット ロ メフメト ハ セリム ニ スレイマン []

設問5 [E] に入る語を以下のイ～ニから一つ選びなさい。

イ シナン ロ ミナレット ハ バシリカ ニ シナゴーク []

【5】 早稲田大学 社会科

次の文章を読み、問1～3については、適切な語を記入し、問4～10については、選択肢の中から適切な解答を一つ選べ。

西ヨーロッパの側から見れば、ビザンツ帝国はアラブ人やトルコ人の侵略からローマ帝国の文明遺産を守り伝える歴史的役割を果たした。だが一方で、ビザンツ帝国は周辺のスラヴ系民族やバルカン諸民族の歴史にも大きな痕跡を残すことになった。その最も重要な要素の一つは、(A) 広義のギリシア正教である。ポーランド人や(イ) チェック人など西スラヴ系民族がカトリックと西ヨーロッパの世界に組み込まれていったのに対し、ビザンツ帝国とギリシア正教の影響下に入ったのは、南スラヴ族の一部と東スラヴ族だった。バルカン半島では11世紀後半にスラヴ系のセルビア人が独自の王国を形成し、ギリシア正教を受容したセルビア教会は大きな影響力をもつに至った。この王国は14世紀前半に最盛期を迎えたが、オスマン帝国に(B)で敗れ、15世紀半ばからはその支配に服した。バルカン半島の東南部では、ブルガール人によって第一次ブルガリア王国が建設された。この王国でも9世紀にはギリシア正教が国教とされたが、他方でスラヴ語による典礼やスラヴ語系文字の使用も奨励された。言語や(ロ) 文字は民族や文化の一体性を表すものと考えられたからである。ブルガリア王国は、927年まで続く(C)の治下で全盛期に達したのち、一時ビザンツ帝国の支配に服したが、12世紀末に独立を回復する。しかしモンゴル人の侵入を受けて衰退し、14世紀末にオスマン帝国により征服された。ロシアに進出した東スラヴ人は、ノヴゴロドやキエフを中心にいくつかの小国家を建設していた。そのうち、9世紀に建てられた統一国家キエフ公国は、ビザンツ帝国の領土を侵略するまでの力をもつようになり、ウラディミル1世の時代にはギリシア正教を国教と定め、近隣の諸公国を支配下におさめた。しかしやがて諸公国の自立化傾向が強まり、それとともにロシアの各地で(ハ) 農奴制の強化も進んだ。13世紀にバトゥが南ロシアの草原に(ニ) キプチャク＝ハン国を建てると、ロシア諸公国はその支配に服属することになる。(ホ) 13世紀から14世紀にかけてのユーラシア大陸では、モンゴルの支配により政治的に安定した時代が続いた。その状況のなかで、ロシアではモスクワ大公国が勢力を伸ばし、イヴァン1世の時代にロシア教会の中心的地位を占め、1380年にはキプチャク＝ハン国の大軍を撃破して独立への地歩を固めた。キプチャク＝ハン国はその後間もなくティムールの攻撃を受けて衰退し、領土の多くは(ヘ) ティムール帝国に併合されていった。モスクワ大公国はやがてロシアをほぼ統一し、15世紀後半にはモンゴルの支配から完全に自立した。イヴァン3世はビザンツ最後の皇帝の親族と結婚し、ローマ帝国とギリシア正教の継承者を自認するとともに、大公権力の強化に努めた。その政策を受け継いだイヴァン4世のロシアは、シベリアへの勢力拡大を図り、(コ) 後に東方に進出する足掛かりを築くとともに、カトリックのポーランドに代わって東ヨーロッパ最強国の地位を占めるに至った。

問1 下線部(イ)に関し、9世紀中頃に建てられ、マジャール人の侵入によって滅びたチェック人の国は何か。〔 〕

問2 空欄(ロ)に入るべき最も適切な人名を記入せよ。〔 〕

問3 下線部(ハ)に関し、この安定した状態を何と呼ぶか。記入せよ。〔 〕

問4 下線部(A)に関し、次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 皇帝教皇主義とは、皇帝がコンスタンティノープル総主教を任命するなど、聖俗両方の権力を事実上掌握する体制を指す。
- b. ギリシア正教会では彫像の崇拝は禁じられたが、キリストや聖人を描いた聖像画イコンは、とくにロシアで信仰の中心的役割を果たした。
- c. レオン3世が726年に発布した聖像禁止令は、ローマ教会との間に聖像崇拝論争を巻き起こし、以後、1054年の東西教会分裂まで解除されることがなかった。
- d. ギリシア正教の影響を受けたビザンツ様式の美術や建築は、西ヨーロッパにも伝わったが、その代表例が11世紀に改築されたヴェネツィアのサン＝マルコ聖堂である。
- e. ギリシア正教の本拠地コンスタンティノープルに建国されたカトリックのラテン帝国は、ニケーア帝国により滅ぼされた。〔 〕

問5 空欄(B)に入るべき最も適切な語は次のどれか。

- a. ポルタヴァの戦い b. クリコヴォの戦い c. タンネンベルクの戦い d. モハーチの戦い
- e. コッソヴォの戦い 〔 〕

問 6 下線部(C)に関連し、(あ)～(お)の文字と①～⑤の説明との最も適切な組み合わせはどれか。

(あ) パスバ文字 (い) アラム文字 (う) ルーン文字 (え) キリル文字 (お) カロシュティー文字

- ① グラゴル文字から発展し、ロシア文字のもととなった文字
- ② 西北インドを中心に使用され、アショカ王の碑文でも用いられた文字
- ③ モンゴル語を写すためにチベット文字をもとに作成された文字
- ④ ヘブライ文字、アラビア文字のもととなった文字
- ⑤ ゲルマン人に用いられていた古い文字

- a. (あ)－③ (い)－① (う)－② (え)－⑤ (お)－④
- b. (あ)－② (い)－④ (う)－① (え)－③ (お)－⑤
- c. (あ)－④ (い)－② (う)－③ (え)－① (お)－⑤
- d. (あ)－③ (い)－④ (う)－⑤ (え)－① (お)－②
- e. (あ)－② (い)－⑤ (う)－① (え)－③ (お)－④

[]

問 7 下線部(D)に関し、農奴制と農奴についての次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- a. ロシアでは 1861 年の解放令により、農奴は人格的自由を得るとともに、農奴を縛り付けていたミール共同体も解体された。
- b. 封建制の危機に対応するため、15 世紀以降のエルベ川以西の地域では、農奴制が再強化され、大規模な直営地農場経営が行われた。
- c. 西ヨーロッパの農奴の起源は、ローマ帝国末期に形成されたコロヌスと呼ばれる自作農階層にあるとされる。
- d. 百年戦争時の人頭税に反対して 1381 年に起こった農民一揆で、ワット＝タイラー率いる農民側はリチャード 2 世に農奴制廃止を認めさせた。
- e. ステンカ＝ラーズンは農奴制を拒んで逃亡した農民を糾合して農奴制廃止を求める反乱をおこしたが、ピョートル 3 世により鎮圧された。

[]

問 8 下線部(E)に関し、キプチャク＝ハン国の都はどれか。

- a. タブリーズ b. エミール c. アルマリク d. ヘラート e. サライ

[]

問 9 下線部(F)に関し、ティムールとその帝国についての次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 第 3 代君主、シャー＝ルフはオスマン帝国や明とも親交を結び、学芸を保護した。
- b. ティムールはオゴタイ＝ハン国の内部抗争から頭角を現し、チンギス＝ハンの末裔を戴いてモンゴル帝国の再興を図った。
- c. ティムールはアンカラの戦いでオスマン帝国軍を破り、皇帝のパヤジット 1 世を捕虜にした。
- d. ウルグ＝ベクは天文学や数学にも才能をもった君主で、サマルカンドに当時最高水準の天文台を作った。
- e. ティムール帝国は中央アジアのトルコ系民族ウズベク族の侵略を受け、滅亡した。

[]

問 10 下線部(G)に関し、ロシアの東方進出についての次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

- a. 清の康熙帝とのあいだに結ばれたネルチンスク条約によって、外興安嶺が両国の境界と定められ、ロシアにはアムール川の航行権が認められた。
- b. 1727 年に乾隆帝との間でキャフタ条約が結ばれ、外モンゴルとシベリアの国境が決められた。
- c. 1792 年にレザノフが根室に、1804 年にはラクスマンが長崎に来て、日本との交易を求めたが、実現しなかった。
- d. デンマーク人ベーリングのシベリア探検の後、ロシア領に組み込まれたアラスカは、アレクサンドル 2 世により 1867 年にアメリカに売却された。
- e. 東シベリア総督ムラヴィヨフのもとで、1860 年、イリ条約によってロシア領となった沿海州に、極東支配の拠点となるウラジヴォストークが建設された。

[]

演習追加問題(中世ヨーロッパの形成)

【1】 上智大学 法 外国語

I 以下の文章を読んで、問1および問2に答えなさい。

(1)の子カルル大帝がランゴバルド王国制圧後、(2)人を征服したことにより、大多数のゲルマン部族は統合されていった。カルルはさらに、(3)のアヴァール人やイスラーム教徒を撃退し、西欧のほとんどはフランク王国の支配下となる。すでにキリスト教世界は732年の^(A)トウル・^(B)ボワティエ間の戦いで(4)朝のイスラーム勢力を斥け、西欧キリスト教世界は危機を脱していたのである。カルルは^(C)アーヘンに宮廷をおき、また、^(D)ローマで800年に(5)として戴冠された。彼は広大な領土を支配するため地方の豪族を(6)に任命して各州の統治にあたらせる一方、巡察使を派遣して(6)の監督をさせた。カルル大帝はまた、(7)の神学者アルクイン等を宮廷に招いて(8)による文芸復興に努めた。アルクインのあとを継いだアインハルトは(9)を著している。

問1 空欄(1~9)に入るもっとも適切なものを選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

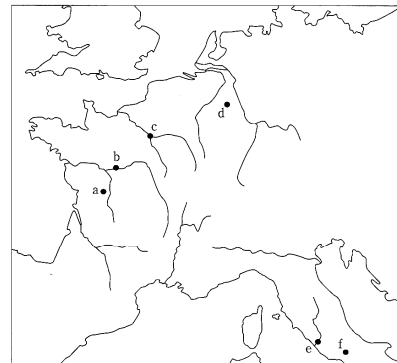
- (1) a クローヴィス b テオドリック c アラリック d カール=マルテル e ピピン []
 (2) a ブルグンド b ヴァンダル c アングロ=サクソン d 東ゴート e ザクセン []
 (3) a モンゴル系 b トルコ系 c イラン系 d インド系 e 東ゲルマン系 []
 (4) a ブワイフ b セルジューク c ウマイヤ d ファーティマ e ザンギー []
 (5) a ランゴバルド王 b イタリア王 c 神聖ローマ皇帝 d 東ローマ皇帝 e 西ローマ皇帝 []
 (6) a 領主 b 公 c 伯 d 司令官 e 騎士 []
 (7) a フランス b イタリア c スペイン d イギリス e スイス []
 (8) a ヘブライ語 b ギリシア語 c アラビア語 d 古ゲルマン語 e ラテン語 []
 (9) a 『アーサー王物語』 b 『ニーベルンゲンの歌』 c 『ローランの歌』 d 『カール大帝伝』
 e 『神学大全』

]

問2 下線部(A~D)に該当する場所を右の地図上の

6箇所の選択肢(a~f)から選びなさい。

- [A]
 [B]
 [C]
 [D]



II 図(1~4)に関する以下の文章を読んで問1および問2に答えなさい。

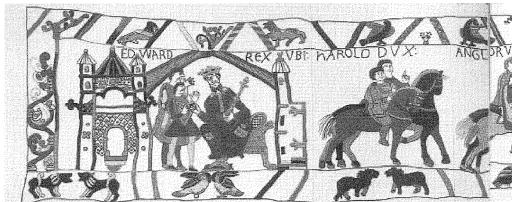


図1

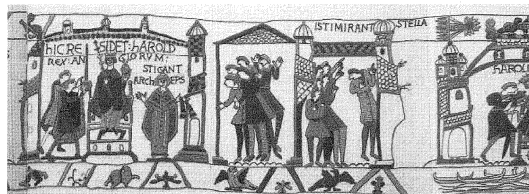


図2



図3



図4

これらの図は「バイユーのタペストリー」の一部である。タペストリー(つづれ織)と慣習的に呼ばれているが、実際には幅約50センチメートル、長さ約70メートルの刺繍画である。^(A)ノルマンディー公国のウィリアムとイングランド王ハロルドとの(1)年のヘースティングズの戦いにいたる過程を勝利者の側から描いている。ヘースティングズの戦い直後から制作され

10 年後に完成した。作成者はノルマンディー公ウィリアムの妃マティルダとも考えられている。

物語は、イングランドの王エドワードの王位継承をめぐる事件から始まる。高齢のエドワード王は子供がいなかったため、ノルマンディー公ウィリアムを彼の継承者と決め、寵臣のハロルドに、それをウィリアムに伝えるように命令する。図 1 の中央左が^(b)エドワード王で、屋根の上に“EDWARD REX”と文字が刺繍されている。その後、エドワード王は没するが、彼の臨終に立ち会ったハロルドが、自分を後継者に指名したと主張し、彼が王に即位してしまう。図 2 左端では、イギリスの貴族代表がハロルドに王剣を捧げ、ハロルドの右にいる英国カトリック最高位の(2)大司教がハロルドの戴冠を国民に披露している。しかし 4 月下旬天空に大彗星が出現する。図 2 右では、空を見上げて恐れおののく人々が認められる。ハロルドの戴冠に対して怒ったウィリアムは急いで船を建造させ、大軍隊を率いてイングランドに攻め入る。図 3 ではノルマン特有の両端がそりあがった船が認められる。この吃水^{きつすい}の浅い船でノルマン人はヨーロッパ各地の海岸を襲い、さらに内陸深くまで河を遡航した。(3)とよばれるノルマン部族もいたが、これは「船の漕ぎ手」の意味とも考えられている。そして、図 4 の^(c)ヘースティングズの戦いが始まった。左がウィリアム軍、右がハロルド軍である。ノルマン側が騎兵であるのに対し、イングランド側が重装歩兵であったことが見てとれる。このヘースティングズの戦いをもってノルマン(4)と呼ぶ。これがイギリス史の転換点となり、それをきっかけに独自の^(b)イギリス型封建制が成立した。こうして成立したノルマン朝は、その領土であるフランスのノルマンディーについてはフランスの家臣となったため、その後、イギリスとフランスの関係は紛糾を続ける。^(e)百年戦争もそうした争いの一つといえる。

問 1 空欄(1～4)に入るもっとも適切なものを選択肢(a～e)から 1 つ選びなさい。

(1)

a 1016 b 1035 c 1054 d 1063 e 1066 []

(2)

a ロンドン b オックスフォード c ケンブリッジ d ウェールズ e カンタベリ []

(3)

a デーン b ヴァイキング c スウェーデン d ノルウェー e ルーシ []

(4)

a 十字軍 b 協和 c 強奪 d 上陸作戦 e 征服 []

問 2 下線部(A～E)に関する問(1～5)に答えなさい。

(1) 下線部(A)に関する文(a～d)のうち、間違っているものを 1 つ選びなさい。

- a ノルマンディー公国は 911 年ロロがセーヌ川下流地域に建てた国である。
- b ロロはノルマンの首長である。
- c ノルマン人は北方系のゲルマン人である。
- d ロロは神聖ローマ皇帝によってノルマンディー公に封じられた。 []

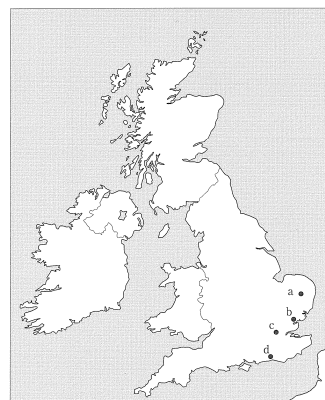
(2) 下線部(B)は何人の王であったか、もっともふさわしいものを(a～d)から選びなさい。

- a ゴート人 b フィン人 c アングロ＝サクソン人 d ケルト人
- []

(3) 下線部(C)の場所を下の地図の(a～d)から 1 つ選びなさい。 []

(4) 下線部(D)に関する文(a～d)のうち、間違っているものを 1 つ選びなさい。

- a ウィリアムはノルマンディーで行われていた封建制度をイギリスに導入した。
- b この時代にイングランドはフランス文化の影響を受けた。
- c ノルマン貴族の権限は絶大で、王権が非常に脆弱な地方分権体制であった。
- d ウィリアムは全国にわたる土地台帳を完成させた。 []



(5) 下線部(E)に関する文(a～d)のうち、間違っているものを1つ選びなさい。

- a 百年戦争はカペー朝が断絶の際、イギリス王エドワード3世が王位を主張して開戦した。
- b 百年戦争のクレシーの戦いでは、イギリスの長弓が活躍した。
- c 百年戦争でドンレミの農民の娘ジャンヌ＝ダルクは自ら率いた軍でオルレアンをイギリス軍から解放した。
- d 百年戦争によって、イギリス、フランス両国とも、農民が解放され、市民階級が衰退した。 []

【2】 津田塾大学 学芸学部(国際関係学科)

次の文を読み、設問に答えなさい。

ゲルマン人の部族国家のうち、西ヨーロッパ世界の誕生に大きな役割を果たしたのは、フランク族の国家であった。フランク王国が着実に発展した背景には、ローマ教会との密接な関係がある。フランク族は、いくつかの小部族に分かれてガリア北部に広がっていたが、5世紀末頃、あ家のクロヴィスによって統一され、ガリア中部にまで領土を拡大した。また、^(イ)ガリアのローマ人と友好な関係を築いた。

8世紀になると、フランク族の分割相続の風習が原因となってあ家が力を失い、王国の行政・財政面の長であるい家を世襲するう家が実権を握るようになった。いであったカール＝マルテルは、ピレネー山脈を越えて侵入したイスラム勢力を732年にえの戦いで破り、フランク王国とキリスト教世界を外敵から守った。カール＝マルテルの子である小ピピンは、751年、教皇の支持のもとにう朝をはじめ、また、^(ロ)ロンバルド族の領土を奪い、教皇に献上した。このようにフランク王国はローマ教会との結びつきを強めたが、その背景には、ローマ教会が、^(ハ)コンスタンティノープル教会との対立などから、西方に新しい政治権力の援助を求めていることがある。その後、小ピピンの子であるおは、ロンバルド王国、サクソン族、モンゴル系遊牧民のか族、イスラム教徒を破って、西ヨーロッパを統一した。フランク王国がビザンツ帝国に並ぶ強国になると、き年、ローマ教皇レオ3世は、おにローマ皇帝の帝冠を与えた。これは、ローマ帝国の伝統、キリスト教、ゲルマン的要素が融合した西ヨーロッパ中世世界の成立を象徴する出来事であった。この後ヨーロッパ中世を通じて、^(ニ)教皇と皇帝は、協調と対立をはらみながら深い関係を保つこととなった。

問1 空欄あ～きに、最も適当と思われる語を入れなさい。

あ	い	う	え
お	か	き	

問2 下線部(イ)について、その理由を説明しなさい。

[]

問3 下線部(ロ)について、教皇に献上された地方の名称を答えなさい。

[]

問4 下線部(ハ)について、この対立は、726年にビザンツ皇帝レオン3世が発布した命令によって決定的なものとなった。

(1) この命令の名称を答えなさい。 []

(2) なぜ対立が決定的になったのか、説明しなさい。

[]

問5 下線部(ニ)に関連して、ビザンツ帝国では、西ヨーロッパとは異なり、皇帝教皇主義がとられた。その特徴を簡単に述べなさい。

[]

早慶の過去問からの発展・応用(中世ヨーロッパⅠ)

【1】

慶應義塾大学 法学部

以下の問題文の空欄(39)から(45)に入る最も適切な語句を語群の中から選び、その番号をマークしなさい。また設問(ア) (46) から(オ) (50) に対する解答として最も適切な語句を語群の中から選べ。

中世ヨーロッパは、キリスト教と世俗権力の二つの中心を持った楕円にたとえられる。キリスト教は成立するや否や迫害に直面した。最初にローマの軍人皇帝がキリスト教の信仰を理由に迫害を命じたのは(39)世紀のことであった。だがやがて、キリスト教を敵にまわして帝国の統一を行うことは難しいという判断もあって、ローマ皇帝はキリスト教を公認する。ただし後に現れたローマ皇帝の中にもユリアヌス帝のようにペルシア起源の密儀宗教である(40)を保護する者がいた。ローマ帝国とキリスト教との結合によって、教父の果たした役割も重要である。たとえばパレスチナの司教(41)は、コンスタンティヌスを神によって選ばれた者とする皇帝像を打ち出した。また(イ)公会議において、正統と異端を区別し、キリスト教の統一化を図る動きもみられた。ローマ帝国の東西分裂後、混乱が続くなかで、ローマ・カトリック教会は積極的に布教に努め、その勢力を伸張する。教皇(42)は、ゲルマン民族の大移動でフン族のアッティラがローマに侵入した際に、彼を説得し、退却させてローマを崩壊から救った。このことも手伝って教皇の名声は大いに高まったのである。西ローマ帝国崩壊後のフランク王国時代には、ローマ・カトリック教会と国王権力は、より一層協力関係を深めていった。そのことを端的に示すのが、いわゆるピピンの寄進である。教皇の承認のもと王位を奪いカロリング朝を開いたピピンは、756年、(43)の土地を教皇に寄進し、それが最初の教皇領となったのである。だが世俗権力と癒着した教会の腐敗・墮落が明らかになるにつれ、それを正そうとする気運も高まってきた。(ロ)ヨーロッパの各地に点在する修道院を中心に、カトリック教会の肅正・浄化の運動が起こり、教会自らも聖職売買の禁止など改革に取り組まざるを得なくなった。その結果ローマ教皇は、(ハ)12世紀以降しだいにその権威を高めて行く。これに対して当時の世俗権力の側では、いまだ国王の広範な一元的支配が確立するには至っていなかった。ところがその後西ヨーロッパの政治情勢は変容し、国王の権力が伸張し始めた。フランスではカペー朝の歴代の王がその領土を拡大しつつあった。13世紀初頭、フランス国王は(ニ)アルビジョワ十字軍を組織し、異端討伐という理由をかかげて、フランス南部一帯の制圧を開始した。この異端が根絶されるのは、(44)が国王のときであった。同国王はまた、ソルボンヌ神学校を創設したり、施療院を開設するなどして学問・芸術・慈善事業などの振興を図るとともに、マルセイユの他に(45)に新たな港を築き、そこを拠点として十字軍にも大きく貢献した。このようにカペー朝は13世紀を通じて教皇権力と密接な関係を維持しつつ、国王権力を拡大させてきたといえよう。だが14世紀に入るや否や両者の間に決定的な対立・抗争が生じる。この世紀最初のフランス国王は、軍事費の増加による財政難を打開するために、教皇に無断で国内聖職者への課税を企てた。教皇がこの課税を非難するにおよぶと、国王は教皇を捕らえ、憤死にいらせた。(ヒ)この事件を契機に、教皇の権威は失墜していくことになるのである。

(ア) 単性論を異端とした公会議は何か。(46)

(イ) フランチェスコ修道会の出身で普遍論争において唯名論を唱え、信仰と理性、神学と哲学の区別を主張したスコラ学者は誰か。(47)

(ロ) 教皇権の優位を示す「教皇権は太陽であり、皇帝権は月である」との言葉を残した教皇は誰か。(48)

(ハ) 「カタリ派のローマ」と呼ばれ、この十字軍の攻撃目標となった都市はどこか。(49)

(ニ) この時期から、フランス・カトリック教会をローマ教皇の絶対権から独立させようとする動きが強くなるが、それを何というか。(50)

〔語群〕

01. 1 02. 2 03. 3 04. 4 05. アウグスティヌス 06. アタナシウス
07. アッシジ 08. アナーニ 09. アベラール 10. アリウス 11. アルル 12. アンセルムス
13. イシス教 14. インノケンティウス3世 15. ウィリアム・オッカム 16. ウルバヌス2世
17. エウセビオス 18. エグモルト 19. エフェソス公会議 20. ガリカニスム
21. カルケドン公会議 22. グレゴリウス1世 23. グレゴリウス7世 24. 叙任権闘争
25. 神政政治 26. ゴロアスター教 27. トゥールーズ 28. トマス・アクィナス
29. トリエント公会議 30. ニケーア公会議 31. ニース 32. フィリップ2世
33. フィリップ4世 34. フィリップ6世 35. 福音主義 36. ボニファティウス8世
37. ボルドー 38. マッシリア 39. マニ教 40. ミトラ教
41. ミラノ 42. モンペリエ 43. ラヴェンナ 44. リヨン 45. ルイ9世
46. レオ1世 47. レオ3世

39	40	41	42	43	44
45	46	47	48	49	50

【2】

早稲田大学 教育学部

中世のローマ＝カトリック教会に関する次の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から最も適切な解答を一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。また、空欄 A ・ B に入る最も適切な語を記入しなさい。 B は漢字二字で記入すること。

800年、教皇レオ3世によるカール大帝の戴冠によって強力な世俗権力の後ろ盾を得たローマ＝カトリック教会⁽¹⁾は、布教活動を積極的におこない、その影響力を西ヨーロッパ一帯に強めていった。しかし、こうして教会の権威が高まると、それを利用してとする世俗の君主たちの動きも活発化してくる。具体的には、彼らは教会や修道院に所領を寄進した上で自らの子弟を司教や修道院長に任命したのである。このような世俗権力の介入は聖職者の腐敗、墮落の温床となっていた。とくにドイツでは、オットー1世⁽²⁾以来、歴代の神聖ローマ皇帝は教会の支配を重要な統治政策としてきたので、11世紀後半に教皇グレゴリウス7世が、世俗君主による聖職叙任権を否定すると、皇帝ハインリヒ4世との間で激しい対立を引き起こすことになった。ハインリヒ4世が禁令を無視すると、グレゴリウス7世は彼を破門した。諸侯の離反を恐れたハインリヒ4世は、教皇に謝罪し許された。これがいわゆる A の屈辱で、教皇権が皇帝権に優越することを示した事件として名高い⁽³⁾。

12、13世紀には教皇を頂点とするローマ＝カトリック教会の権威は絶頂期をむかえ、信仰⁽⁴⁾のみならず、政治⁽⁵⁾、経済、教育⁽⁶⁾、文化⁽⁷⁾などあらゆる領域にその影響は及んだ。とくに民衆の間でのキリスト教信仰の高まりには注目すべきものがある。それはときには、ワルド派やカタリ派のような B 運動に発展する危険性すらはらんでいたのである。ローマ＝カトリック教会の特徴として、官僚的な聖職ヒエラルヒーや教会裁判所を法的、制度的に確立したことがあげられる⁽⁸⁾。そこには支配の実を上げるためばかりでなく、信仰の統一性を維持するというもう一つの理由があった。同じことは、ウルガタ(ヴルガータ)と呼ばれるラテン語訳聖書のみを公認の聖書としたことにも言えよう⁽⁹⁾。聖書の解釈権を独占し、自由な原典研究を認めないことによって、信仰の統一性を維持しようとしたのである。こうした点が後に人文主義者たちの批判を招くことになったのである⁽¹⁰⁾。

A	B
---	---

(1) これ以前にもカール大帝の父であるピピンが教皇に領地を寄進するということがあったが、そのとき寄進された領地はどこか。

- a ミラノ b シチリア c ヴェネチア d ラヴェンナ []

(2) オットー1世にローマ皇帝の冠を授けた教皇は誰か。

- a ヨハネス12世 b ウルバヌス2世 c ボニファティウス8世 d クレメンス5世 []

- (3) その後、聖職叙任権をめぐる教皇権と皇帝権の対立は 1122 年に一定の妥協をみたが、その協約が締結された場所はどこか。
- a ヴォルムス b ニュルンベルク c レーゲンスブルク d フランクフルト []
- (4) この時期に創立されたドミニコ修道会についての説明で誤っているものはどれか。
- a 創立者のドミニクスはスペインのカスティーリャ地方の出身である。
- b 信者の喜捨によって生活したので托鉢修道会とも呼ばれた。
- c 学問研究を重視した修道会で、『神学大全』の著者トマス＝アキナスもドミニコ会士である。
- d ベネディクトゥス会則に準拠する修道会として、教皇ホノリウス 3 世の認可を受けた。 []
- (5) 絶頂期の教皇インノケンティウス 3 世の政策についての説明で誤っているものはどれか。
- a 教皇権を太陽に、皇帝権を月にたとえて、教皇の優越を強調した。
- b イングランド国王ジョンを破門し、封臣として臣従を誓わせた。
- c 1215 年にクレルモン公会議を主宰した。
- d 「キリストの代理人」の称号を教皇として初めて用いた。 []
- (6) 中世の大学で一般教養科目とされた 7 自由学科に含まれないものはどれか。
- a 修辞 b 建築 c 天文 d 音楽 []
- (7) 次の教会建築の中で、ロマネスク様式ではないものはどれか。
- a ケルン大聖堂 b ヴォルムス大聖堂 c シュパイア(シュパイエル)大聖堂 d マインツ大聖堂 []
- (8) それに伴って法学研究が大いに発展したが、中でも法学者イルネリウスが創設したと伝えられ、全ヨーロッパの法学研究の中心となった大学はどこか。
- a パリ大学 b サレルノ大学 c ボロニャ大学 d オックスフォード大学 []
- (9) このラテン語訳をおこなったのは誰か。
- a アウグスティヌス b アタナシウス c エウセビオス d ヒエロニムス []
- (10) ギリシア語のみならず、ヘブライ語の原典研究でも偉大な成果を上げた人文主義者は誰か。
- a エラスムス b ロイヒリン c メランヒトン d ボッカチオ []

【3】

早稲田大学 法学部

B 8 世紀前半、イスラーム教徒軍が北アフリカ、スペインをへて、フランク王国内に侵入したが、カール＝マルテルは、732 年にトゥール・ポワティエ間でこれを撃破した。④その子ピピンは、751 年にメロヴィング朝を廃してカロリング朝を開いた。ピピンの子カールはあいついで外征を試み、かつての西ローマ帝国に匹敵する領土を統一した。800 年、カールは⑤ローマ教皇レオ 3 世からローマ皇帝の冠を授けられ、ローマの世界統一の理念がよみがえったが、これは新しいヨーロッパ世界の出現でもあった。⑥イスラーム勢力は、その後およそ 700 年間にイベリア半島を支配するなど、キリスト教世界に脅威をあたえながらも、またさまざまな学問や技術をヨーロッパにもたらした。

設問 4 下線部④のメロヴィング朝、カロリング朝の出来事について、これに関連する次の 1～4 の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 メロヴィング朝の始祖クローヴィスは、ランスの教会でアタナシウス派のキリスト教に改宗した。
- 2 ピピンは、イタリアの東ゴート王国を討ち、獲得したラヴェンナ地方などを教皇に寄進したが、これが教皇領の起源となった。
- 3 カールは、アルクインらの学者を招いて文化や学問の普及に努めたが、これはカロリング＝ルネサンスとよばれる。
- 4 カールの死後、フランク王国は 9 世紀のヴェルダン・メルセン両条約により三分され、これがのちのドイツ・フランス・イタリアの基礎となった。 []

設問 5 下線部⑤について、ローマ教皇の在位が古いものから時代順に並んでいるのは次の 1～4 のどれか。正しいものを一つ選びなさい。

- 1 インノケンティウス3世 → レオ10世 → ボニファティウス8世 → グレゴリウス7世
- 2 グレゴリウス7世 → インノケンティウス3世 → ボニファティウス8世 → レオ10世
- 3 ボニファティウス8世 → レオ10世 → インノケンティウス3世 → グレゴリウス7世
- 4 レオ10世 → グレゴリウス7世 → ボニファティウス8世 → インノケンティウス3世 []

設問6 下線部⑥について、イスラームの学者・文人と著作との組み合わせの中で、誤っているものは次の1～4のどれか。
誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 イブン＝シーナー(アヴィケンナ)―『医学典範』
- 2 イブン＝ハルドゥーン―『世界史序説』
- 3 オマル＝ハイヤーム―『ルバイヤート』
- 4 イブン＝ルシュド―『三大陸周遊記』 []

C 11世紀の末、教皇ウルバヌス2世は、⑦異教徒のトルコ人が進出していた聖地イェルサレムを回復するため、フランスのクレルモンに公会議を召集し、十字軍の連征を宣言した。こうして、⑧教皇の提唱のもと、約200年のあいだに主なものだけでも7回の遠征がおこなわれ、王侯や騎士、農民や商人が、宗教的な動機のほかにさまざまな利害によってこれに加わった。教皇の権威は一時高まったが、しかし各地での王権の進展もあって、後期にはゆらぎはじめた。十字軍の遠征によってヨーロッパ内部の通商が活発になったばかりではなく、イタリアの海港都市を中心に東方貿易が盛んになり、東西文明の交流をととして⑨ヨーロッパの中世世界は大きな転換をとげることになった。

設問7 下線部⑦について、次の1～4の中から、11世紀にイェルサレムに進出したトルコ人の王朝にかんする説明として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 始祖トゥグリル＝ベクは、バグダードに入城し、アッバース朝カリフからスルタンの称号を授けられた。
- 2 この王朝はイスラーム教スンナ派を奉じ、シーア派のファーティマ朝と対抗した。
- 3 名宰相ニザーム＝アルムルクによって、領内に多くの学院(マドラサ)がたてられた。
- 4 この王朝は、スレイマン1世のもとで最盛期を迎え、16世紀にはウィーンを包囲し、ヨーロッパに大きな脅威をあたえた。 []

設問8 下線部⑧について、次の1～4の中から、十字軍遠征にかんする説明として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 第1回十字軍は聖地を占領し、キリスト教国のイェルサレム王国をたてた。
- 2 第3回十字軍は、エジプトのアイユーブ朝のサラディンに対抗したが、聖地を占領することができなかった。
- 3 第4回十字軍は、聖地の回復の目的を捨て、ビザンツ帝国のコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国をたてた。
- 4 第6・7回十字軍は、ルイ9世の指導のもと聖地の回復を目指し、占領に成功した。 []

設問9 下線部⑨について、次の1～4の中から、ヨーロッパの中世世界にかんする説明として正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ヨーロッパ中世の封建制度は、ローマ末期の恩貸地制度やゲルマンの従士制度などをもとに発展した。
- 2 荘園農民の多くは、領主に対して十分の一税や賦役を負担し、教会には死亡税や結婚税をおさめなければならなかった。
- 3 北イタリアにハンザ同盟、北ドイツを中心にロンバルディア同盟が結成され、幅広く商業活動を展開した。
- 4 都市の内部では、商人や手工業者によってギルドがつくられたが、大商人によってつくられたツunftとよばれる商人ギルドが闘争を展開した。 []

【4】

早稲田大学 商

次の文章を読んで、設問A～Jに答えよ。解答は所定欄に一つだけマークせよ。

ローマ教会の歴史を見ると、正統教義論争や布教活動、修道院制度なども重要であるが、なによりもローマ皇帝権とのかかりが問題になる。紀元後1世紀にユダヤ教から派生したキリスト教は、その世紀の内にローマ市などでも多くの信者を得た。A迫害の歴史のあと、ローマ皇帝によるキリスト教の公認とB国教化があった。ローマ皇帝権に裏付けられてCキリスト教の権威が確立したと言える。

ゲルマンの大移動によって西ローマ帝国が滅亡すると、ローマ教会は、ビザンツ皇帝に対抗できる世俗権威を求め、フランク王をローマ皇帝として戴冠した。D962年には、神聖ローマ皇帝を戴冠した。中世における神聖ローマ皇帝には、古代ローマ

の幻影とローマ教会の意図が色濃く反映する。ローマ教会は、ヨーロッパに地位を築くことで、聖像禁止問題の対立を経て、1054年に最終的に東方教会と分裂した。聖俗の普遍的権威を各々代表する皇帝と教皇は11世紀から司教・修道院長の叙任権を争った。この時期に十字軍が開始されるように、教皇権は強化され、13世紀に絶頂期をむかえた。E 神学も大成された。

絶頂期の後に衰退期が到来する。F 14世紀は教皇の権威が試される苦難の時であった。教皇と皇帝という普遍的権威が揺らぎ、中世とは区別されるG 近代を人文主義者は意識し始めた。16世紀になると、ローマ教会内の改革を超えて、新しい教会を形成する宗教改革の時代が到来した。宗教改革や宗教戦争は、神聖ローマ皇帝権との関わりよりも、イギリス・フランス・スウェーデンのようなH 地域国家の王権の動向に左右されるようになっていた。この間、ヨーロッパ諸国は海外への進出を試みており、それにともなってローマ教会もアメリカ大陸やアジアへの布教を強化した。海外布教におおいに貢献したひとつがI イエズ会である。ローマ教会の領土(教皇領)は、1861年のイタリア統一時にも維持されていたが、普仏戦争のときにイタリア王国は教皇領を接収し、首都をローマに移した。以後、教皇とイタリア王国の対立が続くが、ヴァチカン市の独立を承認した「ラテラノ条約」によって和解し、現在に至っている。

問A 下線部Aについて、キリスト教徒迫害を当時の人々が是認する理由はいろいろ考えられるが、それに該当しないのはどれか。

1. キリスト教徒が一神教を信仰するから。
2. キリスト教徒が皇帝崇拝を拒否するから。
3. キリスト教徒は古来の神々を崇拝しない「無神論者」であるから。
4. キリスト教徒は「幼子殺害」を連想させる秘儀を有するから。 []

問B 下線部Bについて、このように定めたローマ皇帝は誰か。

1. コンスタンティヌス
2. ディオクレティアヌス
3. テオドシウス
4. ユリアヌス []

問C 下線部Cについて、アタナシウス派を正統と認めた325年の公会議の開催地はどこか。

1. アンティオキア
2. エフェソス
3. ニケーア
4. ミラノ []

問D 下線部Dについて、戴冠された王が属する王家はどれか。

1. ヴェルフ家
2. ザクセン家
3. シュタウフェン家
4. ホーエンツォレルン家 []

問E 下線部Eのこの時期に大成された神学について、正しいものはどれか。

1. アリストテレス哲学とキリスト教を調和させた。
2. 神学よりも哲学を上位に置いた。
3. 大成者は『神学大全』を著したアンセルムスである。
4. 唯名論の立場によって体系化された。 []

問F 下線部Fについて、この世紀に起こった事件でないのはどれか。

1. 教会大分裂(大シスマ)の開始
2. 教皇のパピロン捕囚
3. コンスタンツ宗教会議
4. フィリップ4世による最初の三部会招集 []

問G 下線部Gについて、14世紀に活躍した人文主義者でないのはどれか。

1. エラスムス
2. チョーサー
3. ペトラルカ
4. ボッカチオ []

問H 下線部Hについて、新秩序を造り上げたウェストファリア条約にないのはどれか。

1. オランダ・スイスの独立承認
2. クロムウェルの統治承認
3. ドイツの諸領邦の主権承認
4. ルター派・カルヴァン派の承認 []

問I 下線部Iについて、正しいものはどれか。

1. アジア布教の拠点として、インドのゴアと中国のマカオにおいた。
2. 異端審問権を得て、宗教裁判所を主導した。
3. 中国における典礼問題では、明確に典礼拒否を貫いた。
4. マテオ＝リッチらによって創設された。 []

問J 下線部Jの条約を締結したのは誰か。

1. カヴール
2. ナポレオン＝ボナパルト
3. ヒトラー
4. ムッソリーニ []

演習追加問題(中世都市, 封建社会の変容～百年戦争)

【1】 学習院大学 文

次の文章を読み、文章中の空欄や下線部についての設問(1)～(6)に答えなさい。

(1) が帝国都市としての特権を獲得した⁽²⁾直後に関して一つ注目すべき現象がある。それはローマ教皇庁との関係である。基本的にいえば(1)方面はキリスト教の辺境地であり、13 世紀当時にもなお布教を必要とする地方⁽³⁾であったから、その意味でも教皇庁はこの方面にまったく無関心ではいらなかったはずである。十字軍⁽⁴⁾と呼応して北方でも十字軍が考えられ、実行されるに至っていたから、なおさらである。その際(1)は北方十字軍⁽⁵⁾の出発地として重要であり、事実北方商人による布教事業支援は大きかった。したがって教皇庁がこの方面に関心をよせるのは当然前なのであるが、その際(1)の帝国都市化は教皇の注目を当然ひきつけた。ただし、教皇庁の(1)に対する好意も長続きはしなかった。13 世紀を通じて多くの教皇文書が寄せられたものの、14 世紀に入ると減少する。それと一致するのが 1309 年の名高い「アヴィニョン捕囚」⁽⁶⁾である。この事件によりさすがの教皇庁も(1)のために力を向ける余裕がなくなってしまったのである。しかし、それで良かったのである。なぜならば14 世紀はハンザの隆昌期であり、その頃には北方はあえて教皇の助成を必要としなくなったからである。

(高橋理『ハンザ「同盟」の歴史——中世ヨーロッパの都市と商業——』による。引用にあたり、一部表現を改め、また省略した箇所がある。)

〔設問〕

- (1) (1) には、12 世紀にザクセン公により建設され、のちにハンザ同盟の盟主となったバルト海沿岸の都市の名が入る。
その都市名を答えなさい。 []
- (2) 下線部(2)に関して、(1) に帝国直属特権状が付与されたのは、13 世紀の前半のことである。これを与えた皇帝は、
その後まもなく十字軍に関与しつつ一時的にイェルサレムを回復したことで知られる。この皇帝の名を答えなさい。
[]
- (3) 下線部(3)に関連して、13 世紀の教皇庁は、アジアへのキリスト教布教も模索していた。教皇インノケンティウス4 世の命により 13 世紀半ば頃にモンゴル方面に派遣されたイタリア出身のフランチェスコ会修道士の名を答えなさい。
[]
- (4) 下線部(4)について、当初西欧諸国の十字軍は、聖地イェルサレムの回復を目指していたが、第4 回十字軍では、イタリアのある商業都市の意向を取り入れコンスタンティノープルの獲得を目指すことになった。このイタリアの商業都市の名を答えなさい。
[]
- (5) 下線部(5)の北方十字軍運動は、当時の東方植民運動と密接に結びついていた。
- (a) アッコンで成立し、その後北方に移動してバルト海沿岸の開拓に尽力した騎士団の名前を答えなさい。
[]
- (b) 16 世紀に(a)の騎士団の団長がルター派に改宗し、世俗の領主となった結果、この運動が展開した地に一つの公国が成立する。この公国の名は、19 世紀のドイツ統一において中心的役割を果たした王国の名に引き継がれる。この公国の名前を答えなさい。
[]
- (6) 下線部(6)の「アヴィニョン捕囚」はフランス王権の介入によって行なわれた。
- (a) このときのフランス王の名を答えなさい。 []
- (b) このとき(a)によってアヴィニョンに移転させられた教皇の名を答えなさい。 []

【2】 青山学院大学 経済

以下の三つの文章(A), (B), (C)は中世後期(14・15 世紀ころ)のヨーロッパの政治、宗教、経済の動向について記述したものである。各文章をよく読み設問に答えなさい。

- (A) (1)イギリスでは1295 年に模範議会が招集され、14 世紀の半ばには高位聖職者と大貴族の代表からなる上院と、州と都市

(C) 1300 年ころから貨幣経済が広く浸透し、旧来の荘園に基づく経済体制は崩れはじめた。領主直営地は分割され、⁽⁵⁾農民層には賦役労働に代わって生産物、次いで貨幣の形で地代が課されるようになった。また、相次ぐ飢饉、疫病の流行、百年戦争などの戦乱により、土地は疲弊し、人口も極度に減少した。領主層は所領内に農民層を確保するために彼らの処遇の改善、身分的束縛の緩和を図らねばならなかった。その結果イギリスでは (g) と呼ばれる独立自営農民層が形成された。その後、⁽⁶⁾困窮した中小領主層は再び農民支配を強化しようとしたため、14 世紀後半にはイギリスでは (h) の乱、フランスでは (i) の乱を招くことになった。

問 7 空欄 (g), (h), (i) に入れるのに最も適切な語を以下の選択肢の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

(g) = 11 [], (h) = 12 [], (i) = 13 []

- | | | |
|------------|----------|----------|
| ① ヨーマン | ② 地主 | ③ 従士 |
| ④ ワット・タイラー | ⑤ ジャックリー | ⑥ ジェントリ |
| ⑦ 王党派 | ⑧ 小作農 | ⑨ デカプリスト |
| ⑩ ピエモンテ | | |

問 8 下線部 (5) と関係して、①～④のうちで荘園に関する説明として正しくないものはどれか、記号をマークしなさい。

- ① それまでの荘園の農地は領主直営地と農民保有地に二分化されていた。
- ② 領主直営地は基本的に農民の提供する賦役労働によって耕作されていた。
- ③ この賦役労働は地代の一形態であり労働地代と呼ばれる。
- ④ 領主直営地の比重が圧倒的に低いのが西洋中世の荘園の特徴である。 []

問 9 下線部 (6) と関係して、このような領主側の対応は何と呼ばれるか、以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ① ツンフト闘争 ② 封建反動 ③ 地主化
- ④ 農奴解放 ⑤ 農地解放 []

【3】 学習院大学 文

次の主題 A・B それぞれについて、与えられたキーワードをすべて用い、200 字以内で歴史的に論述しなさい。なおキーワードには下線を付しなさい。句読点は 1 マスに 1 つずつ、数字は 1 マスに 2 字まで入れなさい。

中世イギリスにおける議会の歴史の展開について。

キーワード：

マグナ＝カルタ ヘンリ 3 世 模範議会

【4】 青山学院大学 法学部

次の問(A)，(B)は西洋中世の政治史の展開に関するものである。それぞれの文章をよく読み、各設問に答えよ。

(A) 以下の文章は英仏百年戦争の展開過程に関するものである。この文章を読んで問1～問5に答えよ。

1328年に①家のシャルル4世が没するとフランス王位は②家に移った。イギリス王③は母親の相続権を根拠にフランス王位を求め、「フランドルの内乱」を契機に百年戦争が始まった。黒太子エドワードは長弓隊を駆使し、1356年にはフランス王ジャン2世を捕虜にする程であった。「国内の都市民、農民の大反乱」もあり、戦局はフランス側に圧倒的に不利であった。1360年の和約により③は「大陸側の領土を全面的に回復した」。1415年のアザンクールの戦いで敗北した後、シャルル6世が、ブルゴーニュ公の仲介により、1420年イギリス王と同盟を結んだため、フランス国内の分裂は深まり、危機的状況に陥った。一方でイギリス王④はフランス王女との結婚により王位の奪取を目指した。これに対して王太子シャルルは反撃を開始し、1429年にオルレアンで決定的な勝利を収めた。この勝利に果たした農民出身⑤の役割は大きい。王太子シャルルは⑥として戴冠し、1435年にはブルゴーニュ公と和議を結び、軍制を整え、「イギリス勢力の一掃にほぼ成功した」。

問1 本文の空欄①～⑥に最も適当な語句を挿入せよ

①	②	③
④	⑤	⑥

問2 下線部aと関連して、フランドルにおける英仏間での権益の争いの対象となった産業は何かを記せ。

[]

問3 下線部bと関連して、1358年頃北フランス一帯を巻き込んだ農民反乱は何と呼ばれるかを記せ。

[]

問4 下線部cと関連して、13世紀はじめフランス王と争って、大陸側の領地の多くを失ったイギリス王の名を記せ。

[]

問5 下線部dと関連して、イギリスに残された大陸側の唯一の地域名を記せ。

[]

(B) 以下二つの文章(a)，(b)は英仏百年戦争の過程で成立した二つの条約の内容である。それに関する設問6に答えよ。

(a) トロワ条約

「神の恩寵により、フランス国王である余⑦。…国王⑧はわが娘との縁組により、余の息子となった。…フランス王国とその王権は永遠に彼とその後継者のものとなる。…王国統治は余の存命中、余の息子⑧王に委ねられる。…彼は余に反抗する⑨の党派を支持する都市や地域を余に従わせるよう、努めねばならない…両王国の三身分の同意を得ず⑧も、余の親愛なる⑩フィリップも、⑨といかなる和平交渉もしない。…」

(b) アラス条約

「⑩ジャンの死は邪悪な行為によるものであり、今でも絶えず国王⑪を不快にしている。…同王は彼の相続人たちに対し、フランス王権に属している都市、城、所領を永遠に譲渡するであろう。…彼らは王国内の土地と所領について生涯、同王に対して服従や宗主権を免れるであろう。…同王の死後は相続人である王の息子に対して忠節と奉仕をなすであろう。…今後イングランド人やその同盟者が⑩に対し戦争を行なうという事態が生じた場合、国王はそれに対抗して助力しなければならない。…」

(以上、ヨーロッパ中世史研究会編『西洋中世史料集』東京大学出版会刊より)

問6 文章(a)，(b)の空欄⑦～⑪に入れるのに最も適当なものを選択肢イ～ヘの中から選べ。

イ) シャルル7世

ロ) シャルル6世

ハ) 王太子シャルル

ニ) ブルゴーニュ公

ホ) ヘンリ5世

ヘ) ノルマンディー公

⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
---	---	---	---	---

【2】 中央大学 経済

以下の文章1～7を読んで、設問に答えなさい。

1 戦費を確保するために導入された人頭税に反対する農民たちは、タイラーらを指導者として①ワット＝タイラーの乱を引き

起こした。イングランド東南部から進撃した一揆軍は、ロチェスター、カンタベリを占拠した後、ついにロンドン入りを成し遂げる。彼らは国王との会見を果たし、農奴制の廃止や地代の減額などを要求した。しかし、その後、ロンドン市長のウォルワースの策略によってタイラーが殺されると、一揆軍は急速に崩壊に向かっていく。結局、他の指導者たちの何人かが捕らえられて処刑された後、この一揆は最終的に鎮圧されることとなった。

2 イングランド王(A)は、ウェールズの征服をもくろんでいた。これに対して、ウェールズ大公ルウェリンは反発を強めていく。その後、イングランドはウェールズへの大規模な軍事遠征を敢行し、ルウェリンを屈服させることに成功した。ルウェリンは後に再びイングランドに対する蜂起を企てたが、結局はイングランド軍に鎮圧されてしまう。その結果、ウェールズ大公国は、イングランド王の直接支配下におかれることになった。さらに、(A)は、スコットランドへの遠征も企てた。その際に必要とされる軍事費の調達のために召集された議会は、模範議会と呼ばれている。

3 大憲章(マグナ=カルタ)は、国王による新たな課税に際しては高位聖職者と大貴族の承認を必要とすることなどを定め、国王の専制に歯止めをかけようとしたものとみなせる。しかし、(B)がこれを無視したため、シモン=ド=モンフォールが反乱を起こした。彼は、従来からあった高位聖職者・大貴族の会議に州および都市の代表を加えることを国王に認めさせたが、一般にこれがイギリス議会の起源とされている。

4 ウェセックス王家のエドワードは、宗教心にあつい王であったが、子供を残さないままに没した。そのため、エドワードの死後、王位継承問題がもち上がることとなる。候補者は、ウェセックス伯ハロルド、ノルウェー王ハーラル、ノルマンディー公ウィリアムの3名であった。エドワードの死後に王を称したハロルドは、イングランド北部の重要拠点ヨークに侵攻してきたノルウェー王ハーラルの撃退に成功した。しかし、その間に、大陸から進攻してきたノルマンディー公ウィリアムによる上陸を許してしまう。ヨークでウィリアム上陸の知らせを受けたハロルドは、即座に軍を南下させてこれにあたったが、(C)の戦いで敗北を喫した。勝利者となったウィリアムは、イングランド王として即位した後もノルマンディー公の地位を保持し続けていたため、彼は英仏間を行き来しながら自分の王国の統治にあたった。

5 ランカスター家とヨーク家の王位継承争いに終止符を打ったヘンリ7世は、新たな王朝を打ち立てた。その息子のヘンリ8世は、みずからの離婚問題をきっかけとして、②首長法(国王至上法)を制定した。この法律は、ローマ教皇ではなく国王こそがイングランド国内の教会の首長である、と宣言したものである。こうして彼は、カトリック世界と袂を分かち、修道院がもつ広大な土地財産の没収を強行した。その後、(D)は新教徒を弾圧し、スペイン王室(後のフェリペ2世)との婚姻により、カトリックの復活をはかっていく。しかし、この結婚は、国民から概して不評であった。結局、エリザベス1世の時代に、イギリス国教会は最終的な確立を果たすことになる。

6 フランス王の家臣であったアンジュー伯は、イングランドに進出してヘンリ2世として即位し、③新しい王朝を開いた。彼は、その後の婚姻政策などにより、フランスのほぼ西半分とイングランドにまたがる大帝国(アンジュー帝国)を築いた。その息子のリチャード1世は、第3回十字軍に参加してアイユブ朝の建国者でエルサレムを回復したサラディン(サラフ=アッディーン)と争うことになる。しかし、リチャード1世が帰国途中に捕虜となり、その身代金支払いや莫大な軍事負担に対して不満を強めた諸侯は、大規模な反抗を起こした。次のジョン王はフランス王(E)と戦ったが、フランスにあった領土の大部分を失い、アンジュー帝国を崩壊させてしまう。また、カンタベリ大司教の任免権をめぐる教皇インノケンティウス3世と対立し、破門された後にその権威に屈することになった。

7 フランスのカペー朝が断絶すると、イングランド王エドワード3世が王位継承権を主張し、ここに④百年戦争が勃発した。戦争の序盤は、イングランドの圧倒的優位のうちに進んだといえる。エドワード3世が率いるイングランド軍は、長弓隊の活躍によって、(F)の戦いでフランス軍を撃破した。また同年には、イングランド軍はフランスと結んでいたスコットランド軍とネヴィルズ・クロスの地で戦い、スコットランド王デイヴィッドを捕虜にした。さらに、一時的な休戦期間をはさんで戦争が再開されると、黒太子エドワードが指揮するイングランド軍は、ポワティエの戦いで大勝し、フランス国王ジャン2世を人質として捕らえた。

問1 (A)～(F)に適切な語句を入れなさい。

A	B	C
D	E	F

問 2 下線部①について、この一揆の思想的指導者とされ、「アダムが耕シイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」という有名な言葉を唱えたとされる人物は誰か。 []

問 3 下線部②について、この法律に反対して処刑された人物で、「羊が人を食う」という一節で有名な書物を著した人物は誰か。 []

問 4 下線部③について、この王朝名は何か。 []

問 5 下線部④について、下記の語群から適当な用語を 3 個もちいて、この戦争の主な経済的背景を 80 字以内で述べなさい。
なお、選択した用語には下線を引くこと。

〔語群〕 アヴィニョン アルザス・ロレーヌ アントウェルペン オルレアン カレー 絹
絹織物 毛織物香辛料 穀物 砂糖 シャンパーニュ シュレジエン 石炭 タバコ 茶
鉄 フランドル ベーメン ホラント マラッカ 綿織物 綿花 綿布 ユトレヒト
羊毛 ルール

問 6 文章 1～7 を古い順に並び替えなさい。 [→ → → → → →]

【3】 北海道大学 文学部 次の文章を読み、問いに答えなさい。

イギリスにおいては、12 世紀半ばにプランタジネット朝が始まり、国王ヘンリ 2 世は、フランス西部にも多くの領土を有した。しかし⁽¹⁾国王ジョンは、フランス王フィリップ 2 世との争いによりフランス内の領土の多くを失い、またローマ教皇インノケンティウス 3 世によって破門された。1328 年にカペー朝が絶えると、イギリス王エドワード 3 世はフランス王位継承権を主張し、フランドルの内乱をきっかけに百年戦争が始まった。百年戦争で敗れたイギリスでは、王位をめぐる争いからバラ戦争が生じ、国内の貴族たちの多くは疲弊し自滅の道をたどった。⁽²⁾テューダー朝をひらいたヘンリ 7 世は、国内の体制を整備し、絶対王政の基礎を固めた。⁽³⁾続くヘンリ 8 世の下で、宗教改革が始まり、エリザベス 1 世の時代にイギリス国教会の体制が確立し、⁽⁴⁾絶対主義の最盛期を迎えた。

問 1 下線部(1)について、1215 年に国王ジョンは大憲章(マグナ=カルタ)を承認させられたが、この経緯と大憲章の内容を 120 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部(2)について、反対派勢力を処罰するために作られた裁判所の名称を答えなさい。 []

問 3 下線部(3)について、1534 年と 1559 年に出された法令の名称を答えなさい。 []

早慶の過去問からの発展・応用(中世ヨーロッパ 2)

【1】 早稲田大学 法

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

北ヨーロッパのスカンディナヴィア半島やユトランド半島には、古来、ゲルマン人の一派に属するノルマン人が広く住みついていていた。このノルマン人は①8世紀後半ごろから商業活動や海賊行為を目的として、ヨーロッパ各地の沿岸に進出しはじめ、ヴァイキングと総称されて恐れられた。一般的に、4世紀後半に起きたゲルマン人の②ゴート族・ヴァンダル族など東ゲルマン諸族の大移動や、これに続く③フランク族・アングル族・サクソン族など西ゲルマン民族の移動をゲルマン人の第1次民族大移動とすれば、このノルマン人の進出は第2次民族大移動とみなすことができる。ノルマン人は、ヨーロッパの沿岸部から河川を經由して内陸部に進出しさまざまな地域に拠点を形成したが、ノルマン人の支配地は公国や王国などに発展して、古代・中世ヨーロッパ世界に大きな影響を及ぼした。その後ノルマン人の原住地にもデンマーク・スウェーデン・ノルウェーの諸王国がたてられ、これらの諸国はキリスト教化されることでヨーロッパ世界に組み込まれた。この中で最初に台頭したのは、デンマークである。[A]王の時代に、イングランドを征服し、さらにノルウェーを併合した。14世紀後半にはデンマークはバルト海に進出して④ハンザ同盟諸都市と争い、14世紀末にはカルマル同盟のもとで、北欧諸国が一大勢力となった。しかし、16世紀前半にはスウェーデンが独立して、17世紀のグスタフ＝アドルフのときに、三十年戦争に参加して、バルト海の制海権の確保を図った。スウェーデンはその後も発展し、[B]のときに北方戦争を展開したが、これら北欧諸国にかわって、次のバルト海の覇者となったのは、⑤ロシアであった。ロシアでは、スラブ人を中心に国家形成がすすめられ、17世紀末に帝位についたピョートル1世は軍備の拡大と近代化の政策を推進し、東のシベリア経営に乗り出したほか、南方ではオスマン帝国に圧力をかけ、アゾフ海にも進出した。さらに18世紀後半には、女帝エカチェリーナ2世が啓蒙専制政治を実施して中央集権的体制を強化した。このようなロシアの勢力や領土拡大にともなって、その後の北欧諸国はつねにロシアの脅威のもとにおかれることになった。

設問1 [A]に入る最も適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 エグバート 2 エドワード 3 ユード 4 カヌート(クヌート) []

設問2 [B]に入る最も適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 カール4世 2 カール12世 3 ヨーゼフ2世 4 クリスチャン4世 []

設問3 下線部①に関連して、次の1～4の中から、8世紀後半におきた事件や出来事に関する説明を一つ選びなさい。

- 1 フランス中東部に、ベネディクト派のクリュニー修道院が設立された。
2 レヒフェルトの戦いで、オットー1世がマジャール人を撃退した。
3 ピピンが、獲得したラヴェンナなどを教皇に寄進した。
4 ヴェルダン条約が結ばれて、フランク王国が3分割された。 []

設問4 下線部②に関連して、ゴート族のうち、東ゴート人によってイタリアに建国された東ゴート王国を滅亡させたのは次の1～4の誰か。一人を選びなさい。

- 1 オドアケル 2 ユスティニアヌス帝 3 アラリック 4 カール＝マルテル []

設問5 下線部③に関連して、フランク族・アングル族・サクソン族に関して述べた文の中で誤っているものを次の1～4の説明の中から、一つ選びなさい。

- 1 メロヴィング家のクローヴィスはフランク族を統一して、フランク王国を建国した。
2 アングル族・サクソン族はブリタニア南部に、七王国を建設した。
3 フランク王国カロリング朝のカール大帝は、ローマ教皇レオ3世から、西ローマ皇帝の帝冠を受けた。
4 アーサー王は、アングル族・サクソン族を代表する伝説的英雄である。 []

設問6 下線部④に関連して、ハンザ同盟の盟主として中心的役割を果たした都市は次の1～4のどれか。一つ選びなさい。

- 1 アウクスブルク 2 ヴュルツブルク 3 リューベック 4 アントウェルペン []

設問 7 下線部⑤に関連して、キエフ公国を初めとするロシアの公国や王朝の支配者が、古いものから時代順に並んでいるものを次の 1~4 の中から一つ選びなさい。

- 1 イヴァン3世 → イヴァン4世 → ウラディミル1世 → ミハイル＝ロマーノフ
 2 ウラディミル1世 → イヴァン3世 → ミハイル＝ロマーノフ → イヴァン4世
 3 イヴァン3世 → ミハイル＝ロマーノフ → ウラディミル1世 → イヴァン4世
 4 ウラディミル1世 → イヴァン3世 → イヴァン4世 → ミハイル＝ロマーノフ []

【2】 早稲田大学 文化構想

次の i ~ ii の文章を読み、設問 1~4 に答えなさい。

- i A ゲルマン人の大移動は、古代から中世への転換のきっかけとされる出来事であったが、568 年北イタリアに B 王国がたてられたのを最後に、この移動の波は一応の終息をみた。
- ii ロシアは、c ピョートル 1 世の時代に大国の地位を固め、ヨーロッパの強国の一翼をになうようになった。その原因としては、D との戦いである北方戦争での勝利が大きかった。

設問 1 下線部 A に関する下記の文のうちで誤っているものを一つ選べ。

- ア　西ゴート人のローマ帝国領内への移動をきっかけとして、ゲルマン人の大移動がはじまった。
- イ　ヴァンダル人は、パンノニアからイベリア半島を経て、北アフリカに建国した。
- ウ　フランク人は、ライン川東部の居住地を保持しつつ、ガリア北部に膨張的に移住・拡大した。
- エ　ブルグンド人は、南ガリアに建国し、その後イベリア半島に重心を移した。

設問2 空欄Bにあてはまる国名を記しなさい。 []

設問3 下線部Cに属さない出来事を下記から一つ選べ

- ア ネルチンスク条約の締結 イ アゾフ海への進出
ウ クリム＝ハン国の併合 エ ペテルブルクの建設

設問 4 北方戦争の開戦当時に空欄 D の国を統治していた国王の名を記しなさい。 []

【3】早稲田大学 文

以下のそれぞれの設問について指示に従い一つだけマークしなさい。

中世ヨーロッパの宗教と政治の関係を考えると、大きな転換点は、800 年のカール大帝の皇帝戴冠である。西のローマ帝国の復活により、教皇権はビザンツのギリシア正教会からの自立性を獲得し、またカール大帝はカトリック教会の保護に努め、キリスト教の理念に基づいた帝国を建設した。その後オットー朝の皇帝も、カトリック教会のスラヴ人地域への布教を支援し、スラヴ人の B 王国は神聖ローマ帝国の一部となった。11 世紀以降、教皇権が強大になると、今度は教皇自身が積極的に十字軍や イベリア半島でのレコンキスタ に関与し、カトリック世界はさらに拡大した。だが 13 世紀終わりに、パレスチナにおける十字軍の最後の拠点 D が陥落し、十字軍が実質的に終了すると、またたくまに教皇権は失墜する。

中世の教会のあり方は、宗教改革により全面的に批判され、西欧世界では E 様々なプロテスタントの宗派がカトリック教会に対抗し、独自の教会組織を作った。 その結果、カトリック教会に批判的な国家や領邦は、プロテスタントの宗派を自身の教会として選び、西欧世界では宗教対立に根差した多くの紛争が起こった。

設問1 下線部Aの帝国の説明として正しいものはどれか。

- イ 帝国の周辺民族をキリスト教に改宗させるために、武力による征服がしばしば行われ、ゲルマン人の一派アヴァール人も征服され改宗した。
- ロ 帝国の教会で正しい礼拝がなされるように、聖書の写本が読みやすいカロリング小字体で書かれるようになった。
- ハ 帝国の地域ごとに伯が統治にあたったが、伯を監督するために治安判事が定期的に派遣された。
- ニ 帝国の各地に数多くの修道院が建立され、そのなかでもクリュニー修道院は、俗権からの自立を目指す教会改革の拠点となった。

設問 2 に入る名称を記しなさい。 []

設問 3 下線部 C にかかわる説明として誤っているものはどれか。

- イ 11 世紀後半から 12 世紀には、ベルベル人のムラービト朝がイベリア半島の南部にも勢力を拡大していた。
- ロ ナスル朝のグラナダが陥落することで、レコンキスタは事実上終了した。
- ハ コルドバではカスティーリャ王国による占領後、多くのアラビア語文献がラテン語に翻訳された。それらの翻訳が西欧にもたらされ、12 世紀ルネサンスが開花した。
- ニ レコンキスタを担ったアラゴン王国は、13 世紀からはシチリア王国も支配した。 []

設問 4 に入る地名を記しなさい。 []

設問 5 下線部 E の説明として誤っているものはどれか。

- イ カルヴァン派はスコットランドではピューリタンと呼ばれ、禁欲的な職業倫理に従い生活した。
- ロ ルターの教説は一部のドイツの諸侯に受け入れられ、そのような諸侯はルター派に基づく自身の領邦教会を作った。
- ハ アウクスブルクの宗教和議で、支配者はカトリックカルター派を選ぶ自由が与えられたが、カルヴァン派は認められなかった。
- ニ イギリスでは宗教改革後、首長法により国王が教会の首長となり、イギリス国教会が成立し、統一法により礼拝、祈禱が統一された。 []

【4】 慶應義塾大学 法

以下の問題文の空欄 から に入る最も適切な語句を語群の中から選べ。下線部に関する

設問 (ア) から (オ) に対する解答として最も適切なものを語群の中から選べ。

ヨーロッパ世界の形成に歴代のローマ教皇は深くかかわってきた。教皇という地位の歴史的起源は、ローマ司教にある。ローマ司教は、キリストの一番弟子といわれている がその初代とされたこともあって、他の司教以上の威信を帯びてゆくこととなる。5 世紀半ば、ローマ司教レオ 1 世はイタリアに侵入した を説得してローマの街を破壊から守り、コンスタンティノープル教会に対してはローマ教会の首位権を主張した。また、もともとすべての司教の呼称であった「Papa」(ラテン語)は、6 世紀末から 7 世紀初めに在位したグレゴリウス 1 世の時より、ローマ司教だけに適用される尊称となった。9 世紀以降、歴代教皇は、西ローマ帝国の復活や神聖ローマ帝国の成立などに深く関与し、ヨーロッパ中世史において中心的な役割を担うことになる。彼らの権威はその後、ヨーロッパ各国を ⁽⁷⁾ 十字軍に動員するまでに高まり、⁽⁴⁾ 13 世紀にそれは頂点に達したといわれる。しかし、14 世紀から 15 世紀にかけて生じた ⁽⁹⁾ 教会大分裂によって、教皇の威信は大きく揺らぐことになった。近代に入ると、教皇の権威は一層弱まった。16 世紀には、宗教改革により教皇の存在そのものが否定されはじめる。また、教皇の側においても、対抗宗教改革運動の中心的な役割を担った をクレメンス 14 世が解散させるなど、自らカトリック教会の弱体化に手を貸すような行動があった。さらに、ナポレオンの戴冠式に立ち会った は、⁽³⁾ 大陸封鎖に協力しなかったとの理由で幽閉された。

19 世紀、⁽⁴⁾ ナショナリズムがヨーロッパ世界で高まる中、イタリアでは と呼ばれる統一運動が起こった。その結果、ピウス 9 世がイタリア王国の一国民とされる事態が生じる。近代国家イタリアにおける教皇と教皇庁の位置づけが問題となったわけだが、現在のように、ローマ市内のヴァチカン地区を独立国家とし、教皇をその首長とすることが決められたのは、教皇と との間で結ばれた条約によってである。

第二次世界大戦後、ローマ教皇は現代世界が直面する諸問題に積極的にかかわるようになる。1964 年、パウロ 6 世は教皇として初めてエルサレムの地を踏み、そこでギリシア正教総主教と会談した。その際、カトリック教会と正教会は相互に宣言しあった破門を約 年ぶりに取り消した。また、ヨハネ・パウロ 2 世が、ポーランドの自主管理労組「連帯」を抑圧

していた (65) ↓ (66) 首相を説得し、民主化を促したことは広く知られている。

このようにローマ教皇は今日も、文化や政治に対して大きな影響を与え続けている。

5152	5354	5556	5758	5960	6162
6364	6566				

設問

- (ア) 十字軍に際して、聖地を防衛するためにいくつかの宗教騎士団が結成されたが、その一つであるテンプル騎士団の財産を狙って、これを弾圧し解散させたフランス王は誰か。 []
- (イ) 教皇権の絶頂期に在位したインノケンティウス 4 世が使節としてモンゴルに派遣した修道士は誰か。 []
- (ウ) 教会大分裂を終結させるため、1414 年にコンスタンツで公会議を開催することを提唱したドイツ皇帝は誰か。 []
- (エ) ナポレオンが大陸封鎖令を発した都市はどこか。 []
- (オ) ナショナリズムの影響のもと、ドイツの歴史や民族精神に基づく法の役割を強調した、「歴史法学」の創始者は誰か。 []

〔語群〕

- | | |
|------------------------|---------------|
| 01. 400 | 02. 500 |
| 03. 700 | 04. 900 |
| 05. 1200 | 06. アウグスティヌス会 |
| 07. アッティラ | 08. アラリック |
| 09. アンリ 4 世 | 10. イエス |
| 11. イエズス会 | 12. ウィーン |
| 13. ヴィットーリオ＝エマヌエーレ 2 世 | 14. ヴェルサイユ |
| 15. ウルバヌス 2 世 | 16. エグバート |
| 17. エンコミエンダ | 18. オットー 1 世 |
| 19. オドアケル | 20. カヴール |
| 21. ガリバルディ | 22. ギエレク |
| 23. クレメンス 5 世 | 24. コント |
| 25. サヴィニー | 26. ジギスムント |
| 27. シャルル 7 世 | 28. チャウシェスク |
| 29. ティボー | 30. テオドリック |
| 31. ドミニコ会 | 32. ハインリヒ 4 世 |
| 33. パウロ | 34. バリ |
| 35. ピウス 7 世 | 36. フィリップ 4 世 |
| 37. プラノ＝カルピニ | 38. フランチェスコ会 |
| 39. フリードリヒ 2 世 | 40. ペテロ |
| 41. ベネディクト会 | 42. ベルリン |
| 43. ボニファティウス 8 世 | 44. ホネカー |
| 45. マクシミリアン 1 世 | 46. マッツィーニ |
| 47. マテオ＝リッチ | 48. マルコ＝ポーロ |
| 49. ムッソリーニ | 50. モンテ＝コルヴィノ |
| 51. ヤコブ | 52. ヤルゼルスキ |
| 53. ヨハネ | 54. ライプチヒ |
| 55. ランケ | 56. リスト |
| 57. リソルジメント | 58. ルイ 9 世 |

59. ルイ 13 世

60. ルネサンス

61. ルブルック

62. レオ 10 世

63. レコンキスタ

64. レジスタンス

65. ワレサ

【5】 慶應義塾大学 商

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1 世紀に成立したキリスト教は、^(a)数々の迫害を受けながらもローマ帝国全体に広まり、313 年の勅令によって公認されるとその地位は確かなものとなった。325 年の宗教会議によって教義の統一がはかられた後、(1) | (2) 帝はキリスト教を完全に国教化した。またこのころ、後の王権神授説の根拠にもなった (3) | (4) を唱えた (5) | (6) ははじめ、多くの教父が正統教義の確立に努め、後の神学の基礎を築いた。五本山と呼ばれたキリスト教会のなかでも、ローマ教会は自らカトリックと称して首位権を主張し、6 世紀末の教皇 (7) | (8) はゲルマン諸部族への布教活動を熱心に行って西ヨーロッパに勢力を拡大した。8 世紀になると、ローマ教会は聖像禁止をめぐるビザンツ皇帝の支配するコンスタンティノーブル教会と激しく対立した。ビザンツ皇帝に代わる新たな政治的保護者を必要としたローマ教会は、フランク王国との関係強化を図り、(9) | (10) 朝の宮宰カール＝マルテルの子ピピンがフランク王位を継承することを支持した。これに応じて、ピピンは (11) | (12) 人から奪ったイタリア中北部の (13) | (14) 地方を教皇に献上し、^(b)ここに最初の教皇領が誕生した。

ピピンの子カール大帝は北の (15) | (16) 人、東はモンゴル系の (17) | (18) 人を征服し、イベリア半島のイスラーム勢力も破って西ヨーロッパに巨大な王国を築いた。ローマ＝カトリック教会の権威はフランク王の保護のもとで西ヨーロッパ全体に及び、教皇を頂点とする階層制の教会組織が確立するとともに、農民が教会に納める十分の一税も制度化された。

しかし、フランク王国分裂後の混乱のなかで、(15) | (16) 朝の王オットー 1 世が教会勢力を国内統一に利用する政策をとったことから、教会と世俗権力のつながりが深まり、^(c)教会の世俗化と腐敗がもたらされることになった。こうしたことから 10 世紀以降、修道院精神の原点である (19) | (20) の戒律の厳格な遵守を呼びかける教会刷新運動が、フランスのクリュニー修道院を中心に起こった。ローマ教皇はこの改革を推し進めて教皇権の強化をはかり、インノケンティウス 3 世は神聖ローマ皇帝 (21) | (22)、フランス王 (23) | (24)、イギリス王 (25) | (26) らを次々と破門・屈服させるなど、^(d)教皇権の皇帝権に対する優位を誇示した。しかし十字軍の失敗によって教皇の権威は揺らぎはじめた。1303 年の (27) | (28) に続く教会大分裂で教皇権の失墜は決定的となった。それとともに教会の墮落や腐敗に対する不満は、教会改革を求める運動となって各地に広まり、それはやがて宗教改革へと発展した。

16 世紀になってマルティン＝ルターが福音信仰を唱えてドイツで宗教改革を起こすと、スイスではカルヴァンが「予定説」を唱えて改革を指導した。彼は、^(e)禁欲的な職業労働が神の栄光を増すことにつながり、その結果としての富の蓄積は是認されると説いたため、この教義は西ヨーロッパの商工業者を中心に広まった。カルヴァン派はスコットランドでは (29) | (30)、ネーデルラントでは (31) | (32) と呼ばれた。しかし新教の普及は他方でカトリックとの摩擦を生み、16 世紀の後半から 17 世紀の前半にかけて西ヨーロッパ各地で^(f)宗教戦争が勃発した。

12	34	56	78	910	1112	1314	1516
1718	1920	2122	2324	2526	2728	2930	3132

問 1 文中の空欄 (1) | (2) ～ (31) | (32) にあてはまる最も適当な語句の番号を以下の選択肢から選べ。

11 アヴァール

12 アウグスティヌス

13 アタナシウス

14 アナーニ事件

15 エウセビオス

16 オットー 4 世

- | | |
|---------------|---------------|
| 17 カノッサの屈辱 | 18 カペー |
| 19 カロリング | 20 教皇のパピロン捕囚 |
| 21 グレゴリウス 1 世 | 22 グレゴリウス 7 世 |
| 23 ゲルフ | 24 ゴイセン |
| 25 皇帝教皇主義 | 26 コンスタンティヌス |
| 27 ザクセン | 28 三位一体説 |
| 29 シチリア | 30 叙任権闘争 |
| 31 ジョン | 32 神寵帝理念 |
| 33 新プラトン主義 | 34 スラヴ |
| 35 ディオクレティアヌス | 36 テオドシウス |
| 37 トスカナ | 38 ドミニコ |
| 39 ノルマン | 40 ハインリヒ 4 世 |
| 41 パウロ | 42 ヒエロニムス |
| 43 ピューリタン | 44 フィリップ 2 世 |
| 45 フィリップ 4 世 | 46 フランチェスコ |
| 47 ブルガール | 48 ブルグンド |
| 49 プレスビテリアン | 50 ベネディクトゥス |
| 51 ヘンリ 3 世 | 52 マジャール |
| 53 メロヴィング | 54 ユグノー |
| 55 ラヴェンナ | 56 ランゴバルド |
| 57 ルイ 9 世 | 58 レオ 3 世 |

問 2 下線部 (a)～(f) について、以下の設問 (1)～(6) に答えなさい。

- (1) 下線部 (a) について、当時キリスト教徒が「反社会的」とみなされ迫害された理由は何か。20 字以内で述べなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (2) 下線部 (b) について、教皇領が 1870 年にイタリア王国によって吸収されると王国と教皇は対立した。

(ア) この両者が和解した条約は何か。また (イ) これによって成立した国はどこか。

[ア イ]

- (3) 下線部 (c) について、教会腐敗の象徴とされる事柄を 2 つあげなさい。

[.]

- (4) 下線部 (d) について、インノケンティウス 3 世は 1215 年の公会議の演説で教皇権と皇帝権との関係のある比喻で表現した。

教皇権と皇帝権をそれぞれ何にたとえたか。 []

- (5) 下線部 (e) について、このことと利潤追求を原動力とする経済体制の発展との関係を論じた 1864 年生れのドイツの社会学者の著作は何か。 []

- (6) 下線部 (f) について、以下の宗教戦争を終結までに要した期間の長い順に並び替え、最も長いものの番号を (33) に、最も短いものの番号を (34) にマークしなさい。

1 ユグノー戦争 2 オランダ独立戦争 3 三十年戦争 [33]

演習追加問題（封建社会の衰退・百年戦争）

【1】

青山学院大学 法学部

次の問(A)，(B)は西洋中世の政治史の展開に関するものである。それぞれの文章をよく読み、各設問に答えよ。

(A) 以下の文章は英仏百年戦争の展開過程に関するものである。この文章を読んで問1～問5に答えよ。

1328年に①家のシャルル4世が没するとフランス王位は②家に移った。イギリス王③は母親の相続権を根拠にフランス王位を求め、「フランドルの内乱」を契機に百年戦争が始まった。黒太子エドワードは長弓隊を駆使し、1356年にはフランス王ジャン2世を捕虜にする程であった。「国内の都市民、農民の大反乱」もあり、戦局はフランス側に圧倒的に不利であった。1360年の和約により③は「大陸側の領土を全面的に回復した」。1415年のアザンクールの戦いで敗北した後、シャルル6世が、ブルゴーニュ公の仲介により、1420年イギリス王と同盟を結んだため、フランス国内の分裂は深まり、危機的状况に陥った。一方でイギリス王④はフランス王女との結婚により王位の奪取を目指した。これに対して王太子シャルルは反撃を開始し、1429年にオルレアンで決定的な勝利を収めた。この勝利に果たした農民出身⑤の役割は大きい。王太子シャルルは⑥として戴冠し、1435年にはブルゴーニュ公と和議を結び、軍制を整え、「イギリス勢力の一掃にほぼ成功した」。

問1 本文の空欄①～⑥に最も適当な語句を挿入せよ

①	②	③
④	⑤	⑥

問2 下線部aと関連して、フランドルにおける英仏間での権益の争いの対象となった産業は何かを記せ。

[]

問3 下線部bと関連して、1358年頃北フランス一帯を巻き込んだ農民反乱は何と呼ばれるかを記せ。

[]

問4 下線部cと関連して、13世紀はじめフランス王と争って、大陸側の領地の多くを失ったイギリス王の名を記せ。

[]

問5 下線部dと関連して、イギリスに残された大陸側の唯一の地域名を記せ。

[]

(B) 以下二つの文章(a)，(b)は英仏百年戦争の過程で成立した二つの条約の内容である。それに関する設問6に答えよ。

(a) トロワ条約

「神の恩寵により、フランス国王である余⑦。…国王⑧はわが娘との縁組により、余の息子となった。…フランス王国とその王権は永遠に彼とその後継者のものとなる。…王国統治は余の存命中、余の息子⑧王に委ねられる。…彼は余に反抗する⑨の党派を支持する都市や地域を余に従わせるよう、努めねばならない…両王国の三身分の同意を得ず⑧も、余の親愛なる⑩フィリップも、⑨といかなる和平交渉もしない。…」

(b) アラス条約

「⑩ジャンの死は邪悪な行為によるものであり、今でも絶えず国王⑪を不快にしている。…同王は彼の相続人たちに對し、フランス王権に属している都市、城、所領を永遠に譲渡するであろう。…彼らは王国内の土地と所領について生涯、同王に対して服従や宗主権を免れるであろう。…同王の死後は相続人である王の息子に対して忠節と奉仕をなすであろう。…今後イングランド人やその同盟者が⑩に對し戦争を行なうという事態が生じた場合、国王はそれに対抗して助力しなければならない。…」

(以上、ヨーロッパ中世史研究会編『西洋中世史料集』東京大学出版会刊より)

問6 文章(a)，(b)の空欄⑦～⑪に入れるのに最も適当なものを選択肢イ～ヘの中から選べ。

イ) シャルル7世 ロ) シャルル6世 ハ) 王太子シャルル ニ) ブルゴーニュ公 ホ) ヘンリ5世 ヘ) ノルマンディー公

⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
---	---	---	---	---

【2】

中央大学 経済

以下の文章1～7を読んで、設問に答えなさい。

1 戦費を確保するために導入された人頭税に反対する農民たちは、タイラーらを指導者として「ワット＝タイラーの乱」を引き起こした。イングランド東南部から進撃した一揆軍は、ロチェスター、カンタベリを占拠した後、ついにロンドン入りを成

し遂げる。彼らは国王との会見を果たし、農奴制の廃止や地代の減額などを要求した。しかし、その後、ロンドン市長のウォルワースの策略によってタイラーが殺されると、一揆軍は急速に崩壊に向かっていく。結局、他の指導者たちの何人かが捕らえられて処刑された後、この一揆は最終的に鎮圧されることとなった。

- 2 イングランド王(A)は、ウェールズの征服をもくろんでいた。これに対して、ウェールズ大公ルウェリンは反発を強めていく。その後、イングランドはウェールズへの大規模な軍事遠征を敢行し、ルウェリンを屈服させることに成功した。ルウェリンは後に再びイングランドに対する蜂起を企てたが、結局はイングランド軍に鎮圧されてしまう。その結果、ウェールズ大公国は、イングランド王の直接支配下におかれることになった。さらに、(A)は、スコットランドへの遠征も企てた。その際に必要とされる軍事費の調達のために召集された議会は、模範議会と呼ばれている。
- 3 大憲章(マグナ=カルタ)は、国王による新たな課税に際しては高位聖職者と大貴族の承認を必要とすることなどを定め、国王の専制に歯止めをかけようとしたものとみなせる。しかし、(B)がこれを無視したため、シモン=ド=モンフォールが反乱を起こした。彼は、従来からあった高位聖職者・大貴族の会議に州および都市の代表を加えることを国王に認めさせたが、一般にこれがイギリス議会の起源とされている。
- 4 ウェセックス王家のエドワードは、宗教心にあつい王であったが、子供を残さないままに没した。そのため、エドワードの死後、王位継承問題がもち上がることとなる。候補者は、ウェセックス伯ハロルド、ノルウェー王ハーラル、ノルマンディー公ウィリアムの3名であった。エドワードの死後に王を称したハロルドは、イングランド北部の重要拠点ヨークに侵攻してきたノルウェー王ハーラルの撃退に成功した。しかし、その間に、大陸から進攻してきたノルマンディー公ウィリアムによる上陸を許してしまう。ヨークでウィリアム上陸の知らせを受けたハロルドは、即座に軍を南下させてこれにあたったが、(C)の戦いで敗北を喫した。勝利者となったウィリアムは、イングランド王として即位した後もノルマンディー公の地位を保持し続けていたため、彼は英仏間を行き来しながら自分の王国の統治にあたった。
- 5 ランカスター家とヨーク家の王位継承争いに終止符を打ったヘンリ7世は、新たな王朝を打ち立てた。その息子のヘンリ8世は、みずからの離婚問題をきっかけとして、②首長法(国王至上法)を制定した。この法律は、ローマ教皇ではなく国王こそがイングランド国内の教会の首長である、と宣言したものである。こうして彼は、カトリック世界と袂を分かち、修道院がもつ広大な土地財産の没収を強行した。その後、(D)は新教徒を弾圧し、スペイン王室(後のフェリペ2世)との婚姻により、カトリックの復活をはかっていく。しかし、この結婚は、国民から概して不評であった。結局、エリザベス1世の時代に、イギリス国教会は最終的な確立を果たすことになる。
- 6 フランス王の家臣であったアンジュー伯は、イングランドに進出してヘンリ2世として即位し、③新しい王朝を開いた。彼は、その後の婚姻政策などにより、フランスのほぼ西半分とイングランドにまたがる大帝国(アンジュー帝国)を築いた。その息子のリチャード1世は、第3回十字軍に参加してアイユブ朝の建国者でエルサレムを回復したサラディン(サラフ=アッディーン)と争うことになる。しかし、リチャード1世が帰国途中に捕虜となり、その身代金支払いや莫大な軍事負担に対して不満を強めた諸侯は、大規模な反抗を起こした。次のジョン王はフランス王(E)と戦ったが、フランスにあった領土の大部分を失い、アンジュー帝国を崩壊させてしまう。また、カンタベリー大司教の任免権をめぐる教皇インノケンティウス3世と対立し、破門された後にその權威に屈することになった。
- 7 フランスのカペー朝が断絶すると、イングランド王エドワード3世が王位継承権を主張し、ここに④百年戦争が勃発した。戦争の序盤は、イングランドの圧倒的優位のうちに進んだといえる。エドワード3世が率いるイングランド軍は、長弓隊の活躍によって、(F)の戦いでフランス軍を撃破した。また同年には、イングランド軍はフランスと結んでいたスコットランド軍とネヴィルズ・クロス(ノースハム)の地で戦い、スコットランド王デイヴィッドを捕虜にした。さらに、一時的な休戦期間をはさんで戦争が再開されると、黒太子エドワードが指揮するイングランド軍は、ポワティエの戦いで大勝利し、フランス国王ジャン2世を人質として捕らえた。

問1 (A)～(F)に適切な語句を入れなさい。

A	B	C
D	E	F

- 問 2 下線部①について、この一揆の思想的指導者とされ、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」という有名な言葉を唱えたとされる人物は誰か。 []
- 問 3 下線部②について、この法律に反対して処刑された人物で、「羊が人を食う」という一節で有名な書物を著した人物は誰か。 []
- 問 4 下線部③について、この王朝名は何か。 []
- 問 5 下線部④について、下記の語群から適当な用語を 3 個もちいて、この戦争の主な経済的背景を 80 字以内で述べなさい。
 なお、選択した用語には下線を引くこと。

[語群] アヴィニョン アルザス・ロレーヌ アントウェルペン オルレアン カレー 絹
 絹織物 毛織物 香辛料 穀物 砂糖 シャンパーニュ シュレジエン 石炭
 タバコ 茶 鉄 フランドル ベーメン ホラント マラッカ 綿織物 綿花
 綿布 ユトレヒト 羊毛 ルール

- 問 6 文章 1～7 を古い順に並び替えなさい。 [→ → → → → →]

【3】 北海道大学 文学部

次の文章を読み、問いに答えなさい。

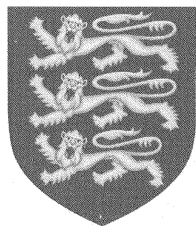
イギリスにおいては、12 世紀半ばにプランタジネット朝が始まり、国王ヘンリ 2 世は、フランス西部にも多くの領土を有した。しかし⁽¹⁾国王ジョンは、フランス王フィリップ 2 世との争いによりフランス内の領土の多くを失い、またローマ教皇インノケンティウス 3 世によって破門された。1328 年にカペー朝が絶えると、イギリス王エドワード 3 世はフランス王位継承権を主張し、フランドルの内乱をきっかけに百年戦争が始まった。百年戦争で敗れたイギリスでは、王位をめぐる争いからバラ戦争が生じ、国内の貴族たちの多くは疲弊し自滅の道をたどった。⁽²⁾デューダー朝をひらいたヘンリ 7 世は、国内の体制を整備し、絶対王政の基礎を固めた。⁽³⁾続くヘンリ 8 世の下で、宗教改革が始まり、エリザベス 1 世の時代にイギリス国教会の体制が確立し、⁽⁴⁾絶対主義の最盛期を迎えた。

- 問 1 下線部(1)について、1215 年に国王ジョンは大憲章(マグナ=カルタ)を承認させられたが、この経緯と大憲章の内容を 120 字以内で説明しなさい。

- 問 2 下線部(2)について、反対派勢力を処罰するために作られた裁判所の名称を答えなさい。 []
- 問 3 下線部(3)について、1534 年と 1559 年に出された法令の名称を答えなさい。 []

九州大学 文

資料 1 王の紋章

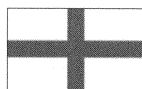


ジェームズ 1 世
(在位 1603-25)

ヴィクトリア女王
(在位 1837-1901)



(1801)
ユニオンフラッグ



聖ジョージ・クロス
(イングランド)



聖アンドリュー・クロス
(スコットランド)



聖パトリック・クロス
(アイルランド)

問 2. この国家が形成される過程について、資料 2 の図像が示す国制上の変化を、70 字以内で述べなさい。

問 3. 名誉革命によってイギリス王となったウィリアム 3 世が、即位以前に就いていた職は何か。その名称を答えなさい。

[]

問 4. 20 世紀にはいって、アイルランドでは独立の動きが強まった。1922 年にアイルランド島南部 26 州が、本国から分離して形成した政体は何か。その正式名称を答えなさい。

[]

問 5. この国家を構成するもう一つの地域においては、独自のケルト系言語が英語に加えて公用語とされている。14 世紀初めからは、この国家の元首の第一後継者を意味する称号の一部ともなった。この地域の名称を答えなさい。 []